

再評価カウンスリング・コミュニティのための
ガイドライン

再評価カウンスリング・コミュニティのための
ガイドライン



Guidelines

再評価カウンスリング・コミュニティのための
ガイドライン

2013年版

再評価カウンセリング・コミュニティのための
ガイドライン

— 2013年版 —

発行 再評価カウンセリングの会

未来の人類はどんな人生を送っているでしょう？
傷はなく、愛と喜びと平和にあふれている？
もちろんそうでしょう。
しかし、そのためには根拠のない善意だけでは不十分です。
私たちは具体的に学ばなければならないことがたくさんあります。
私たちはみな満足するかたちで仕事を分かちあい、
みな成長するように、促すのです。
さらに、目の前の夢想と、達成すべき現実とを
見分ける必要があります。
だれも抑圧されることなく、強制されることなく、
みなが貢献します。
現実的であることにより、それは実現します。
私たちがつくってきたコミュニティの知識や方法によって、
すばらしいコミュニティが生まれるでしょう。

ハーヴィー・ジャッキンズ

再評価カウンセリング・コミュニティのためのガイドライン 2013年版に対する序文

本書は「再評価カウンセリング・コミュニティのためのガイドライン」第20版です。本版は2013年8月7日から11日にアメリカ合衆国、コネチカット州のストアーズで開かれた世界会議で改定され、承認されました。

再評価カウンセリング（RC）コミュニティの活動はこのガイドラインに沿っておこなわれます（ガイドラインM参照）。本書はRCの基礎クラスを受講し終えたすべてのコウ・カウンセラーに配られます。

私たちにとって理性的に考え、一緒にうまく行動していくことが難しくなる場合が少なくありません。そのために、共通のガイドラインが必要です。ガイドラインの目的は私たちの活動の指針と思考の出発点を提供することであり、RCの様々な状況における対応の仕方をこと細かに指図するものではありません。ガイドラインは私たちが現在の状況について考えるさいに、単なる思いつきや旧式な解決法を用いるのではなく、これまでに蓄積してきた経験を利用することを求めています。

ガイドラインは私たちが傷と激しく戦っている部分に適用すると、もっとも効果を発揮します。そうした傷に対する大切なコントラディクションとなることができます。ガイドラインの特定の項目に、なにかしらの感情を抱いたとしても、私たちはセッションでその感情に取り組み、ディスチャージすることで、そのガイドラインの項目と私たちが直面している状況をもう一度考え直すことができます。新しい解決方法が選ばれるかもしれませんが、その解決法もガイドラインの趣旨に沿ったものでなければなりません。最初のガイドラインは1972年の第1回世界会議で採択されました。以来、世界会議のたびに改訂されています。ガイドライン作成はきわめて重要でしっかりと確立された、私たちの活動の一つになっています。プレ世界会議は世界会議に先だって世界十ヶ所で開かれます。プレ世界会議では、RCのリーダーたちがディスチャージをし、ガイドラインについての意見を提出します。国際照会者（IRP）とRCリーダーのグループがその意見を検討し、その意見に基づいて世界会議に提案します。世界会議の代表団全員がその提案を一つ一つ検討します。そして最終的に決定されたことが再評価カウンセリング・コミュニティのガイドラインに組み込まれます。

RCがシアトルの創設者グループを超えて広がり始めて以来、ガイドラインはよりいっそう重要なものとなりました。私たちには発展し活動していくために、指針となる同意書が必要でした。

コウ・カウンセラーがRCコミュニティに参加するためには、このガイドラインを順守することが求められます。RCのすべてのリーダーはガイドラインを十分に理解し、その適用に同意することが求められます。必ず順守すべきガイドラインもあります*。

現実には刻々と変化し、それに対する私たちの理解も変化しています。ガイドラインは起こりうるすべての状況をカバーできるものではありません。またその必要もありません。特定の状況でガイドラインの内容に反する行動が必要であるような場合は、それについてIRPの了承を得なければなりません。

ガイドラインは多くの人々が長年にわたって取り組んできた成果のあらわれです。より理解しやすく、より多くの言語に翻訳しやすくするために、何度も表現を変え、順序を組み換え、構成し直されてきました。

2013年の再評価カウンセリング・コミュニティ世界会議では、ティム・ジャキンズが国際照会者、ダイアン・シスクが国際照会者代理に承認されました。

ティム・ジャキンズ

ウェブサイト上で見ることのできる 再評価カウンセリング（RC）コミュニティの ガイドライン

ガイドラインの全文はRCのウェブサイト <http://www.rc.org> で閲覧や検索ができます(英文のみ)。

検索ボックスに `guidelines+contents` と入力するか、
www.rc.org/publication/guidelines_2013/contents にアクセスしてください。

ガイドラインの特定の項目を探す場合は、検索する語句を増やすか、目次から探すか、項目別もしくはテーマ別の目次を利用してください。

中央上部のボタンをクリックすると、ガイドラインのどのページからもすぐに目次のページに戻ることができます。前のページに戻る場合は上部左のボタンを、次のページに進む場合は上部右のボタンをクリックしてください。

*ガイドラインの規定から外れる場合は、IRPの了承を得る必要があります。ガイドラインG1、H2、H3、H4、K2、K4、N、P1を参照。

目次

| | |
|-------------------------------------|----|
| 序文 | 3 |
| A. 再評価カウンセリング・コミュニティ | 11 |
| 1. 再評価カウンセリング・コミュニティとは何か？ | 11 |
| 2. RCコミュニティにおける人間関係のあり方 | 11 |
| 3. RCコミュニティのワンポイント・プログラム | 12 |
| 4. コミュニティのメンバーであること | 12 |
| 5. RCの集まりの基本的な内容 | 14 |
| 6. RCの実践と考え方をRCコミュニティの外に広める | 14 |
| B. 初めての人にコウ・カウンセリングを伝える | 15 |
| 1. 一対一が基本 | 15 |
| 2. 新しいコウ・カウンセラーを選ぶ | 15 |
| 3. まだコウ・カウンセラーになっていない人たちとのサポート・グループ | 16 |
| C. 再評価カウンセリングのクラス | 17 |
| 1. 再評価カウンセリングのクラスの目標 | 17 |
| 目標 | |
| 多様性 | |
| アクセシビリティ | |
| 2. クラスの構成 | 18 |
| クラスの内容 | |
| クラスのメンバーを選ぶ | |
| クラスのメンバーに期待されること | |
| ティーチャーの属するエリア外のコウ・カウンセラー | |
| アシスタントティーチャー | |
| 3. RCの理論の独自性と一貫性 | 19 |
| 4. オンラインによるクラス | 20 |
| D. 再評価カウンセリング・コミュニティとリーダーシップの構造 | 21 |
| 1. コミュニティの構造——リーダーシップ | 21 |
| 2. コミュニティの構造——解放 | 21 |
| インクルージョン | |
| リーダーシップ | |
| コーディネーター | |
| リーダーズ・グループ | |
| サポート・グループ | |
| 3. コミュニティの構造——国際照会者、国際照会者代理 | 22 |
| 4. コミュニティの構造——地域の組織づくり | 23 |
| 連絡と協力 | |

| | |
|---------------------------------|----|
| リーダーズ・グループ | |
| 発展中コミュニティにおけるリーダーズ・グループ | |
| 5. エリアの成立とエリア照会者（ARP）の選出 | 24 |
| エリアの成立 | |
| エリア照会者（ARP）の選出 | |
| 6. エリア照会者の役割 | 25 |
| エリア照会者（ARP）の責任範囲 | |
| エリア照会者代理（AARP） | |
| 7. エリア・ミーティング | 26 |
| 8. うまくいっていないエリア | 26 |
| 9. 既存のエリアから新しいエリアが生まれる | 27 |
| 新しいエリア | |
| エリアは必ずしも地理にしばられない | |
| 10. 広域エリア照会者（RRP） | 27 |
| 広域エリア照会者の任命 | |
| 広域エリア照会者の役割 | |
| 各エリアとの関係 | |
| 11. 解放、職業、関心事で共通の基盤を持つグループのリーダー | 28 |
| 国際照会者（IRP）による任命 | |
| 国際解放照会者（ILRP）と国際共通照会者（ICRP）の役割 | |
| 解放のためのリーダーシップを発展させる | |
| 12. コミュニティにおける無報酬の仕事 | 29 |
| 13. リーダーの再生にかんするグループの責任 | 30 |
| E. 決断と、正しい視点を手に入れること | 31 |
| 1. 問題について正しい視点を手に入れる | 31 |
| 2. 決断する | 31 |
| F. 再評価カウンセリングのワークショップ | 33 |
| 1. ワークショップ——概観 | 33 |
| ワークショップの区分 | |
| 多様性が目標である | |
| 若い人 | |
| 参加の許可 | |
| リーダーが1人、オーガナイザーも1人 | |
| アクセシビリティ | |
| 通訳 | |
| 環境への配慮 | |
| 2. クラスのワークショップ | 34 |
| 3. エリア・ワークショップ | 35 |
| 4. 広域エリア・ワークショップ | 35 |
| 5. 国際ワークショップ | 35 |
| 6. ティーチャーとリーダーのワークショップ | 35 |

| | |
|--|----|
| 7. 複数広域エリアおよび国際レベルの解放ワークショップと共通課題ワークショップ | 36 |
| 8. 会議 | 36 |
| ブレ世界会議と世界会議 | |
| 広域エリア照会者、国際解放照会者、国際共通照会者の集まり | |
| 9. 協力し合っておこなうワークショップ | 37 |
| G. 再評価カウンセリングのティーチャーの資格 | 39 |
| 1. 再評価カウンセリングのティーチャーの認定 | 39 |
| 認定の基準 | |
| ティーチャーの資格申請 | |
| ティーチャーの資格認定 | |
| 活動していないティーチャー | |
| 資格の一時停止 | |
| 2. ティーチャーに必要とされるもの | 40 |
| 経験と知識 | |
| 傷を回さない | |
| ティーチャーの心構え | |
| 3. RC以外の理論を混合しない | 42 |
| 4. コミュニティによるサポート——文化にもとづく傷のパターンを克服する | 42 |
| H. 再評価カウンセリング・コミュニティの財政 | 43 |
| 1. クラスの受講料と援助基金 | 43 |
| 2. クラス、サポート・グループ、プレイデイ、エリアのギャザーイン | 44 |
| 援助基金とコミュニティ活動基金への納付 | |
| 納付金の配分 | |
| 基金への送金 | |
| サポート・グループとプレイデイ、ギャザーイン | |
| 図: エリア援助基金とコミュニティ活動基金への献金・助成 | 45 |
| 3. クラスやエリアのワークショップと1日プレイデイ | 45 |
| 図: クラスやエリアのワークショップ | 46 |
| 4. 広域エリアおよび国際レベルでのワークショップやギャザーイン | 46 |
| コミュニティ活動基金への納付 | |
| 純利益の配分 | |
| 基金の目的 | |
| 図: 広域エリアおよび国際レベルでのワークショップやギャザーイン | 47 |
| 5. RCコミュニティの外でおこなわれるRCのクラス、プログラム、ワークショップ | 48 |
| 6. アメリカ合衆国以外のコミュニティ: 資金援助 | 48 |
| 7. RCコミュニティの援助基金 | 48 |
| 援助の目的 | |
| エリア援助基金とクラスからの収益 | |
| エリア援助基金とワークショップからの収益 | |
| コミュニティ活動基金とエリア・ワークショップからの収益 | |
| 納税について | |

| | |
|---------------------------------------|----|
| 8. 国際援助基金が資金援助するワークショップ | 49 |
| 9. 維持基金 | 49 |
| 10. リーダーとオーガナイザーに対する報酬:経費 | 50 |
| リーダー代 | |
| リーダー代は地元の経済状況を考慮して設定する | |
| オーガナイザー代 | |
| 11. スライディング・スケール | 51 |
| 12. 再評価財団の援助活動を支える | 51 |
| 財団についてよく知る | |
| RCerの役割 | |
| 資金集め | |
| 財団への寄付 | |
| 13. 抑圧の対象とされているあらゆるグループに対する資金援助 | 52 |
| I. 再評価カウンセリングを再評価カウンセリング・コミュニティの外に伝える | 55 |
| 1. 再評価カウンセリング・コミュニティの外での活動 | 55 |
| 2. 広報 | 55 |
| J. 出版物の翻訳とワークショップでの通訳 | 57 |
| 1. 出版物の翻訳 | 57 |
| 翻訳コーディネーターの指名 | |
| 翻訳コーディネーターの仕事 | |
| すべてのコウ・カウンセラーにお願いすること | |
| 翻訳する優先順位 | |
| だれもが翻訳を読めるようにする | |
| 2. 翻訳された資料の出版 | 58 |
| 3. ワークショップでの通訳 | 58 |
| K. 出版物 | 59 |
| 1. 出版物 | 59 |
| 2. 出版や複写についての必要事項 | 59 |
| 3. ワークショップでの筆記、音声、映像による記録 | 59 |
| 4. 出版による印税 | 60 |
| 5. 特定の人について書く場合は匿名性を保つ | 60 |
| L. インターネットと電子媒体によるコミュニケーション | 61 |
| 1. インターネットの安全性 | 61 |
| 2. RCのウェブサイト | 61 |
| 3. 地域のRCウェブサイトをつくる | 62 |
| 4. ウェブサイトへのアクセス | 62 |
| 5. 電子メーリングリスト | 62 |
| メンバー | |
| 目的 | |

投稿された文章の引用

| | |
|---|----|
| M. ガイドラインの使用 | 65 |
| 1. ガイドラインの使用と変更 | 65 |
| 概観 | |
| ガイドラインの順守 | |
| 矛盾点 | |
| 見直しと変更 | |
| 配布 | |
| 2. 新しいコミュニティでのガイドラインの適用 | 66 |
| N. 人間関係——「社交しない」方針 | 67 |
| 1. コウ・カウンセリングの関係 | 67 |
| 2. RCコミュニティ外の組織 | 69 |
| 3. 電子媒体によるコミュニケーション | 69 |
| O. 向精神薬と再評価カウンセリング | 71 |
| 1. 向精神薬と再評価カウンセリング | 71 |
| 2. 向精神薬とRCのクラスやワークショップ | 72 |
| P. 攻撃、批判、対立 | 73 |
| 1. 攻撃への対処 | 73 |
| 2. 対立、批判、不満への対処 | 74 |
| 注 | 75 |
| I: リーダーズ・グループ | 75 |
| II: 自己評価 | 76 |
| III: 国家という枠組みにとらわれないこと | 76 |
| IV: 決断をください | 77 |
| V: 人種差別を止める会 (UNITED TO END RACISM / U E R) | 77 |
| VI: 申請用紙 | 77 |
| RCコミュニティの目標 | 78 |
| 2013年の世界会議で採択された目標 | 78 |
| 2005年の世界会議で採択された目標 (その後の世界会議で再承認された) | 78 |
| 2001年の世界会議で採択された目標 (その後世界会議で再承認された) | 78 |
| 用語集 | 80 |
| 付録: ワークショップ収支報告書の完成例 | 87 |
| 日本語訳のある再評価カウンセリングの出版物 | 90 |



再評価カウンセリング・コミュニティのための ガイドライン

2013年8月7日～11日、
アメリカ合衆国、コネチカット州、
ストアーズ開催の世界会議にて採択

A. 再評価カウンセリング・コミュニティ

A.1. 再評価カウンセリング・コミュニティとは何か？

再評価カウンセリング（RC）の活動に参加し、責任を引き受ける人は国際RCコミュニティのメンバー¹とみなします（ガイドラインA4参照）。このコミュニティには3つの側面があると考えます。

- (1) コウ・カウンセリングを通して人間の本质²を回復しようとする人々のネットワーク
- (2) 地域別のコミュニティ、グループ、クラスのネットワーク
- (3) 人間の本质を取り戻すという共通の取り組みに、世界中の様々な人が参与してほしいと望む人々の集まり

理由

コミュニティのおもな目的はコウ・カウンセリングとディスチャージと再評価を可能にすることです。私たちの基本的な役割はカウンセリングをし合うことです。すべてのクラス、グループ、コミュニティはコウ・カウンセラーのネットワークをサポートし、広げるためにあります。私たちはRCの理論³と実践をすべての人々が活用できるようにするために協力し合って活動しています。コウ・カウンセリングもコミュニティも、どちらも世界において重要な役割を果たすものです。

A.2. RCコミュニティにおける人間関係のあり方

RCコミュニティのメンバーはみな対等です。誰々が誰々よりも価値が高かったり低かったりすることはいっさいありません。私たちは互いの人間の本质を無条件に大切に、尊重するよう努力を続けます。

理由

「対等」とはRCの理論にもとづいた考えですが、実際、たいへん重要なことです。

以下のような理由でコミュニティ内で特別な役割を担っている人がいるかもしれません。

-
- 1) RCコミュニティのメンバーとは、RCの活動に参加したり、貢献したり、リーダーシップを支えたり、コミュニティの仕事を助けたりすることによって、コミュニティが正しく機能するよう手助けする責任を担うコウ・カウンセラーです。
 - 2) 人間の本质とは、傷のレコードの影響下でない時の、私たちの理論と実践にもどついで「真」とみなす人間の姿です。人間の本质には、知性をすばらしく柔軟に使うことができ、人とのつながりや心配りを自覚し、協力し合い、生きることに熱意を持つなど、様々な要素があります。
 - 3) RCの理論とは、コウ・カウンセラーが自ら体験して得た知識を要約したものです。良い理論は、個人の体験を、蓄積された過去の体験や過去の体験から引きだされた結論に関連づけて考えることを可能にします。RCの理論は再評価カウンセリングを実践するさいの手引きとなります。理論を発展させ、応用することによって、これまでの方法の矛盾点が明らかになり、知識がより深められます。

A. 再評価カウンセリング・コミュニティ

- (1) コウ・カウンセリングの知識と経験がより豊富である
- (2) 特定の状況において、より上手に話すことができる
- (3) 特定の分野についてより理解がある、または理性的に考えることができる

人にこうした特質があっても、みなが対等であることにはなんの変わりもありません。

特別な役割を担うとは、対等な個人で構成されるネットワークにおいて単に特定の役を務めているという状態です。コミュニティの中に階層を設けたり、専門性をつくったり、リーダーとそれに従う人に分けたりするためではありません。特別な役割を持つのはその人に技量があって、責任を担うことを決断したからであり、地位や肩書きや名声のためであってはなりません。

A.3. RCコミュニティのワンポイント・プログラム

RCコミュニティのすべてのメンバーが参与しなければならないプログラムは一つだけです。それは、再評価カウンセリングを使って自分の閉ざされた知性⁴と人間性の回復を旨とすることと、他の人がそれをおこなう手助けをすることです。

コミュニティのあらゆる活動はこのプログラムをサポートするために存在します。コミュニティのメンバーには、このプログラムを実行することと、ガイドラインを順守すること以外に同意を求められる事柄はありません。ガイドラインはワンポイント・プログラムをいかに実行するかについて説明するものです（ガイドラインM参照）。

理由

私たちはRCの理論と実践を使って、すべての人間に手を差し伸べることを目標としています。ワンポイント・プログラムを唯一の目的とすることによって、私たちはより多くの、より多様な人々とつながり、団結し続けることができます。私たちがともに活動していくため、このワンポイント・プログラムに合意することは、必要最低条件です。

ガイドラインは、私たちがワンポイント・プログラムをもとにRCコミュニティを築く過程で発展させてきた方法について説明したものです。多くのコウ・カウンセラーは一人ひとりの再生というこの基本的なプログラムに加えて、抑圧⁵からの解放⁶、あるいは責任を自覚し、統率力を発揮し、自己の力を取り戻すプログラムなどに携わっています。こうした活動は各人の自由です。再生のワンポイント・プログラムに合意しそれを実践するためのガイドライン順守のみが、コミュニティのメンバーに求められる条件です。

A.4. コミュニティのメンバーであること

「コウ・カウンセラー」であること、「RCコミュニティのメンバー」であること、「RCのリーダー」であることの3つを区別するとよいでしょう。

- (1) コウ・カウンセラーは、自分の閉ざされた知性の回復を旨とし、他の人もそれができるように手助けします。
- (2) RCコミュニティのメンバーとは、RCの活動に参加したり、貢献したり、リーダーシップを支えたり、コミュニティの仕事を助けたりすることによって、コミュニティが正しく機能するよう手助けする責任を担うコウ・カウンセラーをさします。

4) 知性とは、新しく変化する状況ごとに、その都度新しく柔軟に創造的に対応することのできる能力をいいます。傷の経験がディスチャージされないでいると、この能力は妨げられます。

5) 解放とは、自分自身と自分の属するグループを抑圧から自由にするためのプログラムや過程のことです。

6) 抑圧とは、社会または社会の仲介役を務めるグループが、社会や文化に強要されたり促されたりして別なグループを系統的に虐待することをさします。

(3) RCのリーダーとは、RCのクラスを教えたり、サポート・グループ⁷やワークショップのリーダーをしたり、照会者⁸の役を務めたりすることによって、RCコミュニティ内のあらゆることが円滑に機能するための責任を担うコウ・カウンセラーをさします。

コミュニティは、説明会、基礎クラス、特別クラス、継続クラス、サポート・グループ、トピック（ディスカッション）グループ、リーダーズ・グループ¹（ワイジェリアン形式⁹を含む）、出版など、RCの考え方を広めるために様々な形態による活動の企画や後援をおこないます。「ワイジェリアン」とは特定の共通基盤（たとえば、女性、機械工、コック、アフリカ系黒人、ヤングアダルト、特定のRCコミュニティにおけるリーダー）などからなるグループに適用されるRC用語です。ただし、こうしたクラスや活動に参加することだけではRCコミュニティのメンバーであるとはいえません。

コウ・カウンセラーはコミュニティが正しく機能するための責任を担うことによって、コミュニティのメンバーとして認められ、幅広くコミュニティの資源を利用することができます。多くの人々が様々なかたちで協力することによって、力強いRCコミュニティがつくりあげられます。コミュニティのメンバーは、オーガナイザー、編集者、翻訳者、通訳者、会計係、資料係、ウェブサイトの制作者や管理者、ティーチャー¹⁰、照会者など様々な役割を担います。またコミュニティのメンバーには、ガイドラインに従い、その執行を支援することも求められます。

各RCコミュニティは、ガイドラインの本項をもとに、広域エリア照会者¹¹と協議の上で、様々な状況ごとにコミュニティのメンバーシップを定義することができます。コミュニティメンバーの条件は、抑圧の対象とされているグループ¹²に属するという理由で、過去もしくは現在にわたって物的資源へのアクセスや社会参加が制限されてきた人々です。コミュニティのすばらしいメンバーとなりうるこのような人々が除外されたり、マイナスに扱われたりされてはなりません。このようなグループには経済的に貧しい人々、障がいを持った人々、先住民族や土着民族、人種差別の対象となる人々、若い人々¹³などが含まれます。

理由

対等であるというRCの基本を保つには、RCコミュニティのメンバー全員がコミュニティの活動と繁栄に対して対等に責任を持つ必要があります。RCのクラスに毎週参加することは、通常RCコミュニティのメンバーであるための条件です。可能なかぎり、毎週コミュニティのメンバーと会うことも大切です。定期的会うことによって、メンバー一人ひとりがより再生し、コミュニティがより発展する機会が増大します。定期的にクラスに参加する努力をするだけで（人によっては多大な努力を要することがあります）、自分自身の大切さとRCコミュニティの大切さをその都度思いだすことができます。

7) サポート・グループでは、3人から8人の人が集まり、時間を均等に分けて互いに話を聴き合い、ディスチャージを促します。グループの構成は特定の基盤（黒人、女性、若い人など）に基づく場合もあれば、特定のテーマ（教育改革、環境保護など）に基づく場合もあります。多様な人々の集まりである場合もあります。

8) 照会者とは、自分が属するグループについて、RCの理論とガイドラインにもとづいて判断をくだす役を持つコウ・カウンセラーです。照会者が率いるグループに属するメンバーは、理論や実践について照会者に相談することができます。

1) 75頁注を参照。

9) 「ワイジェリアン」とは、女性、同性愛者、若い人、高齢者、障害者、人種差別の対象にされる人といった、様々な課題別グループに適用されるRC用語です。

10) 再評価カウンセリング（RC）のティーチャーとは、現在RCを教える認定を受けているRCリーダーです。

11) 広域エリア照会者（RRP）は、国際照会者（IRP）によって任命され、IRPに対して責任を負います。RRPはIRPの代理人として、リーダーシップの発展とサポートをします。IRPは広域エリアのリーダーたちと協議しながら、RRPを任命します。RRPの最大の任務は、自分の広域エリアにおける現在のリーダーたちと新しく生まれるリーダーたちの再生を維持することです。

12) 抑圧の対象とされるグループとは、以前「抑圧されたグループ」と呼ばれたグループです。

13) 若い人とは、21歳以下の人をさします。

A. 再評価カウンセリング・コミュニティ

また、人々の生活様式や物的状況は、その人が受けている抑圧によって多種多様であるため、配慮が必要です。

A .5. RCの集まりの基本的な内容

コウ・カウンセラーの集まり（サポート・グループ、作業会、クラス、ワークショップ、ギャザーイン¹⁴、会議など）では次のことに留意してください。

- (1) すでにある理論を見直す
- (2) 新しい理論についての最新情報を伝える
- (3) それぞれが傷のレコードから再生する

理由

RCの理論は傷のレコードから派生する間違っただけの情報とは大きく異なるものです。そのため、私たちは繰り返し理論を思いだす必要があります。繰り返し思いださないと、私たちの見方が社会のパターンに影響され、薄められたり侵食されたり劣化したりする恐れがあります。

コウ・カウンセラーがより効果的に再生するために、新しい理論をできるかぎり早く伝達する必要があります。

一人ひとりの再生について共に取り組むことは、コミュニティ全体の最大の目的であり、各人の活動すべてにおける必須要素です。

A .6. RCの実践と考え方をRCコミュニティの外に広める

RCコミュニティはRCの実践や考え方（たとえば、ディスチャージは役に立つ、アドバイスするよりも相手を尊重して耳を傾けるほうが効果的、若い人々には罰するよりも共感するほうが良い、スキンシップは理性的なニーズ、など）をできるだけ多くの人々に広めていく努力をします。

理由

RCの基本的考え方や実践の一部を実行したいと思う人は大勢います。コミュニティ内で責任を引き受けて機能したいと思う人々の数よりも、RCの基本的考え方や実践の一部を実行したいと思う人々の方が多くいます。



14) ギャザーインとは、特定のテーマについておこなわれる半日以下の集まりで、理論の紹介、もしくはRCのワークショップや会議の報告、ディスチャージをする時間です。オープニングやクロージング、ディスカッション、小グループに分かれる時間などが設けられることもあります。

B. 初めての人にコウ・カウンセリングを伝える

B .1. 一対一が基本

再評価カウンセリング（RC）を伝える基本的な方法は、一人がもう一人に伝えることです（一対一）。コウ・カウンセラーは、自分のコウ・カウンセラーになってくれたらうれしいと思う人を見つけてください。その人とコウ・カウンセリングをし、セッションのあいまに質問に答え、情報を与えます。初めての人は実際にやってみることでコウ・カウンセリングを学ぶのです。

コウ・カウンセラー志望者にRCを伝えるには様々な方法がありますが、それは一対一でRCを伝える方法を補足し支援するものです。そうした方法には、文献、講義、クラス、ワークショップ、録音テープ、映像資料、RCのウェブサイト〈www.rc.org〉などがあります。

RC er¹⁵は、RCの情報を新しい人に伝えるときに、インターネットを主要な情報源としないようにしてください。むしろ、積極的に、

- (1) 一対一でRCの経験を積んでもらい、RCの情報を伝えるようにし、
- (2) インターネットでは、不正確もしくは誤解を招く恐れのあるRCについての見解に遭遇するかもしれないことを念頭においてください。

理由

重要なことを伝えるときは、一対一で伝えることを基本とし、また、それが最良の方法でもありません。自分の中の恐怖や偏見、その他たかくなになった感情を、RCの考え方はしっかりコントラディクトします。しかし、自分が好きだと感じる人から伝えられなければ、恐怖や偏見に対してのコントラディクションとなることを受け入れることは不可能です。現行のコウ・カウンセラーのほとんどは、実際にディスチャージと再評価を経験することで、コウ・カウンセリングに真の興味を抱きました。私たちはこの方法によって、世界中の多くの人々にRCを伝えることができます。この方法によれば、クラスを教える準備ができていないコウ・カウンセラーもRCの知識を伝えることができます。

どんなコウ・カウンセラーもRCを新しい人に伝えることができます。またそうすることが自分自身のためにもなります。

B .2. 新しいコウ・カウンセラーを選ぶ

コウ・カウンセリングを教えたいと思う人を選ぶときには、十分に考えて判断してください。私たちは多様性に富んだ数多くの人々がRCに参加してくれるよう取り組んでいます。その試みにおいて、コウ・カウンセラーは、心を配り合い信頼し合う人間関係がすでにできている人々に対し、思慮深く維持可能な努力を向けることが大切です（RCコミュニティの2005年の目標を参照）。また、コウ・カウンセラーは心を配り合い信頼し合う人間関係を築くにあたり、できるだけ多様な人々を招くように心がけてください（ガイドラインD 2参照）。

ある程度の期間でコウ・カウンセラーとして機能できそうな人を選ぶようにしてください。

理由

現在のRCコミュニティは資源を蓄積している段階にあります。まずはコミュニティが過度に労力を費やすことなく、RCに貢献できる人を招きたいと考えています。いまある資源で対応できない傷を持った人を選ぶことは合理的ではなく、問題につながることもあります。また、それは誘われた人

15) RC erとは、コウ・カウンセラーの別な呼び方です。

B. 初めての人にコウ・カウンセリングを伝える

にとっても助けにならないでしょう。

すべてのコウ・カウンセラーはいつでも許可や承認なく、全力を尽くして一対一でRCを伝えることができます。しかし、人選を誤るとコミュニティ全体に影響が及んだり、問題の原因となったりすることがあります。いままでの経験から、もっとも思慮深く、気づきのある人たちにコウ・カウンセラーになってもらうのが最善であることがわかっています。それが健全なコウ・カウンセリング・コミュニティの発展を促すものでもあります。

私たちは社会の抑圧に制限されることなく、RCコミュニティが広い社会に実存する多様性を反映したものにしたいと考えます。

私たちはRCの外でも、すでに信頼関係を築いた人々や、近い関係にある人々についてきちんと考えたいと思っています。その人々にコウ・カウンセリングというツールとRCコミュニティの資源を提供し、その人々がコウ・カウンセラーになれるように思慮深く支援したいと思っています。

B .3. まだコウ・カウンセラーになっていない人たちとのサポート・グループ

コウ・カウンセラーは人々と対話が可能と思われるときは、いつでもサポート・グループ型の対話(ガイドラインD 2参照)を試みてください。サポート・グループ型の対話の基本は、すべての人が順番に中断されることなく話を聞いてもらうことです。昼食の時間、休憩時間、バスの待ち時間、車での移動時間、社交の場などでそのような対話を試みてください。コウ・カウンセラーは、だれかが話しているときにそれを邪魔する人がいないように注意します。グループの人たちは、ある程度中断されず、注目をもらいながら話すことを経験すると、コウ・カウンセラーの介入がなくても、自からそれを求めるようになります。

ディスチャージを求めたり、強く促したりする必要はありません。サポート・グループで安心感を感じるにより、必ずだれかがディスチャージするようになります。いったんディスチャージがグループに受け入れられれば(なおかつ、ディスチャージが役立つことをコウ・カウンセラーが自信を持って補足すれば)、グループの他の人も自分がディスチャージをしていいのだと気づきます。

理由

RCの中で発展したサポート・グループの形式は、人々のあいだにまたたく間に広がっていきました。これは基本的なニーズを満たすものです。すべての人に中断されずに話を聴いてもらいたいという基本的なニーズがあります。ほとんどの場合、自分の話を聴いてほしいという聴き手自身のフラストレーションが邪魔になって、聴き手がきちんと聞けることはありません。当然ながら参加者は、よりこの方法を知りたいと思ったり、RCのクラスを受けたいと思ったりするようになります。

サポート・グループは新しい人がRCの活動に入っていくのに簡単で理にかなった方法です。



C. 再評価カウンセリングのクラス

C .1. 再評価カウンセリングのクラスの目標

目標:

コミュニティは、コウ・カウンセラーになることに興味を持つ人のために、またすでにコウ・カウンセリングをおこなっている人たちの再生を持続させるために、再評価カウンセリング（RC）のクラスを開きます。

これらのクラスの目標には以下が含まれます。

- (1) メンバーが相手のディスチャージを助ける能力を高める
- (2) メンバーがディスチャージ能力を取り戻す
- (3) RCの理論、基本理論、実践、方針¹⁶やその開発状況を伝える
- (4) クラスのメンバーが継続的にサポートされる環境を提供する
- (5) メンバーが自分の慢性化した傷のパターンから抜け出す方向性を見つけて設定し、それを維持し続けられるように手助けする
- (6) メンバーが日々の生活について理性的な決断をし、自分と自分をとる巻く環境について責任感をさらに深め、コウ・カウンセリング・コミュニティの成長と発展に積極的にかかわるように励ます
- (7) RCの新しいティーチャーを育成する

多様性:

私たちの目標は、できるだけ多様なバックグラウンドを持った人々を集めることです（ただし、クラスのトピックが特定のグループを対象にする場合は別です）。これは全人類の団結に向けた実践的な手段です。クラスには一緒にいて心地よい人もしくは馴染みやすい人だけを集めてはいけません。RCコミュニティは、可能であれば、一般的な集会の時間や場所、スケジュールではなく、代替方法を検討してください。そうすることによって、特定の人々を除外しがちな抑圧社会のあり方をRCコミュニティが繰り返さずにすみます。

アクセシビリティ¹⁷:

クラスを開く会場はだれにとってもアクセスしやすくなければなりません（たとえば、歩行障がいのある人は車椅子で行ける、聴覚障がい者にはマイクロフォン・ループ・システムが手話通訳を用意する、視覚障がい者には介助者を付ける、など）。

クラスではアクセスが完備していることを必要条件とすることもできます。アクセス設備の整った場所がなければ、コミュニティは会場の責任者と協議してアクセスを可能にしたり、アクセス可能にするために必要な資金や労力を提供したりします。

16) 方針とは、グループのメンバーが互いに協力し、助け合って活動できるようにつくられた指標であり、合意事項です。方針はディスチャージを促すもので、思考を明確にするものです。方針は私たちがその時点で有する最良の考えを表わしたものです。したがって、方針はつねに草案であるとみなします。方針は、(1)理論の応用についての提案、(2)過去の経験にもとづき応用が勧められる事項、(3)実際に応用するための体系、から成り立っています。RCコミュニティの方針には(1)世界会議やエリア・ミーティングなどで承認されたコミュニティの方針、(2)特定グループのもっとも優れた考えを表した方針（解放の方針声明の草案）の2種類があります。

17) アクセシビリティとは、障がいのある人が催しに参加することが可能になるよう、合理的に可能な共生を最大限に実施することをさします。

C. 再評価カウンセリングのクラス

制限つきのアクセシビリティで妥協しないように、私たちはこのことを目標に掲げています。

理由

これらのゴールは人間の再生を可能にするために設定されています。人間とつながるには時間を要するため、コウ・カウンセラーは続けてクラスに参加することにより恩恵を受けます。

個人の再生は、各人やグループ全体について考えるティーチャーが率いるディスチャージと再評価のプロセスを継続的に活用するグループの一員となると、急速に前進します。

クラスは人間の生き方について幅広い視点を提供するため、多様な人々が参加することを目標にしています。社会には抑圧の対象とされるグループが存在し、その人々はそのグループに属するために、過去現在において、物的資源にアクセスできなかつたり、社会参加を制限されたりしてきました。私たちのコミュニティは、そのような人々を制限したり除外したりする社会的条件を、コントラディクトしていきたくて考えています。社会的条件——たとえば労働時間、抑圧が原因の経済的な苦しみ、生活条件など——が、特定のグループの人々がRCを学ぶことを可能にする時間帯、場所、形式などを左右することがあります。RCのコミュニティは、特定のグループを知らぬ間にコミュニティから除外していることがないように、コミュニティのメンバーとなるための条件は柔軟に適用してください。疑問があれば、該当する地域の照会者や解放の照会者に尋ねることも可能です。

C.2. クラスの構成

クラスの内容：

RC文献の使用はいかなるRCクラスでも不可欠な要素です。また、クラスでは次の内容を含むことが求められます。

- (1) 認定されたティーチャーによる理論の説明
- (2) コウ・カウンセリングのセッション
- (3) グループ全体の注目のもとでのデモ・セッションとディスチャージ
- (4) コウ・カウンセリングのセッションの報告
- (5) 受講生によるクラスの評価——クラスで良かったこと、より良くするための提案
- (6) グループのみんなが互いに好意を示す（たとえば、誉め合ったり、クロージングのサークルをもつ）（ガイドラインのA5も参照）

クラスの構成はティーチャーが決めます。クラスは様々な形態をとることで良い結果を生みだしてきました。たとえば基礎クラスと継続クラスとに分けたり、両者を組み合わせたクラスにしたり、特定のテーマに基づいたクラスを開いたりしてきました。ティーチャーは他のティーチャーや照会者に協議することが奨励されます。

ティーチャーは可能な限り、週ごとにクラスを開いてください（ガイドラインC1、多様性の項を参照）。

クラスのメンバーを選ぶ：

クラスに参加するにはティーチャーの許可が必要です。ティーチャーはクラスが効果的に機能するために、たとえば次のような形で貢献する人に参加許可をくだします。

- (1) クラスを中断させることなく参加できる
- (2) 比較的短い期間でコウ・カウンセラーになれる
- (3) ガイドライン（社交しない方針やワンポイント・プログラムなど）を順守する
- (4) コウ・カウンセラーのセッションの秘密を守る
- (5) アルコールやマリファナ、そのほか精神に影響を及ぼす違法または快楽を得るために摂取する物

質や薬物（たとえば、シンナーの吸引や必要以上の咳止めシロップの摂取など）をクラスやコウ・カウンセリングセッションの少なくとも24時間前には使用しないこと（ガイドラインO、向精神薬¹⁸の項を参照）。

クラスのメンバーに期待されること：

クラスのメンバーは、(1)定期的にクラスに参加すること、(2)クラス以外に少なくとも週1回、2時間程度のコウ・カウンセリングのセッションをおこなうこと、を守るよう期待されます。

クラスのメンバーは、ワークショップ、「ブリング・ワン」¹⁹の集まり、サポート・グループ、ギャザーインなどの様々なRCの活動に定期的に参加することによって、より速く前進します。

ティーチャーの属するエリア外のコウ・カウンセラー：

エリア外から参加するメンバーは、自分が住む地域のエリア照会者（ARP）²⁰とティーチャーが所属するエリアのARPから承認を受けてからクラスに参加してください。自分の所属する広域エリアの外で開かれるクラスに参加するコウ・カウンセラーは、自分が所属する広域エリアの照会者（RRP）、およびそのクラスのティーチャーが所属する広域エリアの照会者（RRP）の承認を受けてからクラスに参加してください。

アシスタントティーチャー

ティーチャーは可能なかぎりアシスタントを使ってください。

理由

いままでこうした手順を踏むことによってクラスはうまく機能してきました。コウ・カウンセラーが自らのパターン、とくに慢性パターンをコントラディクトし続けるには、クラスのサポートが必要です。クラスは資源と基盤を与えてくれます。クラスはRCが地域のあらゆる部分に広まることを可能にします。

一般に、クラスは毎週開いた場合にもっとうまくいきます。もちろん、別なスケジュールでおこなった場合でもうまくいっています。私たちが孤独感をコントラディクトし、再生することの大切さを思いだし、抑圧社会で生きることによって執拗に起きる混乱をコントラディクトするためには、定期的・継続的に顔を合わせる必要があることを、私たちは経験から知っています。

C.3. RC理論の独自性と一貫性

クラスやワークショップなどのRCの活動は、RCとはあい入れない「自己開発」プログラムや心理学的プログラムと混同されることのない場所でおこなってください。

理由

RCが一貫した論理にもとづいた独自の考え方と実践からなる体系であることを人々がわかり、それとはあい入れない他の体系と混同しないことがもっとも重要です。

18) 向精神薬とは、精神科医や医療サービス機関が、不眠、緊張、ストレス、絶望感、無力感、不安、悲しみ、「破壊的な行為」などといった、いわゆる「精神疾患」や障害を「治療」するために処方する薬物です。こうした薬物のなかには、リタリンのように若い人や様々な人をおとなしく従順にさせるために広く処方されているものもあります。

19) ブリング・ワンとは、参加するコウ・カウンセラーが、コウ・カウンセラーではない人を連れてきて、RCを体験してもらう集まりです。

20) エリア照会者（ARP）は、エリア全体について考え、注意して見守り、エリア内でリーダーを育て、サポートをします。また、エリアの活動がRCの理論や方針と合っているかどうかを判断します。

C.4. オンラインによるクラス²¹

ティーチャーは、通常の方法でRCのクラスに参加することが不可能または実質上困難であるコウ・カウンセラーに対して、インターネットや電話会議によるクラスへの参加を提案することができます。クラスのメンバーには、オンラインによるコミュニケーションではセッションの秘密保持が必ずしも保証されないことを伝える必要があります。またメンバーは、オンラインでセッションをすることにどんな意味合いがあるか考える必要があります。(オンライン・クラスに参加したいコウ・カウンセラーが、そのクラスのティーチャーとは別なエリアや広域エリアに属する場合は、ガイドラインC2を参照のこと)

すべてのオンライン・クラスは、クラスのティーチャーのRRP (RRPがない場合は国際照会者 [ILRP]) がARP (そのティーチャーがエリアに所属している場合) と協議した上で承認される必要があります。オンライン・クラスとはインターネットを使って定期的に参加する人のいるクラスをさします。課題別グループのオンライン・クラスはすべて、そのグループの国際解放照会者 (ILRP)²²の承認を必要とします。

理由

オンライン・クラスは、障がいがあったり、距離的に遠かったり、交通手段がなかったり、交通手段利用が環境に悪影響を与えたりするという理由でクラスに参加できない人々に、貴重な機会を提供します。ただし、オンライン・クラスは人間同士のなまの接触がないため、しばしば、良いセッションやコミュニティの発展に必要な親密感や安心感が生まれにくいという大きな欠点があります。



21) オンラインによるクラスとは、インターネットを使って定期的に参加する人のいるRCクラスをさします。

22) 国際解放照会者 (ILRP) は、国際RCコミュニティにおいて自分の課題別グループの利益を代表し、国際照会者の代理人としてそのグループのリーダーシップをとりまします。また、RCコミュニティの内外で自分の課題別グループの利益のために、解放のための方針、出版物、ワークショップ、会議などの開催についての提案や企画をおこないます。(ガイドラインD11参照)

D. 再評価カウンセリング・コミュニティとリーダーシップの構造

D.1. コミュニティの構造——リーダーシップ

再評価カウンセリング（RC）コミュニティでリーダーシップをとる人はみな、定期的にコウ・カウンセリングをし、発展し続ける理論の最新情報を取り入れ、傷と抑圧からの人間解放に取り組み続ける姿勢を自らが示し、可能なかぎりワークショップや他のティーチャーが教えるクラスに参加してください。リーダーはみながそれぞれの役割に就けるよう養成する義務があります。みながリーダーになり、そのリーダーが次のリーダーを育み、これをくり返すことにより次々と新しいリーダーが生まれるよう、すべてのコウ・カウンセラーを奨励してください。（ガイドラインA2参照）

理由

これが「対等」であるということです。これによって私たちのリーダーが培われ、世界中の人々に届く数のリーダーが開発されます。

D.2. コミュニティの構造——解放

インクルージョン:

RCコミュニティは、一般社会で次のグループに属するコウ・カウンセラーがすべての組織編成やリーダーシップ編成に含まれるよう、計画的かつ意識的に努力します。

- (1) 人口全体における割合と比べて、コウ・カウンセラー人口に占める比率が少ないグループ
- (2) 抑圧の対象とされているグループ
- (3) 地域の言語と異なる言語を話すグループ

リーダーシップ:

抑圧の対象とされているグループの国際解放照会者（ILRP）は国際レベルで任命します。ローカルレベル（村、町、市など地理的地域別）または広域エリアレベルで、ローカルコーディネーターまたは広域エリアコーディネーターを任命することもできます。（ガイドラインD10参照）

コーディネーター:

コーディネーターは照会者ではありません。コミュニティ内で自分が属する課題別グループの成長を育む活動をコーディネートすることが仕事です。コーディネーターは、自分の住む地域のリーダー（エリア照会者[ARP]と広域エリア照会者[RRP]）、およびILRPと十分に連絡をとり合い、様々な提言をします。またコーディネーターは、課題別グループに属する新しいティーチャーの認定、グループへの援助基金²³⁾の拠出、グループに関連した特別なワークショップや会議や出版物などについて、地域のリーダーから相談を受ける場合もあります。

リーダーズ・グループ:

リーダーズ・グループ¹⁾は社会で共通の基盤（抑圧、職業、関心事）を持つ人々から構成されます。リーダーズ・グループは直にRC内外でこれらの共通基盤を持つ人々のリーダーシップをとります。

23) 援助基金とは、RCを利用する機会が得られにくい状況にある人を金銭的に援助する制度です。援助基金には、エリア援助基金、コミュニティ活動基金、国際援助基金（再評価財団が管理。ガイドラインH7を参照）があります。

1) 75頁注を参照。

D. 再評価カウンセリング・コミュニティとリーダーシップの構造

サポート・グループ:

サポート・グループは世の中で共通の基盤（抑圧、職業、関心事）を持つコウ・カウンセラーによって構成されます。サポート・グループはARP（ARPがいなければRRP）と協議の上、いずれのRCerでもが立ちあげることができます。サポート・グループは、RCティーチャーの資格のある人またはティーチャーの資格のある人からリーダーシップについて相談役となるよう了承を得た人がリーダーを務めることができます。サポート・グループでは、すべての参加者が十分な注目をもらえるように、人数をあまり多くしないでください（3～8人）。参加者はグループ全体から与えられる注目を利用することにより、より多様なグループでは手が届きにくい傷をディスチャージすることができます。すべてのRCの集まりと同様に、(1)既存の理論の見直し、(2)新しい理論の伝達、(3)ディスチャージし再生すること、を内容に含んでください。

サポート・グループは、新しくコウ・カウンセリングに参加する人にとっての入口となる場合もあります。

サポート・グループで参加費が徴収される場合は、その1/4は援助基金に納めてください。（ガイドラインH2参照）

理由

抑圧社会はあらゆる方法で人々を分断してきました。社会はグループ同志が互いに抑圧に加担するよう操作してきました。私たちはこうしたグループがそれぞれどのように疎外しあい、孤立してきたか、またどうすれば再びつながり合うことができるかを学ぶことができます。それぞれのグループはまず共通の基盤を持つことを基準にして集まる必要があります。次に独自のリーダーシップを発展させ、解放プログラムをスタートさせるのに何が必要かを考えます。これはグループ別におこなう必要があります、それがおこなわれなければ各グループがつながり合うための一歩を踏み出すことはできません。

ILRPはRCコミュニティ内外における自分の属するグループの代弁者となることができます。ILRPおよび地域または広域エリアのコーディネーターは自分の属するグループを成長させるために、そのグループ内でワイジェリアン²⁴・サポート・グループやリーダーズ・グループを立ちあげることができます。コーディネーターを育てることは、解放のためのリーダーシップを発展させ、地域や広域エリアにおいてワイジェリアン・グループを促進する良い方法です。

D.3. コミュニティの構造——国際照会者、国際照会者代理

国際照会者（IRP）は国際的な活動や方針を決定したり調整したりします。国際照会者代理（AIRP）²⁵も任命されます。

IRPはRCのリーダーやコウ・カウンセラーたちとワークショップなどで話しあったり、提案の草稿を回覧したりすることによって、方針についてのコンセンサス²⁶を求めます。IRPとAIRPはRC世界会議でコンセンサスによって選任されます。

24) ワイジェリアンとは、女性、同性愛者、若い人、高齢者、障害者、人種差別の対象にされる人といった、様々な課題別グループに適用されるRC用語です。

25) 国際照会者代理（AIRP／オルタ）は、国際照会者が何らかの理由で役目を果たせなくなったときに、即座に国際照会者の代わりに役目を果たす人です。

26) コンセンサスとはグループ全体の合意を意味します。

理由

コミュニティ全体の方針と活動の調整責任を担う人がひとり必要です。この役割を課せられた人は、自分がくだした判断を他の人々に確認する必要があります。幅広く稟議することが良い結果を生んでいます。

D.4. コミュニティの構造——地域の組織づくり

連絡と協力:

同じ地域に住むコウ・カウンセラーは互いに協力し合ってください。また、国際RCコミュニティとの連絡を欠かさないようにしてください。

リーダーズ・グループ:

特定の地域や課題別グループに2人以上のコウ・カウンセラーがいる場合は、時折、リーダーズ・グループとして集まるよう奨励してください。この集まりは、その地域やグループにおけるコウ・カウンセリングの発展や改善や組織づくりについて話し合い、計画をたてるためのものです。この集まりにはリーダーをしている人と、リーダーになりたいと思っている人を招いてください。リーダーズ・グループの人数が10人を超えたら、リーダーたちが果たす機能ごとに別のグループをつくって集まってください。ただし、1つのリーダーズ・グループが継続してその地域やグループにおけるコウ・カウンセリングの発展や改善や組織づくり全体について、責任を負うようにしてください。

発展中コミュニティ²⁷におけるリーダーズ・グループ:

発展中コミュニティにおけるリーダーズ・グループは、RRP（RRPが任命されていない場合は国際照会者 [IRP]）と定期的に連絡をとり合ってください。そのために、リーダーズ・グループのメンバーはRRPと協議の上、この役割を果たす人を1人決めることができます。決められたリーダーは次をおこないます、

- (1) クラスやサポート・グループについてRRPと協議する
- (2) 発展中コミュニティのためにワークショップを開催することをRRPに勧める
- (3) （地域のリーダーズ・グループと協議の上）RCの新しいティーチャー認定者を推薦する（ガイドラインG1参照）
- (4) ワークショップへの参加者をRRPに推薦する
- (5) 発展中コミュニティの援助基金の使い方について承認する（ガイドラインH7参照）。

それ以外の役割、たとえばエリア化されている地域のARPが果たす様々な役割（ガイドラインD6のリスト参照）はRRPの責任となります。

理由

発展中のコミュニティは、エリアとなってARPを選ぶまでに成長し経験を重ねるまでは、通常、経験豊かなリーダーのサポートを必要とします。

27) 発展中コミュニティ（以前は「エリアになっていない地域」と呼ばれていた）とは、RCコミュニティをつくるために協力し合っている同地域のコウ・カウンセラーのグループです。

D .5. エリアの成立とエリア照会者（ARP）の選出

エリアの成立：

リーダーズ・グループは、RRP（RRPがない場合はIRP）と協議の上、以下のすべての条件が整った場合、活動しているコウ・カウンセラーを招集して、「エリア」を形成しARPを指名するための会合を開くことができます。

- (1) 地域やグループでコウ・カウンセリングの活動に積極的に参加しているコウ・カウンセラーの数が30人に達した
- (2) RCコミュニティを築くことに協力するのを約束した中心メンバーが何人かいる
- (3) ARPになる意志があり、その準備ができている人が少なくとも1人いる

エリア照会者（ARP）の選出：

エリアの人々がIRPの同意のもとに（RRPがいる場合はRRPと協議して）ARPを選出します。ARPはIRPと協議の上（RRPがいる場合はRRPとも協議して）、エリア照会者代理（AARP）²⁸を推薦し、エリアのメンバーの承認をおおぎます。この選出はエリアで活動しているメンバーの集まりとして、RRP（RRPがない場合はIRPを代理する人）の出席のもとにおこなってください。それが無理な場合は、RRP（RRPがいる場合）、そのエリアのティーチャーや活動しているリーダーたち、そしてIRP（またはその代理）が十分に協議した上で選出してください。

エリアとして正式に認定されない（つまり、コウ・カウンセリングの活動に積極的に参加しているコウ・カウンセラーが30人に達していない）うちにARPやAARPを選出することはできません。

エリアのリーダーシップの見直しは、RRPがIRPと、またはIRP自身が、またはエリア自体がRRPと協議した上でいつでも提議することができます。

理由

エリアをつくるのが、RCの継続的發展に重要であることがわかっています。エリアをつくる過程で多くの人がコミュニティをうまく機能させるための責任を担います。エリアはコミュニケーションに、組織づくりに、良いカウンセリングに、ワイジェリアン・リーダーズ・グループ¹の成長に、そしてリーダーシップの發展に、効果的な構造であることがわかっています。

その人にARPの役割を果たす準備が整っているかどうかを判断するには、RRPとIRPの知識と経験が必要です。これは、地域のコウ・カウンセラーたちがエリアとして機能し、自らのARPを支える準備が整っているかどうかを判断するためにも必要です。地域のリーダーがエリアを正式に立ち上げるためには、エリアとなる地域に活動しているコウ・カウンセラーが少なくとも30人いる必要があります。30人未満で始まったエリアは、より苦勞をする傾向にあります。また、エリアになったからといって、活動しているコウ・カウンセラーの数を簡単に30人に増やすことができるわけではありません。地域のリーダーはこの手順により、エリアを軌道に乗せるために必要な経験とサポートを得ることができます。

1) 75頁注参照。

28) エリア照会者代理（AARP）は、エリア照会者が何らかの理由で役目を果たせなくなったときに、即座にエリア照会者の代わりに役目を果たす責任を有します。

D .6. エリア照会者の役割

エリア照会者（ARP）の責任範囲：

ARPだけでなく、全リーダー（実質的にはすべてのコウ・カウンセラー）は、すべてのことにおいて責任を自覚することが望めます。これはRCコミュニティ全体にも適用できます。ARPの基本的な役割は、エリア全体について考え、エリアの活動がRCの理論や方針に一致しているかどうかを判断することです。

ARPの具体的な責任範囲を次に示します。

- (1) エリア内のリーダーとリーダーシップについて考え、発展させる
- (2) ティーチアの認定や資格取消しの選定に参加する（ガイドラインG 1参照）
- (3) 異なるティチャーが教える、各クラスのコウ・カウンセラーを対象とするエリアの活動を許可する
- (4) エリアのコウ・カウンセラーが、広域エリアのワークショップや国際ワークショップに参加することを許可する
- (5) RCの名のもとにおこなわれるエリアの新しい種類の活動について許可する
- (6) エリア援助基金²⁹（ガイドラインH 13参照）とエリア維持基金³⁰（ガイドラインH 9参照）の使い方について最終的な決定をする
- (7) RRPと協議の上で、地元メディアへのRCの紹介を許可する（ガイドラインI 2参照）。
- (8) 協議やディスチャージや話しあいだけでは早く同意に達せられないまれなケースについて、エリアを代弁して決断を下す
- (9) ガイドラインH 6で説明されているように、エリア援助基金を地域で管理している場合は、年ごとのエリア財政報告書をIRPに提出する
- (10) クラスやエリア・ワークショップの計画について協議し、許可を出す（ガイドラインF 2とF 3参照）
- (11) エリアレベルでのRCの資料の出版を許可する
- (12) 地域のRCのウェブサイトやメーリングリストを管理する（ガイドラインL 3参照）
- (13) 再評価財団³¹について理解する（ガイドラインH12参照）

最後の5項目の役割はARPの代わりに別のリーダーが務めることもできます。

ARPはRRP（RRPがいる場合）またはIRP（RRPがいない場合）としっかり連絡をとり合ってください。提案された活動について、エリアのリーダーたちと話し合って判断してください。エリアのリーダーはARPに情報や提案を示してください。

29) エリア援助基金は、再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社によって管理されています。この基金はたくさんの方のエリアの口座から成り立っています。この基金はエリアのクラス、ワークショップなど様々な催しで集められた基金と、寄付から構成されます（税金控除にはなりません）。エリア援助基金からの支出はエリア照会者（発展中のコミュニティでは任命された会計責任者）の承認を必要とします。この基金はワークショップの参加費や交通費の援助にあてられます。国境を越えて送金することが難しい場合は、（国際照会者の了承を得て）地域でエリア援助基金を保管することもできます。

30) エリア維持基金は、各エリアが任意に積み立て、管理します。この基金は各エリアの印刷代、ニュースレターの送料、マットや音響機器、RCのCDやビデオなどコミュニティに必要な物品の購入に使われます。通常、維持基金には寄付や地域のクラス代の一定割合が納められます。エリア照会者とエリアのリーダーがこの基金を管理します。（ガイドラインH 9参照）

31) 再評価財団は、RCコミュニティから完全に独立した団体です。再評価財団は役員会が管理し、アメリカ合衆国において501条(c)項(3)号公益法人法にもとづいて登録されています。この財団は、なかなかRCを利用できない境遇の人々に、RCの理論と実践とリーダーシップトレーニングを広める資金を提供するために1972年に設立されました。

D. 再評価カウンセリング・コミュニティとリーダーシップの構造

ARPはRCのティーチャーの資格を持っている必要があります（ガイドラインG 2参照）。

エリア照会者代理（AARP）：

AARPは、ARPが役割を果たせなくなったときに、ARPのすべての機能をすぐさま引き継げる人にしてください。ARPやエリアに関連する、それ以外の活動については、各エリアで任意に決めてください。

理由

グループがうまく機能するためにはリーダーシップが必要です。地域のRCコミュニティにとってARPはたいへん役に立つ存在です。ARPには与えられた責任範囲を超えた役割を果たすことは期待せず、コミュニティのメンバーの多くが仕事を分担しあうと、そのコミュニティは着実に成長します。ARPがRCの良いティーチャーであれば、他のティーチャーのサポートやカウンセリングがよりよくでき、リーダーシップの優れた見本となります。

D .7. エリア・ミーティング

少なくとも年に2回はエリアのメンバーによるミーティングを開いてください。ミーティングの目的は、エリアの長期的方針、計画、目標の進展状況などを見直し、コンセンサスを得ることです。ミーティングにはコミュニティの全メンバー、もしくは最低ARP、AARP、エリアのリーダー、そしてエリアのクラスの代表者が参加するようにしてください。

ARPは年2回のエリア・ミーティングのうち最低1回は自己評価¹¹をおこない、照会者が役を続けるかどうかをミーティングにかけてください。

理由

方針、目標、活動について話し合い、決定し、進展状況を確認する会合を定期的におこなう必要があります。これにより結束が深まり、前進につながります。

自己評価は、コミュニティに対するリーダーの責任意識を高め、リーダーシップを前進させるための自己修正を促進します。また、コミュニティ全体の知性に敏感に対応するようリーダーを促し、同時に、すべての人が責任を自覚した上でリーダーに対応するよう促します。

D .8. うまくいっていないエリア

エリアの成長と発展が滞ったときには、対策が必要になります。ARPとAARPはRRPと協議した後、エリア・ミーティングを開いてください。ミーティングの参加者は、エリアで経験している困難な点についてディスチャージし、エリアを活性化させるための方策を話し合うことができます。

また、地域のRCコミュニティ構築のために、より多くのイニシアティブが発動³²されるのであれば、ARP、RRP、IRPはそのエリアの構造を解体する可能性についても話し合う必要があります。ただしこれは、多大な努力を費やしたけれども成功しなかった場合のみにおこないます。

11) 76頁注参照。

32) イニシアティブの発動とは、より多くのRCerが率先して行動を起こし、リーダーシップを発揮して前に進める状況をつくりだすことをいいます。

理由

RCコミュニティの構築が困難になった場合、地域のコミュニティのメンバーとそのコミュニティと関わっている照会者は、その困難を乗り越えるための対策を（初めからやり直すことも含めて）新たに考え直す必要があります。

D.9. 既存のエリアから新しいエリアが生まれる

新しいエリア：

すでにあるエリアの周辺でRCを始めた人たちは、活動を立ち上げるにあたり、そのエリア下でエリアのARPとともに活動してください。そして、構築中のコミュニティの活動のためのリーダーズ・グループをつくってください。新しいコミュニティが成長するにつれてリーダーズ・グループも大きくなります。新しいコミュニティは活動しているコウ・カウンセラーが30人になれば、ARPのいる独立したエリアになることができます。（ガイドラインD5参照）

現在あるエリアが数の上でもリーダーシップの上でも着実に成長し、活動しているコウ・カウンセラーが50人になったときは、エリアを2つに分けることを考えてください。

エリアは必ずしも地理にしばられない：

多様性のあるコミュニティ構築の妨げとならないかぎり、地理的な地域をエリアとするのが合理的です。他に、課題別グループの分布、現存するリーダーシップや人間関係、地域の人口密度なども考慮する必要があります。既存のエリアを分割して新しいエリアがつくられたとき、コウ・カウンセラーは新しいエリアのメンバーではない人たちとの関係を断ち切る必要はありません。しかし、新しいエリアにおけるコウ・カウンセリングのこれからの人間関係や活動の発展に主眼をおいてください。

理由

これらは新しいコミュニティをつくり、発展させるための効果的な方法です。私たちのエリアの大半は地理的に分けられており、それでうまくいっています。エリアの構成を決めるときに、既存の人間関係をもとに人々が自然に集まってできたメンバー構成でなく、地理的地域でエリアを区切るほうが、より幅広いバックグラウンドの人々とRCの関係を築くことが可能になります。

私たちはエリアをつくる時、幅広いバックグラウンドの人々を含むよう注意すべきです。人口密度の高い広域エリアにおいては、エリア構成に柔軟性をもたせることが各エリアをより力強くすることがあります。

D.10. 広域エリア照会者（RRP）

広域エリア照会者の任命：

IRPは地域のリーダーたちと協議の上、地理的、民族、言語などで分けられた^{III}広域エリアにRRPを1人任命することができます。RRPに任命されるリーダーには次が求められます。

- (1) 長期にわたって、正しく機能する力強いコミュニティを組織し、率いる能力が実証されている
- (2) 理論と方針を一貫して正確かつ理に適って適用してきた
- (3) 間違いを犯したときに、それを弁護するのではなく正してきた
- (4) 広域エリアのリーダーやティーチャーたちに尊敬され支持されている

III) 76頁参照。

D. 再評価カウンセリング・コミュニティとリーダーシップの構造

RRPはIRPに対し責任を有し、IRPの代理人であることを第一に考えてリーダーシップの発展やサポートをおこないます。RRPは広域エリアのリーダーたちと協議の上、IRPの裁量にもとづいて役を務めます。

広域エリア照会者の役割:

RRPの最大の役割は、広域エリアにおける既存のリーダーと新しいリーダーの継続的な再生を支援することです。

またRRPは、IRPおよびARPとならんで、広域エリアでの新しいティーチャーの資格授与を承認します。広域エリア・ワークショップのオーガナイズやコーディネートをしたり、広域エリアにおける国際援助基金の使い方に関してIRPに提案したりすることもあります。

各エリアとの関係:

RRPがARPの仕事をおこなうことはできません（RRPがARPを兼任している場合は別です）。RRPは、広域エリア内のARPやリーダーズ・グループ、あるいは発展中コミュニティのティーチャーから相談やサポートを求められたとき、それに対応します。RRPの仕事は、広域エリアのリーダーたちのリーダーシップを発展させ、導き、支え、励まし、手助けすることです（概して、コウ・カウンセラーのリーダーシップをとる役割は、ARP、エリアのリーダー、ティーチャーが担います）。

RRPは自分の広域エリアが、境界線ではっきりと区切られていると考えないでください。隣接するすべての広域エリアのRRPと協力し合ってください。RRPは互いにサポートし合い、広域エリア同士でリーダーシップを調整し合ってください。

理由

RRPはリーダーを育て、サポートする必要があります。不必要な運営構造を設けなくてもそれをおこなうのは可能です。

D.11. 解放、職業、関心事で共通の基盤を持つグループのリーダー

国際照会者（IRP）による任命:

解放への取り組み、職業、関心事などが共通するコウ・カウンセラーが、コミュニティの中でかなりの数に達しているようであれば、IRPは国際解放照会者（ILRP）または国際共通照会者³³（ICRP）を任命することができます。

国際解放照会者（ILRP）と国際共通照会者（ICRP）の役割:

ILRPとICRPは、国際RCコミュニティにおいて自分の課題別グループが達成したいことを代弁し、IRPの代理人として課題別グループのリーダーシップをとります。ILRPとICRPは、エリアや広域エリアのコーディネーター³⁴と協議の上、IRPの裁量にもとづいてその役を務めます。

33) 国際共通照会者（ICRP）は、人類に共通する課題をともに追求することを選んだ人々の代表です。ICRPは、国際RCコミュニティにおける自分の属するグループの達成したいことを代弁し、国際照会者の代理人としてそのグループのリーダーシップをとります。また、RCコミュニティの内外で自分の属するグループのために、方針、出版物、ワークショップや会議の開催について提案や企画をおこないます。

34) 課題別グループのコーディネーターは、コミュニティの中で自分が属するグループの再生を促す活動を調整します。

また、IRPの承認のもと、RCコミュニティの内外で解放、職業、関心事などの課題別グループの方針や³⁵、課題別グループに有益な出版物、ワークショップ、会議などの開催についての提案や企画をおこないます。

解放のためのリーダーシップを発展させる：

ILRPとICRPは、IRPおよびRRPと協議の上、自分を補佐し、取り組みの発展をはかるために、グループ内で国際的で多様なリーダーを複数育成します。課題別グループに属する人が多く居住する地域にて、これらのリーダーはエリアまたは広域エリアのコーディネーター、サポート・グループ、リーダーズ・グループなどのネットワークをつくる手助けをします。こうした解放や関心事の課題にもとづいたグループのリーダーたちは、地域の他のリーダーたちとあらゆる面で協議し協力し合います。地域または広域エリアのコーディネーターは、RRPおよびILRPまたはICRPの合意の上で任命されます（ガイドラインD2参照）。

理由

コミュニティの中で課題別グループのメンバーが十分な数に達した場合、国際的にそのグループのリーダーを任命すると、グループの取り組みはより効率的に進みます。このようなリーダーシップの仕組みがあると、特定のグループのメンバーにとって、RCの活動参加がより有益なものになります。

D.12. コミュニティにおける無報酬の仕事

私たちはみな、RCコミュニティの成長と発展に貢献することから恩恵を受けます。RCコミュニティの仕事では報酬が支払われることはほとんどありません。以下のどの仕事にも報酬は支払われません——照会者、編集者、翻訳者、通訳者、コーディネーター、オーガナイザー。（ただしワークショップのオーガナイザーにはワークショップの収入から報酬が支払われます）、会計係、資料係、ウェブサイトの制作者と管理者、その他役割の担当者。³⁶

照会者は、電話代、交通費、託児費用など、RCの仕事をする過程で発生した経費を(1)地域のエリア維持基金³⁷（維持基金が集められている場合）、または(2)再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社のコミュニティ活動基金³⁸から払い戻しを受けることができます。照会者は、適切とみなされれば、再評価財団が定める教育目的を推進するために発生した経費を、助成金として申請することができます。

35) 方針は、(1)理論の応用についての提案、(2)過去の経験にもとづき応用が勧められる事項、(3)実際に応用するための体系、から成り立っています。方針は、グループのメンバーが互いに協力し、助け合って活動できるようにつくられた指標であり、合意事項です。方針はディスチャージを促し、思考を明確化します。方針は私たちがその時点で有する最良の考えを表わしたものです。したがって、方針はつねに草案であるとみなします。RCコミュニティの方針には(1)世界会議やエリア・ミーティングなどで承認されたコミュニティの方針、(2)特定グループのもっとも優れた考えを表した方針（解放の方針声明の草案）の2種類があります。

36) RCコミュニティで報酬が支払われるのは、RCのティーチャー、RCワークショップのリーダー、オーガナイザーだけです。これらの人に対する報酬は、RCコミュニティからではなく、その人が教えたクラスや、リーダーシップをとったオーガナイザーをしたワークショップの収益から支払われます。またRCの何人かのスタッフは、コミュニティ援助基金から部分的援助を受けています。（ガイドラインH4参照）

37) エリア維持基金は、各エリアが任意に積み立て、管理します。この基金は各エリアの印刷代、ニュースレターの送料、マットや音響機器、RCのCDやビデオなどコミュニティに必要な物品の購入に使われます。通常、寄付や地域のクラス代の一定割合が維持基金として納められます。エリア照会者とエリアのリーダーがこの基金を管理します。

38) コミュニティ活動基金は、RCコミュニティの活動を継続していくための支援にあてられます。この基金はワークショップ、クラス、RCを伝える様々な催しなどで集められます。寄付によっても集められます（税金控除にはなりません）。この基金はワークショップの参加費や交通費、RC資料の購入などの助成にあてることができます。また、この基金はRCコミュニティの運営資金の援助に使うこともできます。コミュニティ活動基金は再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社が保管し、その用途は国際照会者の承認を必要とします。

D. 再評価カウンセリング・コミュニティとリーダーシップの構造

理由

コミュニティの財政は、照会者やその他の役割担当者が担っている仕事に対し報酬を支払うことが現実的に難しい状態にあります。

また、コウ・カウンセラーやリーダーはコミュニティのニーズに配慮することと自分の金銭的ニーズを混同しないことが大切です。

仕事を過度に引き受けようとする衝動を抑えることは、照会者やコミュニティづくりに携わっている人々の責務です。むしろ、その仕事をする能力のあるコウ・カウンセラーにできるだけ委託するようにしてください。無償で仕事をしているからこそ、コミュニティのみんなに仕事を理性的に分担することを促したり期待したりできるのです。

コミュニティについて考えたり、計画したり、仕事をしたりといった基本的な照会者の活動に対しては、報酬は支払われないというのがコミュニティの方針です。ただし、活動遂行に関連して発生した経費にかんしては、適切であるとみなされ、可能であれば、コミュニティが払い戻しすることができます。

D.13. リーダーの再生にかんするグループ責任

すべてのリーダーは自分自身の再生について責任を持ってください。それと同時に、継続的に活動しているコウ・カウンセラーのすべてのグループには、グループのリーダーをカウンセリングし、再生させる責任を自覚することが奨励されます。

グループはリーダーをカウンセリングするための特別な集まりを随時開いてください。この集まりを呼びかけるのはグループのメンバーでも、リーダー自身でもかまいません。

まず、リーダーがクライアントとしてグループに話をします。困難なこと、必要なこと、必要とする支援などを可能なかぎり明確に説明し、グループのメンバーからの質問に答えます。

次にリーダーはその場から離れます。グループはリーダーを交えずに、状況を話し合い、必要ならミニ・セッションをして、クライアントとしてのリーダーを支援する方法について考えます。カウンセラーとコーチを決め、議論したり、グループとしてとるべき有効な対応を考えたりする場合もあります。

終わったらリーダーを呼び戻し、リーダーをカウンセリングするために考えた方法を実行します。それがうまくいったら、今後もそれを続けるためのカウンセラーを決めます。

うまくいかなかったら、今回または次回の集まりで、この段階を再度繰り返します。そして、成功するまで繰り返します。

RCのワークショップで設けられる「リーダーのカウンセリングの時間」は、決められた通常のミーティングの時間内ではおこなわないでください。また、希望参加のかたちにしてください。

理由

グループではこうした手順をとることによって、カウンセラーであることに不可欠とされる対等性が守られ、リーダーが効果的なカウンセリングを受けるための支援を得ることができます。(ガイドラインA2参照)

ワークショップのリーダーは、ワークショップのリーダーシップをとることによって参加者から報酬を受けとります。ワークショップ中にリーダーをカウンセリングすることは、参加者すべてに有益でしょう。しかし、決められた通常のミーティングの時間にリーダーをカウンセリングすることが、リーダーの役割と衝突することがあります。また、参加者からの注目を自分の利得にしたいという、無意識な衝動が生まれることもあります。

E . 決断と、正しい視点を手に入れること

E .1. 問題について正しい視点を手に入れる

すべてのコウ・カウンセラーは、再評価カウンセリング（RC）の理論を使って、あらゆる問題（もっとも論争の的になっている問題も含め）について考え、正しい理性的な視点（これを「方針」と呼びます）に到達することが求められています。この過程は特別な会議、ワークショップ、出版物などによって補足されます。ただし、この方針に全員が完全に同意していたとしても、コウ・カウンセラーやコミュニティのメンバーを拘束するものではありません。これはあくまで草案です。私たちがさらにディスチャージと経験を重ね、より良く考えられるようになるにつれて修正されていくものです。

理由
あらゆる問題について考えることは私たちの再生を速めます。私たちに世の中のネガティブな傾向がなくなるのを待っている余裕はありません。コウ・カウンセリングだけに集中するには限界があり、非現実的です。私たちの湧き出る知性を否定することにもなります。私たちは徐々に声を大にし、行動したいと願うようになります。それと同時に私たちは、ガイドラインA3に定められるワンポイント・プログラムの実行を唯一の条件として、コミュニティの基本的な統一を保っていきます。

E .2. 決断する

コミュニティのメンバーには、互いにコミュニティの方針に同意し協力し合うことが求められます。私たちはこれを、RCの基本理論や長期目標を参照しながら、情報伝達や話し合いを通しておこないます。方針について同意を得ることが困難な場合は、対立する考え方について徹底的に話し合い、相違点を解消します（そのための方法の一つとして、注IVを参照）。私たちは相違点を解消するために、ディスチャージと再評価を利用します。多数決で不合理に起きる、たった一つの理性的な意見が否認されることを防ぐためです。

方針についての対立が解消されないときは、しかるべき照会者が（必要であれば国際照会者 [I R P] が）決定をくださいます。決定をくださることで、無決断からくる無行動が妨げられます。行動することによって、もっとも理性的な方針を決めるのに役立つ情報が得られます。

理由

個人のパターンや社会が強いるパターンによって、RC理論の論理的な一貫性を損ねようとする圧力に常時さらされています。そのため、理論が不正確な私たちで促進されることがあります。ときにはRCではない理論や実践がコミュニティで推進されることもあります。既存のRC理論と実践が、善意に由来したものであったとしても、薄められたり歪められたりしないよう伝えることが大切です。私たちはみなディスチャージと再評価によって理性的になるにつれ、不合理な考えについてより良く話し合い、対応できるようになります。しかし、どのような方針や行動が真に理性的かを知るには、一生懸命考えるという方法以外にはないでしょう。そこに到達するには、暫定的なコンセンサス³⁹⁾に達することが最良の方法でしょう。

最終的には何らかの決定をくださる必要があります。それまでの話し合いで満足のいく方針をはっきりと決められなかった場合は、何らかの決断をくだし、その決断を実践する必要があります。その決断がもたらす結果を見ると、修正が必要かどうか明確になることがあります。未決断からくる不行動が長引くと不満や論争のパターンが出てきたり、再刺激を起こさせたりします。議論による合意が得られない場合は、I R P が理論的に最終決定者の役を担います。

IV) 77頁注参照。

39) 暫定的なコンセンサスとは、グループを前に進ませるために仮の合意を得ることです。



F. 再評価カウンセリングのワークショップ

F.1. ワークショップ——概観

ワークショップの区分

再評価カウンセリング（RC）のワークショップは、クラス、エリア、広域エリア、複数広域エリア、国際レベルに区分され開かれます。ティーチャーは、クラスのメンバーが参加に適したレベルのワークショップに参加するよう勧めてください。

多様性が目標である：

多様なバックグラウンドをもった人々に参加してもらうようにすることが私たちの目標です（ただしテーマが特定のグループを対象としている場合は例外です）。それは全人類が一つになるための具体的な第一歩です。私たちは、一緒にいて心地よい親しい人たちだけで集まることをしたくはありません。

若い人：

参加費を支払うおとな20人につき1人の若い人（21歳以下）の参加費を免除してください（若い人のワークショップに参加する若い人や、家族と一緒にファミリー・ワークショップに参加する若い人はこの限りではありません）。しかし、若い人でも自分が払える範囲の参加費を払うことが奨励されます。参加費を少しでも負担すれば、1人分の無料枠で2人以上の若い人が参加できる可能性が生まれます。

参加の許可：

クラスやエリアのワークショップに参加するためにはティーチャーの承認が必要です。また、広域エリアや国際レベルのワークショップや自分のエリア外のワークショップに参加するためにはエリア照会者（ARP）（ARPがない場合は広域エリア照会者〔RRP〕）の承認が必要です。ワークショップへの参加をARPが認めなかった受講生は、RRPに見直しを依頼することができます。RRPはARPや該当する国際解放照会者（ILRP）と協議した上で結論を出してください。

リーダーが1人、オーガナイザーも1人：

ワークショップは、国際照会者（IRP）の特別な許可がある場合を除いて、リーダーは1人（ティーチャーの資格のあるリーダー）、オーガナイザーも1人です。1人のリーダーだけがリーダー代を、1人のオーガナイザーだけがオーガナイザー代を受けとります。

リーダーやオーガナイザーにアシスタントがいる場合は、無報酬でおこなうか、リーダーやオーガナイザー個人の判断で自分の報酬から支払ってください（ただしファミリー・ワークショップは例外です。2人までのリーダーにそれぞれリーダー代を出してもかまいません）。(ガイドラインH10参照)

アクセシビリティ：

ワークショップを開く会場はだれにとってもアクセスしやすくなければなりません（たとえば、歩行障がいのある人は車椅子で行ける、聴覚障がい者にはマイクロフォン・ループ・システムが手話通訳を用意する、視覚障がい者には介助者を付ける、など）。

ワークショップではアクセスが完備していることを必要条件とすることもできます。アクセス設備

F. 再評価カウンセリングのワークショップ

の整った場所がなければ、コミュニティは会場の責任者と協議してアクセスを可能にしたり、アクセス可能にするために必要な資金や労力を提供したりします。

制限つきのアクセシビリティで妥協しないように、私たちはこのことを目標に掲げています。

通訳:

RCのワークショップで、リーダーがワークショップの開かれている地域に住む人々の言語を話せない場合は、必ず通訳を提供してください。できれば、ワークショップの参加者が母語や第一言語にしているすべての言語に対して通訳を提供してください。(ガイドライン)3およびRCウェブサイトの「Language Liberation (言語の解放)」の項を参照)

環境への配慮:

ワークショップは環境に配慮した上でオーガナイズし、開催してください。交通手段を含め、オーガナイズするときも、ワークショップ中も、できるだけ環境に負荷をかけない方法でおこなってください。(詳しくは、RCのウェブサイトの「Workshops/Organizers Manual (ワークショップ/オーガナイザーの手引き)」の項を参照)

理由

こうした形式のワークショップは、その効果が証明されています。このようにすることで、各個人とコミュニティの双方が成長します。

多様なバックグラウンドの人が参加することは、ワークショップ全体のためになります。ワークショップは人間の生き方について幅広い視点を提供する必要があります。

本ガイドラインは、ワークショップで若い人に対してこうしたかたちの金銭的援助をおこなうことを求めています(これ以外にワークショップでは、参加者に対して金銭的援助はおこなっていません。ただし援助基金は別です。ガイドラインH7参照)。この金銭的援助が若い参加者のあいだでどのように配分されるかについては、とくに指定しません。

リーダーシップは一人ひとりとするというのが基本的な原則です。それによって責任の所在が明確になります。どんな活動や組織においても1人の人間がリーダーに任命される必要があります。リーダーが1人、オーガナイザーが1人というのはこの原則に合致します。

リーダーまたはオーガナイザーに任命された人は、ワークショップ全体がうまく進行するようにそれぞれ責任を担います。ただし、アシスタントを使うことによって、新しいリーダーシップを育て、責任を理性的に共有することもできます。

通訳はことばの解放のために重要であり、あらゆる人が参加し、十分に内容を理解できるようにするために必要です。

ワークショップにおいて環境に配慮することは理にかなっており、RCコミュニティの目標の実践を助けることにもなります。

F.2. クラスのワークショップ

エリアになっている地域のRCのティーチャーが自分のクラスのメンバーのためにワークショップを開く場合は、そのワークショップの計画についてARPとよく話し合ってください(発展中コミュニティのティーチャーはRRPに相談します)。そしてワークショップをどうおこなうかについて基本的な合意を得ておいてください。他のティーチャーのクラスを受講生やコウ・カウウンセラーを参加させたいときも、ティーチャーは最初にARPの承認を得る必要があります。

理由

ARPに相談することで、ワークショップにおける不要な誤りを避けることができます。また、クラスのメンバーに対する各ティーチャーの責任範囲を尊重することにもなります。

F.3. エリア・ワークショップ

エリアレベルでおこなわれるワークショップはARPと協力し、話し合いながら計画を進めます。エリア・ワークショップはおもにそのエリアのコウ・カウンセラーのためのものです。他のエリアのコウ・カウンセラーは、時折参加することとします。自分のエリア以外のエリア・ワークショップのリーダーをするティーチャーは、ワークショップのリーダーシップをとる前にIRPと特別な協議をし、許可を得る必要があります。ただし広域エリア内でおこなわれるワークショップであれば、IRPはその許可の権限をRRPに委任することができます。

理由

エリアのリーダーの最大の役割は、自分のエリアのコウ・カウンセラーとともに活動することです。他のエリアからコウ・カウンセラーを招いたり、他のエリアでワークショップをおこなったりするよりも、自分のコミュニティの発展に努めるべきです。

F.4. 広域エリア・ワークショップ

広域エリア・ワークショップとは、広域エリア内の2つ以上のエリアのコウ・カウンセラーが参加するワークショップです。広域エリア・ワークショップでRRP以外の人リーダーをする場合は、最初にIRPの許可を得なければなりません。リーダーはIRPと協議の上で選ぶ必要があります。ただし、IRPはその許可や協議の権限をRRPに委任することもできます。

理由

広域エリア・ワークショップの開催やリーダーの決定については、事前にIRPと協議したほうが、ワークショップとリーダーシップがより効果を奏します。

F.5. 国際ワークショップ

国際レベルのワークショップは、あらゆる分野の人々を対象に新しいリーダーとティーチャーを育てるために開かれます。国際ワークショップは(1) (抑圧、職業、関心事が共通した) 特定のグループが資源の投入に値するだけの人数に達したら即、そのグループを対象にしたり、(2)全体の再生や解放や自らの主導権を発揮することを促進するために開かれます。

国際ワークショップは必ずIRPの承認を得てからオーガナイズしてください。

理由

RCコミュニティが発展するためには、各人がかかわっている活動範囲をコミュニティであると考えerのではなく、コミュニティを包括的に考える人に参加してもらう必要があります。国際ワークショップはそうした人のリーダーシップを育成するために開かれます。

F.6. ティーチャーとリーダーのワークショップ

ティーチャーとリーダーのワークショップを少なくとも年1回、十分な人数のティーチャーとリーダーがいる地理的地域ごとにおこなってください。

F. 再評価カウンセリングのワークショップ

理由

RCのティーチャーとリーダーにとって、経験と知識を交換し合うことはたいへん有益です。

F.7. 複数広域エリアおよび国際レベルの解放ワークショップと共通課題ワークショップ

RCコミュニティは、十分な数のリーダーのいる解放課題別グループや共通課題別グループのリーダーのために、複数の広域エリアをまたがったワークショップを随時開きます。また、十分な数のリーダーのいる各課題別グループのリーダーのために、少なくとも4年に1回、国際ワークショップを開きます。

理由

こうしたワークショップが地域の解放の活動の代わりになるわけではありません。しかしこうしたワークショップは、解放グループや共通課題別グループのリーダーたちが情報交換し協力し合うことのできる素晴らしい機会を提供します。

F.8. 会議

プレ世界会議と世界会議：

少なくとも4年に1回、各大陸でプレ世界会議が開かれます。プレ世界会議には、その大陸における広域エリアの代表、解放課題別グループの代表、共通課題別グループの代表、IRP、国際照会者代理(AIRP)、特別に招かれたコウ・カウンセラーのグループの代表が参加します。

世界会議はプレ世界会議と同年、もしくは翌年に開かれます。世界会議にはプレ世界会議に参加したリーダーたちの一部、IRP、AIRPが参加します。

世界会議では、長期目標を定め、ガイドラインを修正し(必要に応じて)、RCの国際的方针について話し合い、情報交換をします。こうした活動は世界会議だけでおこなわれるわけではありません。IRPとAIRPは世界会議の場で自己評価^{II)}をおこない、参加者がIRPとAIRPの役職を再選もしくは解任します。

広域エリア照会者、国際解放照会者、国際共通照会者の集まり：

RRPは次の世界会議までに最低1回は集まって、自分たちの広域エリアの方針や組織づくりについて話し合います。また、国際解放照会者(ILRP)と国際共通照会者(ICRP)も次の世界会議までに最低1回集まって、解放、職業、関心事ごとのグループの方針や組織づくりについて話し合います。

理由

もっとも責任ある立場の人たちは、コミュニティの活動について確認し長期計画をたてるための集まりを持つ必要があります。そして、そこでの決定事項を自分のグループの中で実行する責任を有します。

自己評価は、リーダーのコミュニティに対する責任意識を高め、リーダーシップを前進させるための自己修正を促進します。同時に、コミュニティ全体の知性に敏感に対応するようリーダーを促し、すべての人が責任を自覚した上でリーダーに対応するよう促します。

II) 76頁注参照。

F.9. 協力し合っておこなうワークショップ

協力し合っておこなうワークショップ、つまり、1人のティーチャーがワークショップ全体の責任者となり、他のコウ・カウンセラーがワークショップの様々な部門のリーダーシップをとったり、全体をつかさどるリーダーをチームとなって補佐したりすることにより、みんなが協力し合って開催するワークショップは可能です。

すべてのワークショップは照会者（ARP、ARPがいなければRRP、RRPもいなければIRP）を交えて計画、調整してください。これらのワークショップは毎回コミュニティの他の活動と調整し合いながらおこなってください

理由

様々な種類のワークショップを開くことが可能です。リーダーに経験があればあるほど、より多くの成果が得られるでしょう。全体をつかさどるリーダーが決められていれば、期間が短い、互いに協力し合っつくるワークショップがとても有効であることがわかっています。新しい地域で、経験のあるワークショップのリーダーがあまりいないからといって、ワークショップの開催を諦めるべきではありません。日帰りのワークショップも、2日間のワークショップも、週末にかけてのワークショップもそれぞれ効果があります。





G. 再評価カウンセリングのティーチャーの資格

G.1. 再評価カウンセリングのティーチャーの認定⁴⁰

認定基準:

再評価カウンセリング（RC）のクラスを教えたいというコウ・カウンセラーは、ティーチャーとなる準備ができており、適任者である場合のみ可能です。本人の判断はRCコミュニティが確認し支援するものである必要があります。

ティーチャーの資格申請:

RCを教えたいと思うコウ・カウンセラーは、自分が住んでいるコミュニティのエリア照会者（ARP）にクラスを教える許可を申請しなければなりません。ARPはそれを受けて、他のティーチャーおよび国際照会者（IRP）と（広域エリア照会者 [RRP] が指名されている場合はRRPとも）話し合います。

申請は文書で正式におこない、正式に検討されます。それぞれの申請についてARPとIRPが（RRPが指名されている場合はRRPも）話し合います。認定にはこれらの人すべての承認が必要です。認定されたティーチャーはそのエリアでしか教えることはできません。ARPのいない地域でティーチャーになりたい人はIRPに（RRPがいる場合はRRPにも）申請します。新しい地域のティーチャーはガイドラインのティーチャーの条件を理解しておく必要があります。

ティーチャーの資格認定:

ティーチャーとしての許可は、最初は1シリーズのクラスだけに与えられます。そのシリーズを満足のいくように終わらせると、完全なティーチャーとなる資格⁴¹を申請することができます。ティーチャーの条件を満たせなくなった人に対しては、資格を一時的に停止することも考える必要があります。

活動していないティーチャー:

ティーチャーとして1年以上活動していないティーチャーは、IRPと（RRPが指名されている場合はRRPとも）クラスを教えようとするエリアのARPの許可を得なければ、再度教えることはできません。

資格の一時停止:

RCのティーチャーの資格は、次の手順によって一時的に停止することができます。

- (1) ARPもRRPもないところでは、IRPによって
- (2) RRPがいないところでは、ARPかIRPによって
- (3) RRPがいてARPがいないところでは、RRPかIRPによって
- (4) RRPもARPもいるところでは、ARP、RRP、IRPのうち2人の合意によって

40) この項目は必ず実行してください。

41) ティーチャーの資格は、申請者にRCを教える許可を与えるもので、エリア照会者（ARP）、国際照会者（IRP）、広域エリア照会者（RRP）（それぞれが指名されている場合）が却下もしくは承認します。

理由

世界中の人に手を差し伸べるためには、つねに良いティーチャーを供給していく必要があります。しかし、そうしたティーチャーは教える準備が十分にできていて、教える内容を明確に理解している必要があります。しばらく教えていなかったティーチャーは、常に発展を続けるRCの理論や実践に精通する必要があります。

ティーチャーに必要な条件を満たせなくなった人に対してティーチャーの資格を一時停止する場合は、合意した手続きに則っておこなってください。

G.2. ティーチャーに必要とされるもの

経験と知識:

RCティーチャーの資格申請をする人は、該当するかぎり次が求められます。

- (1) 多くのRCのクラスに参加した経験
- (2) たくさんのコウ・カウンセラーと効果的なコウ・カウンセリングをした経験
- (3) セッションで着実かつ十分にディスチャージしている
- (4) レギュラーセッションを続けている
- (5) 資料を読むなどして、常にRCの最新理論を取り入れている
- (6) 継続して自分の地域のコウ・カウンセリング・コミュニティと良い関係を保っている

また、ティーチャーは社交にかんするコミュニティの方針の目的を理解し、それを守る必要があります。

傷を回さない:

照会者がティーチャーの申請を許可するときは、申請者の度量、責任感、まわりの人たちとの関係、その人自身の周辺や心身の充足を管理する能力などを考慮します。ティーチャー一人ひとりが、人々のすばらしい手本となるのを妨げるパターンから自由になることを目標にします。私たちの文化には、階級差別、人種差別、反ユダヤ主義、性差別、年齢にかんする差別、さらには利欲など、様々な抑圧パターンがあります。ティーチャーはRCの活動や生活の中でこれらのパターンに取り組み、ディスチャージしてください。

依存性のある行動⁴²はディスチャージによって克服できます。当初は、ティーチャーには次が求められます。

- (1) タバコ、アルコール、マリファナ、向精神薬を含む精神に作用を及ぼす薬物⁴³を使用したり、使用を擁護しない
- (2) ポルノの存在や使用に反対する
- (3) ポルノにかんするあらゆる傷や習慣性、パターン化した性的行動から自由になるよう取り組む
- (4) セックス、お金、食べ物、薬剤⁴⁴の使用についての混乱（薬剤を無分別に服用したり、嫌ったりすること）に関するあらゆる傷についてセッションし、疑問を投げかける
- (5) 意図的に自分やまわりの人たちを危険にさらすようなことをおこなわない

42) 依存性のある行動とは、毎回傷の記録から来る再刺激に屈服し、その記録の内容を実行することです。

43) 精神に作用を及ぼす薬物とは、中枢神経系に影響を与え、考える能力やディスチャージし再評価する力を阻害する薬物です。

44) 薬剤とは、病気の症状や原因の治療、予防、緩和を目的とする物質です。

ティーチャーは次の目的のためにディスチャージし、抑圧的なパターンに立ち向かうことが求められます。

- (1) 自分自身の再生
- (2) まわりの人々の手本となる
- (3) クラスを成功させ、良いコミュニティを築く
- (4) あらゆるところでリーダーシップをとる

ティーチャーの心構え：

必ずしも教えたいという熱意だけが、ティーチャーとして承認されるための基準ではありません。照会者は、パターンにもとづいてティーチャーになるのを希望する人に承認を与える義務はありません。ティーチャーになりたいがらないコウ・カウンセラーをカウンセリングし、ティーチャーになるよう勧めることにより、素晴らしいティーチャーが生まれることがあります。私たちの経験によると、ティーチャーになりたい、なりたくないということと、良いティーチャーになれるかどうかは無関係です。

理由

これらの条件を満たす努力をするティーチャーは常に向上するティーチャーになります。どんなティーチャーでもRCの基本理論の模範になることができます。どんなティーチャーも、傷から解放され、有害な物質を摂ることや傷で行動することをやめたとき、人間の知性が最高に機能するという見本を示すことができます。

RCのリーダー、クラス、コミュニティは人々の手本となります。私たちは抑圧のパターンをなくすことができます。そのためには、まずリーダーシップをとり始めることです。私たちが前に進むためには、抑圧のパターンに立ち向かうことが不可欠です。

有害なパターンを実行するからといって、その人が責められるべきではありません。多くの場合は抑圧された事実を直に反映したものです。しかし、どんなにその人が傷ついているとしても、できるだけ理性的に行動することがコウ・カウンセリングのティーチャーには求められます。

多くの社会でポルノの利用⁴⁵が一般化し、受容されています。ポルノはすべての人間を標的にし、害をもたらします。解放の取り組みすべての妨げになります。私たちはRCのティーチャーおよびリーダーとして、それに挑戦することを選択します。ポルノは女性と若い人に対する抑圧を助長します（特に人種差別の標的となる女性や若い人）。また、女性や若い人に対する暴力を性的化し、助長します。すでに標的になっているそれらのグループの人々をモノ扱いにしたり、不平等をさらに助長したりします。同性愛の男性を搾取するポルノもあります。あらゆるポルノは、人々の性に関する傷や混乱を助長し、人々がポルノ産業やその見解と活動に加担し、それを経済的にサポートするよう仕向けます。

社会に抑圧されていると同時に抑圧する側でもある男性は、ポルノを使用するときは、自らの価値性を侵害していることとなります。何億ドルという利潤を追求するポルノ産業は、男性支配を系統的に助長します。ポルノは、人間同士の真のふれあいではなく性的な再刺激によって満足を得るよう働きかける、男性に対する抑圧の一つとなっています。ポルノは、使用者に自らの価値性を侵害するこ

45) ポルノの利用とは、性的感情を再刺激することを目的とした書籍や視聴覚媒体を追い求める行動をいいます。ポルノは、おもに女性や若い人に対する性的搾取であり、その背景には性差別と男性支配があります。人種差別と階級差別が大きく影響しており、その意味で、すべての人がポルノに搾取され、抑圧されているといえます。ポルノはおもに男性を対象にしていますが、利益を最優先するポルノ産業は、ポルノの消費者として女性も標的にするようになってきています。

とを強い、使用すると孤独から癒されるような気持ちになることを約束する一方で、実は使用者を孤立させるもので、それにより、あらゆる抑圧を助長しています。⁴⁶

いくつかの有害な行為については、それをやめる誓約をするだけでは不十分であり、効果がないことがわかっています。教え始める前にその行為をやめる必要があります。たとえば、アルコールや精神に作用を及ぼす薬（マリファナや向精神薬など）を使用したり、自分自身やまわりの人に暴力をふるったりすることは、RCコミュニティを代表するティーチャーとしてふさわしくありません。その他の依存性のある行動については、本人がディスチャージをし、やめる誓約をすれば、照会者がティーチャーの資格を与えることがあるかもしれません。

G.3. RC以外の理論を混合しない

RCとは無関係な事柄をRCのクラスで教えないでください。RCのクラスはRCの文献をもとにおこなってください。RCと矛盾する理論や実践（定かでない場合はIRPが判断します）をRCに取り込もうとする人は、RCを教えないでください。RCを教えているとも言わないでください。

理由

どんなRCのティーチャーも、自分の慢性パターンがRCの理論や実践を薄めたり、質を低下させたりしないようにするのが難しいと感じます。すべてのティーチャーはそうしたことが起こらないよう注意してください。「再評価カウンセリング」「RC」「UER（人種差別を止める会）」といった商標の使用は、ここに述べられたガイドラインに従うことを理解した上で初めて許可されます。

G.4. コミュニティによるサポート —文化にもとづく傷のパターン⁴⁷を克服する

ティーチャーは、文化（とりわけ主流文化）がもたらす傷のパターンについてどうセッションしたらよいかを受講生に伝えてください。この試みのひとつとして、各コミュニティは自分たちのコミュニティにおいて主流文化がもたらす傷の記録に取り組み、外部の意見に耳を傾けてください。文化がもたらす傷の記録の例としては、主流文化への同化、抑圧者の記録、加害者の感情やパターンを促進する記録、ディスチャージを抑制する記録などがあります。

理由

どんな傷も執拗にセッションすることによってコントラディクトされ、ディスチャージされます。しかし、パターンは決して自然にはなくなりません。主流文化への同化を強いるとき（たとえば、主流グループと同じような格好をし、話し、ふるまうことを社会が求める）、それが抑圧となります。文化によって強いられた傷の記録をディスチャージすることは、抑圧をなくすための鍵です。しかし多くの場合、その傷はあまりに一般化しているので、気づくのが容易ではありません。そうした傷をディスチャージするためには系統的に取り組むことが必要です。

46) ボルノは、最初にそれを使用したときから傷の記録を植えつけます。インターネット上のボルノは、それを使用する人のもつ特定の傷を把握し、繰り返しその傷を助長させ、それに抗うことを特に難しくします。

47) 文化にもとづく傷のパターンとは、特定グループの文化に結びついた傷のパターンのことです。

H . 再評価カウンセリング・コミュニティの財政

H .1. クラスの受講料と援助基金

再評価カウンセリング（RC）のティーチャーはクラスに受講料を課すようにしてください。ティーチャー代は、そのコミュニティにおける適切な額をティーチャー自身で決めることができます。各エリアのティーチャーは、ティーチャー代の上限と下限をティーチャー同士で話し合っておくこともできます。ただし、これは義務ではありません。ティーチャーは受講料をそのコミュニティのすべてのメンバーが支払える額に設定してください。

ティーチャーはクラスを受けたい人の所得差を考慮して、スライディング・スケール⁴⁸を使うこともできます（これは義務ではありません）。スライディング・スケールを使う場合、ティーチャーは低所得者を除いた受講者が払う「基本参加費」を設定するか、所得に応じた受講料を設定して、より高い受講料を払う余裕のある人からは援助基金を十分に確保するようにしてください。

援助を受けなければ受講料を払うことが難しい人に対して、ティーチャーは援助基金から拠出せずに、受講料を無料にするか減額してください。特別待遇の対象となるのは各クラスにつき若い人3人以内、人種差別や障がいによって抑圧を受けている人2人以内です。

エリアや広域エリア内で経済的な不平等が存在する場合は、コミュニティはティーチャー代がより公平になるような方針を開発してみてください。

理由

コウ・カウンセリングを教えるために時間と労力と能力を費やす人には十分な報酬が支払われるべきです。必要性、動機、経済状況はRCコミュニティによって大きく異なります。クラスの受講料は国際コミュニティのコミュニティ活動基金（援助基金）の重要な資金源でもあります。

もっとも適切な料金を設定できる人はクラスの責任者です。私たちはRCをより広く多様なバックグラウンドの人々が参加できるものにしたいと願っています。受講料の設定方法は、この目標と人類すべてにRCを伝えたいという願望を反映するものです。支払うことが困難な人の受講料を減額することにより、抑圧の対象とされているグループからの参加が増え、それによってクラスやコミュニティの質が大きく向上します。

48) スライディング・スケールは、受講料に幅をもたせることによって、所得などに応じ、参加者が支払い金額を選ぶことのできる制度です。クラスのスライディング・スケールはクラスのティーチャーが設定します。ワークショップのスライディング・スケールは、ワークショップのオーガナイザーが、ワークショップが開かれる地域の広域エリア照会者と協議した上で設定します。



H.2. クラス、サポート・グループ、プレイデイ⁴⁹、エリアのギャザーイン⁵⁰

援助基金とコミュニティ活動基金への納付:

RCクラスのティーチャーは、経費を差し引く前の総収入の25%を再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社(RCCR)⁵²のエリア援助基金⁵¹とコミュニティ活動基金に納めてください。そこで、ティーチャーはこれを基本経費に含めて計算し、受講料を設定してください。総収入の25%とは、会場費や交通費などの経費を差し引く前の額に対する割合です。これは「再評価カウンセリング」「RC」「UER(人種差別を止める会)」^Vといった、RCCRが所有する商標の使用料にあたるもので、これらの使用は著作権によって守られています。

納付金の配分:

この額(経費を差し引く前の総収入の25%)の70%はエリア援助基金に納められ、エリア照会者(ARP)(発展中コミュニティでは指定された会計責任者)が申請(「Application for Area Outreach Funds」[エリア援助基金使用申請書]^{VI})すると、援助金として使用することができます。納付金(経費を差し引く前の総収入の25%)の残りの30%はRCCRのコミュニティ活動基金に配分され、RCコミュニティの通信、電話、記録管理、印刷、コンピューター処理、会議の開催、あるいは国際的な援助基金に割り当てられます。

基金への送金:

エリア援助基金への支払いの小切手は、受取人を「Re-evaluation Counseling Community Resources」として、「RCCR, 719 Second Avenue North, Seattle, Washington 98109, USA」宛に速やかに送ってください(アメリカ合衆国以外のコミュニティについてはガイドラインH6を参照)。「RC Area Outreach Funds Contribution(エリア援助基金への納付)」用紙に納める金額をすべて記入してください。ARP(発展中コミュニティでは指定された会計責任者)は自分のエリアのティーチャーにこの用紙を配り、正確な援助基金口座番号を伝えてください。(この用紙はRCのウェブサイトにも掲載されています)

サポート・グループ、プレイデイ、ギャザーイン:

ガイドラインでは、サポート・グループ(広域エリアや各エリアでの)とプレイデイ(広域エリア

49) 「プレイデイ」または「ファミリー・クラス」とは、熟練したおとなと親が協力し合って若い人と遊ぶ集まりです。遊び方は若い人が自分のやりたいように決めることができ、全体のリーダーシップは熟練したファミリー・ワーカーがとります。プレイデイでは、おとなのためにミニ・セッションやサポート・グループをおこないます。自己紹介、理論の説明、スペシャルタイムの時間、クロージングをおこなう場合もあります。遊ぶことによって多くの場合、若い人はディスチャージする機会を得ます。そのときはおとながそのセッションをサポートします。財政にかんしては、プレイデイやファミリー・クラスが4時間以内の集まりであれば会計のためにはクラスとして扱い、4時間を超える場合はワークショップとして扱います。

50) この項目は必ず実行してください。

51) エリア援助基金は、再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社によって管理されています。この基金はたくさんエリアや発展中のコミュニティの口座から成り立っています。この基金はクラス、ワークショップなど様々な催しで集められた基金と、寄付から構成されます(税金控除にはなりません)。エリア援助基金からの支出はエリア照会者(発展中のコミュニティでは任命された会計責任者)の承認を必要とします。この基金はワークショップの参加費や交通費の支払いを援助するために使われます。国境を越えて送金することが難しい場合は、(国際照会者の了承を得て)地域でエリア援助基金を保管することもあります。

52) 再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社(RCCR)は再評価カウンセリングの国際事務局の名称で、アメリカ合衆国、ワシントン州のシアトルに設置されています。

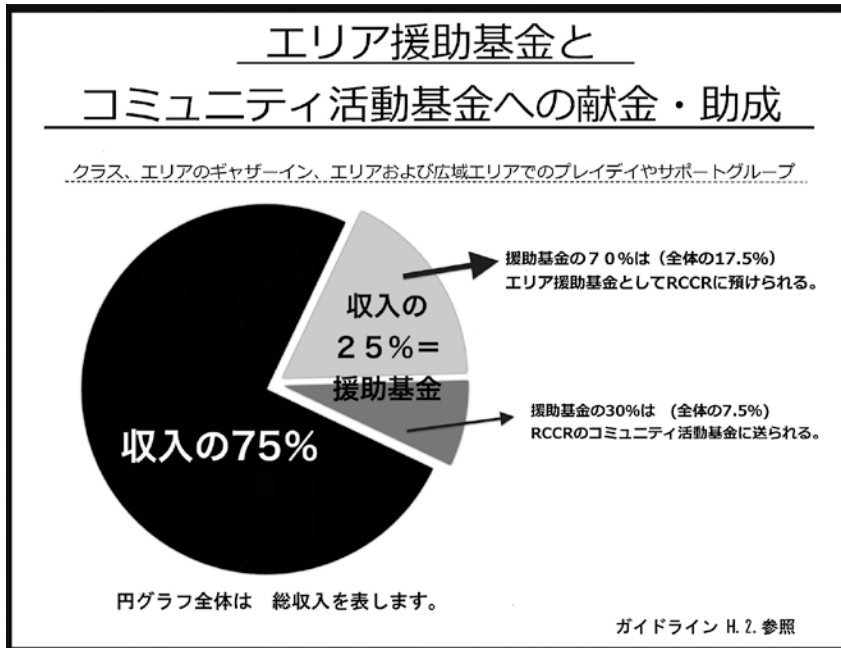
V) 77頁注参照。

VI) 77頁注参照。

や各エリアでの半日以下の) もエリアのギャザーインもクラスと同等に扱います。そこで集められた額も、クラスで集められた額と同様、ガイドラインに明記された方法で配分してください。広域エリアでのクラスやサポート・グループやプレイデイで集められた金銭については、納付する人がそれをどのエリアが受けとるかを指定してください。

理由

この方法を用いれば、コミュニティに不可欠な援助基金を再刺激の少ないやり方で効率的に集めることができます。



※アメリカ以外の地域では、国際紹介者が承認すれば例外が認められる
(ガイドラインH. 7. 参照)

H. 3. クラスやエリアのワークショップと一日プレイデイ⁵³

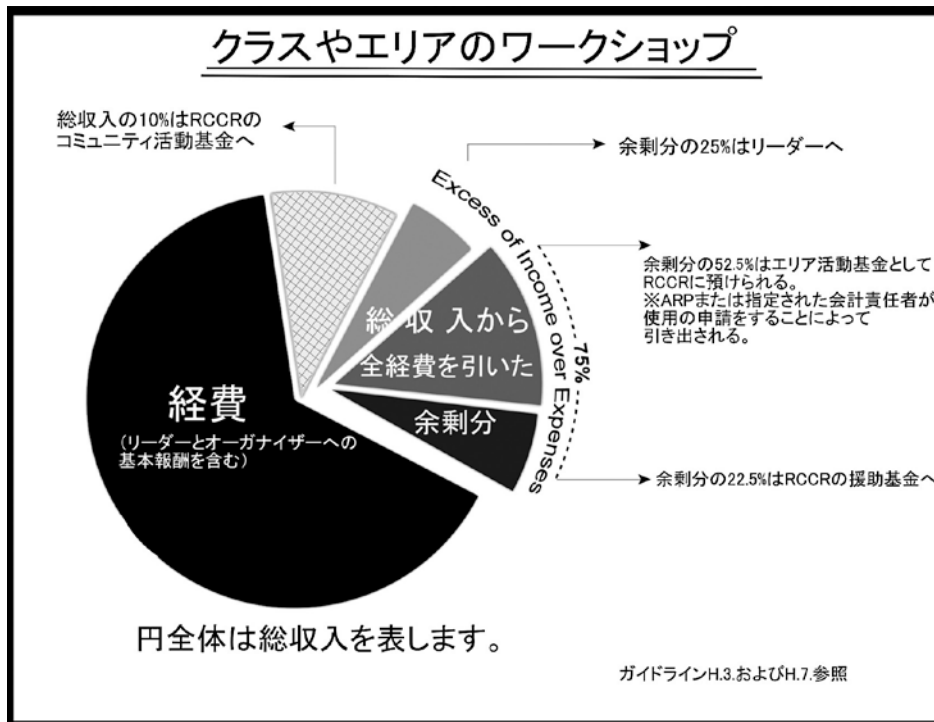
クラスやエリアのワークショップ、および一日プレイデイでは、経費を差し引く前の総収入の10%をRCCRのコミュニティ活動基金に納めてください。オーガナイザーはこれを基本経費に含めて計算し、ワークショップの参加費を設定してください。これは「再評価カウンセリング」「RC」「UER (人種差別を止める会)」といった、RCCRが所有する商標の使用料にあたるもので、これらの使用は著作権によって守られています。

全経費を差し引いたあとに残る収入(純利益)のうち、75%はRCCRのエリア援助基金とコミュニティ活動基金に、25%はワークショップのリーダーに配分してください。これらの基金への支払いはクラスからの支払いと同じように扱われます(ガイドラインH 2 参照)。この支払い分は「Workshop Finances Report-Area or Class Local Workshop (ワークショップ会計報告書—エリアまたは地域のワークショップ用)」の用紙(付録の88と89頁にワークショップ会計報告書の実例があるので参照のこと)に記入のうえ、速やかに送ってください。送り先は「RCCR, 719 Second Avenue North, Seattle, Washington 98109, USA」です。

53) この項目は必ず実行してください。

理由

この方法を用いれば、コミュニティに不可欠な援助基金を再刺激の少ないやり方で効率的に集めることができます。こうすることで、大きなワークショップのリーダーにも報いることができ、また援助基金を支えることにもなります。



※アメリカ以外の地域では、国際紹介者が承認すれば例外が認められる (ガイドラインH.6.参照)

H.4. 広域エリアおよび国際レベルでのワークショップやギャザーイン⁵⁴

コミュニティ活動基金への納付:

広域エリアおよび国際レベルでのワークショップやギャザーインでは、ワークショップ (またはギャザーイン) の総収入の10%をRCCRのコミュニティ活動基金に納めてください。オーガナイザーはこれを基本経費に含めて計算し、ワークショップ (またはギャザーイン) の参加費を設定してください。この額は「再評価カウンセリング」「RC」「UER (人種差別を止める会)」といった、RCCRが所有する商標の使用料にあたるもので、これらの使用は著作権によって守られています。

54) この項目は必ず実行してください。

純収益の配分:

全経費を差し引いたあとに残る収入（純収益）のうち、33.33%（1/3）をRCCRのコミュニティ活動基金に、33.33%（1/3）をラショナル・アイランド出版基金⁵⁵に、25%（1/4）をリーダーに、8.34%（1/12）をオーガナイザーに配分してください。支払いの小切手は、受取人をそれぞれ「Re-evaluation Counseling Community Resources」および「Rational Island Publishers」とし、「Workshop Finances Report -Regional or International Workshops（ワークショップ会計報告書——広域エリアまたは国際レベルのワークショップ用）」の用紙（付録の 頁にワークショップ会計報告書の実例があるので参照のこと）に記入のうえ、速やかに送ってください。送り先は「RCCR, 719 Second Avenue North, Seattle, Washington 98109, USA」です。

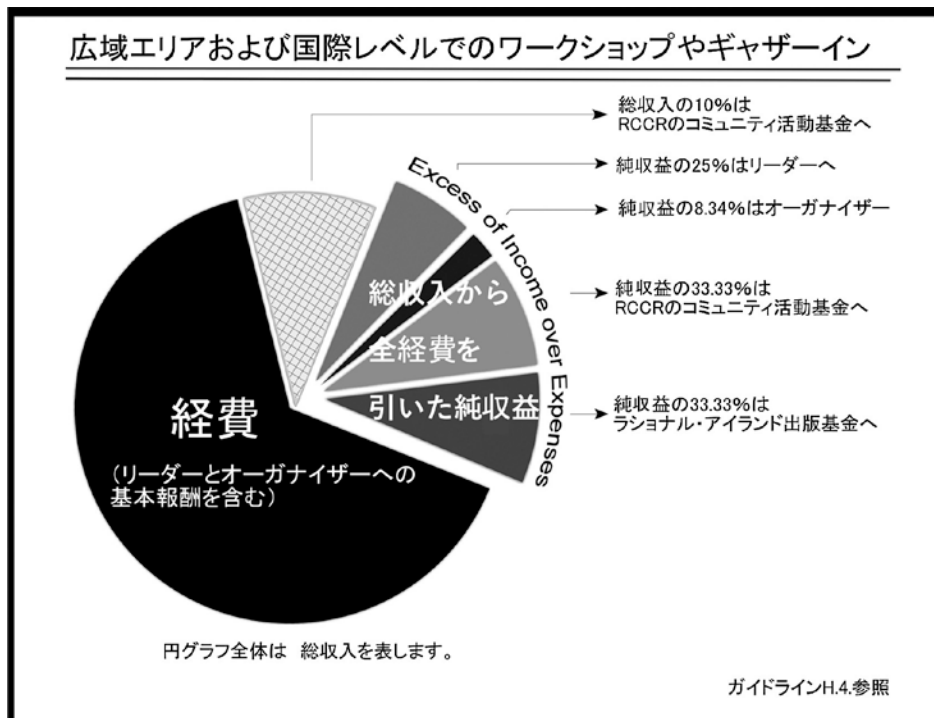
基金の目的:

これらの基金はRCCRによって、RCコミュニティの通信、電話、記録管理、印刷、コンピューター処理、会議の開催、あるいは国際的な援助基金に割り当てられます。

理由

この方法を用いると、コミュニティに必要な援助基金を再刺激の少ないやり方で効率的に集めることができます。こうすることで、より大きなワークショップを率いるリーダーやオーガナイザーに報いることができ、また援助基金と出版基金を支えることにもなります。

55) ラショナル・アイランド出版基金は、ラショナル・アイランド出版社が再評価カウンセリング・コミュニティのあらゆる出版物を制作するための資金となります。



H.5. RCコミュニティの外でおこなわれるRCのクラス、プログラム、ワークショップ

ワークショップでは経費を差し引く前の総収入の10%をRC CRのコミュニティ活動基金に納める必要がありますが、RCコミュニティのメンバーによってRCコミュニティの外でおこなわれ、その基本内容がRCであるようなクラス、プログラム、ワークショップにおいても同じ条件が適用されます。(ガイドラインH3、H4参照。再評価カウンセリング・コミュニティの外での活動についての承認にかんしては、ガイドラインI1参照。)

理由

「再評価カウンセリング」「RC」「UER (人種差別を止める会)」といった用語の使用料は、RCコミュニティの内外で課せられるべきです。

H.6. アメリカ合衆国外のコミュニティ：資金援助

アメリカ合衆国外のコミュニティも、ガイドラインに述べられているように、コミュニティ活動基金とラショナル・アイランド出版基金に対して納付をおこなってください。アメリカ合衆国外のコミュニティでは、エリア援助基金をRC CRに委託するか、国際照会者 (IRP) が了承すれば、自分のエリアや地域で管理することもできます。ただしその場合、基金の使い道をコミュニティ内で明確に説明し、毎年報告書をIRPに提出する必要があります。

理由

それぞれの国によって法律的な事情が異なります。臨機応変に対応することが必要です。

H.7. RCコミュニティの援助基金

援助の目的:

RCコミュニティの基金は、おもにRCがまだ広まっていない地域の人々の援助に積み立てられ使用されます。また、RCの活動に十分参加できない人々に、平等な機会を与えるために使うこともできます。援助基金はリーダーを育てるため、そしてRCを新しく始める人を援助するために使われます。また、このような援助がなければRCに参加することができない、被抑圧者や少数派の解放グループに属するコミュニティのメンバーが、RCの活動に持続的に参加できるよう使用することもできます。これらのグループが参加することは多様性に富んだコミュニティの構築を可能にし、広いもの見方を提供します。

エリア援助基金とクラスからの収益:

RC CRのエリア援助基金は、個々のエリアや地域でおこなわれたクラス、ギャザーイン、プレイディ、サポートグループから集められた金額 (ガイドラインH2参照) のうちの70%をそれぞれのエリアや地域の援助のために使用することに同意します。ただし、そのエリアや地域がアメリカ合衆国以外にあり、IRPの同意を得てエリア援助基金をその地域で管理している場合は例外です (ガイドラインH6参照)。

エリア援助基金とワークショップからの収益:

RC CRのエリア援助基金は、個々のエリアで開かれたエリアやクラスのワークショップで集めら

れた金額の余剰分（収入から全経費を差し引いた残り）（ガイドラインH3参照）の52.5%をそれぞれのエリアや地域の援助のために使用することに同意します。ただし、そのエリアや地域がアメリカ合衆国以外にあり、IRPの同意を得てエリア援助基金をその地域で管理している場合は例外です（ガイドラインH6参照）。（この52.5%は、収入から支出を差し引いた残りの75%のうちの70%に該当します）

コミュニティ活動基金とエリア・ワークショップからの収益：

エリアやクラスのワークショップで集められた金額の余剰分（収入から全経費を差し引いた残り）（ガイドラインH3参照）のうちの22.5%を、RCCRのコミュニティ活動基金に納めます。（この22.5%は、収入から支出を差し引いた残りの75%のうちの30%に該当します）

納税について：

RCCRは援助基金の収支申告を、法律上RCCRの経費と収入として扱うことが義務付けられています。そのため、毎年、支出を超過した分は収入として、アメリカ合衆国連邦所得税を支払っています。RCCRは、各エリア（または発展中のコミュニティ）の援助基金（コミュニティ活動基金に保管されている）から、所得税分を控除することが認められています。この所得税は、地域の各基金のその年の増加額に対して、アメリカ政府が課すものです。

理由

援助基金がなければRCをたくさんの人々に伝えることはできません。RCの整合性を保つために、条件づきのRC外の財源に頼るのではなく、自分たちで基金を積み立てることが重要です。（ガイドラインH12参照）

H.8. 国際援助基金が資金援助するワークショップ

時折、大部分をコミュニティ活動基金が助成するワークショップが開催されることがあります。この場合、オーガナイザーかリーダーのどちらかまたは両者が、ワークショップ助成について国際照会者の承認を求めます。（こうしたワークショップでは資金はほとんど参加者から集められることはありません。）経費の領収書はワークショップ後30日以内にRCCRに送られなければなりません。RCCRからオーガナイザーにワークショップ会計報告書用紙を配布しますので、必要事項を記入して、30日以内にRCCRに提出してください。

同様に、ワークショップの資金を主に再評価財団から提供してもらった場合も、経費の領収書はワークショップ後30日以内に再評価財団に提出しなければなりません。

領収書が提出されなければ、そのRCコミュニティには以後のワークショップに対する助成はおこなわれません。

理由

RCCRと再評価財団の内部会計処理のためと、これらの援助基金の整合性を確保するために、国際援助基金の支出をきちんと管理する必要があります。

H.9. 維持基金

維持（経費）基金はエリアごとに設定し運営することができます。これは援助基金とは別に、コミュニティの通常の必要経費にあてられます。

資金の財源として、次が考えられます。

- (1) コミュニティの活動に参加する人から徴収する維持料
- (2) RC資料の売り上げ収益
- (3) エリアの財政委員会や会計担当者が企画しておこなう資金集めのための活動

ワークショップの参加費や交通費は、コミュニティの公式の援助基金から拠出し、ワークショップの収入やエリア維持基金からは拠出ししないでください。

理由

きちんとオーガナイズすれば、エリアが繁栄するために必要な資金を集めることは可能です。(ガイドラインH13参照)

H.10. リーダーとオーガナイザーに対する報酬：経費

リーダー代：

ワークショップのリーダーに支払う基本料金は次の金額を超えないでください。国際照会者（IRP）および国際照会者代理（AIRP）は1日800米ドル。広域エリア照会者（RRP）および国際解放照会者（ILRP）または国際共通照会者（ICRP）は1日400米ドル。エリア照会者（ARP）は1日300米ドル。RCティーチャーは1日200米ドル。ファミリー・ワークショップのリーダーは、RCコミュニティにおける肩書きにかかわらず各人（2人以内）に対して1日400米ドル。元ILRPは、IRPの了承があれば、1日300米ドル。金曜の夕方から日曜の午後までのワークショップは2日として計算します。1日未満のギャザーインでは、リーダーの報酬は上記の金額の1/2を超えないようにしてください。リーダーの交通費はワークショップが負担します。

リーダー代は地元の経済状況を考慮して設定する：

リーダー代は地元の経済状況に合わせて、より低く設定することもできます。リーダー代は、世界の経済格差を考慮して、できるだけ地元コミュニティの経済状況に合わせて設定してください。資源の乏しい国に住んでリーダーシップをとっているリーダーは、その地域の経済状況に応じた報酬を考えてください。自分の住むコミュニティよりも資源が乏しいコミュニティでおこなわれるワークショップのリーダーは、不釣り合いな経費を発生させてワークショップを圧迫しないように、報酬を減らすことを考えてください。

オーガナイザー代

オーガナイザーに対する報酬は、ワークショップのリーダーひとりに対する報酬の25%以内に設定してください。オーガナイザーにはワークショップ参加費が免除されます。ワークショップはオーガナイザーの交通費は負担しません。

理由

リーダー代およびオーガナイザー代には、その労力を返済するのに見合った額が設定されています。リーダーに対する支払いはその地域の状況を考慮に入れて設定される必要があります。この報酬は給与として支払われるのではなく、リーダーが費やした時間、労力、ワークショップのリーダーシップをとるに必要な技術、コミュニティに対してリーダーが有する責任、そしてワークショップのために仕事を休んだことによる収入減などを考慮した上で支払われるものです。

経済状況は、世界の私たちのコミュニティが存在する地域ごとに大きく異なります。私たちは多様な人々がワークショップに参加できるようにしたいと考えています。リーダーは自分がリーダーシッ

プをとる地域の経済状況に合わせて、適切で可能な額にするように考慮してください。

H .11. スライディング・スケール

クラスやワークショップの参加費をスライディング・スケールで設定することができます（これは義務ではありません）。参加費の範囲は、すべての支出を賄うことのできる損益分岐額（基本参加費）⁵⁶の80%以上からその5倍以上の額としてください。（たとえば、全支出を賄うために必要な参加費が1人当たり100ドルであれば、参加費の下限は80ドルを下回らず、上限は最低500ドルとなります。）スライディング・スケールを用いる場合、ワークショップの案内にスライディング・スケールの参加費とともに、基本参加費を表示してください。援助基金を使ってワークショップに参加する場合、参加費は基本参加費の金額にしてください。

各ワークショップのスライディング・スケールは、十分に考慮して設定してください。予想される参加者の人数にもとづいて、ワークショップに必要な支出をすべて賄え、ガイドラインのH 3 とH 4 に示す援助基金と出版基金への支払いも考慮されている必要があります。ワークショップにおけるスライディング・スケールは、ワークショップが開かれる広域エリアのRRPが承認してください。意図する効果を得るためには、金銭、自分の価値感、経済的不平等についての日頃のディスチャージとスライディング・スケールを併用する必要があります。

全支出を賄うための金額の80%から基本参加費の5倍以上という参加費の範囲は、IRPの了承があれば変更することも可能です。

理由

スライディング・スケールを使うことによって、オーガナイザーはより柔軟に料金設定ができ、より多くの方がワークショップに参加できるようになります。援助基金はこれまで通りワークショップの参加費や交通費にあてることができます。

H .12. 再評価財団の援助活動を支える

財団についてよく知る：

照会者は再評価財団について十分に理解し、援助対象となる適任者を識別する手伝いをしてください。財団の免税対策や役割は、財団のウェブサイト (<http://www.rc.org/foundation/>) に示されています。援助金の申請書の送り先は Re-evaluation Foundation, P.O. Box 9292, Queen Anne Station, Seattle, Washington 98109, USA. です。

RC erの役割：

各コウ・カウンセラーはRCコミュニティ外部の人々や組織に働きかけ、財団への出資を働きかけるよう促されるものです。

資金集め：

RCの資金集めは、おもにすでに知り合っている人同士の対一の関係においておこなわれます。寄付金を期待できそうな人からは、まずRCの基本的理念を伝えてから資金援助してもらってください。コウ・カウンセラーがRCコミュニティのプロジェクトに対し寄付を求められることはありません。

56) 基本参加費とは、ワークショップで1人当たりにかかる予想金額です。この額は、予想されるワークショップの全支出（コミュニティ活動基金に払う総収入の10%を含む）を予想参加者数で割ることで算出されます。

ん。地域での資金集めの活動は、RRPと協議し協力し合って計画をたててください。

財団への寄付：

コウ・カウンセラーやRCに関心のある人々の再評価財団への寄付は、自発的におこなうようにしてください。資金援助の受益人については、財団がILRP、ICRP、RRPから再評価財団の教育的目的に該当する人の推薦を受けることができます。

理由

照会者は受益人を識別するのに最適な立場にいます。照会者は地域や国際コミュニティの資源やニーズについてもっともよく知っており、財団が資金援助を適用すべき人を決めたりプロジェクトを選定したりするさいの手助けをすることができます。

コウ・カウンセラーからのRCコミュニティへの寄付は歓迎されます。寄付は直接コミュニティに対しておこなっても、再評価財団を通しておこなってもかまいません。しかし、RCにまだかかわっていない人を対象にした資金集めに集中することが重要です。

私たちは一対一でRCを伝えることによって、RCとは何であり、なぜRCの活動に金銭的援助が必要かについて正確な情報を与えることができます。私たちは相手を思いやり、RCの正確な情報を伝えながら、こうしたかわりを持つ必要があります。それ以外のやり方で資金は集められるべきではありません。資金を提供してくれる人はRCコミュニティのメンバーになる可能性がある人と考えてください。

コウ・カウンセラーに寄付を求めることは、RCコミュニティ内の安全性を乱す恐れがあります。ニーズや金銭に対するディスチャージされていないパターンのために、コウ・カウンセラー同志の安全性や信頼感が損なわれるような事態は避けるべきです。また、RCコミュニティの中での相互依存を助長したくもありません。コウ・カウンセラーはディスチャージとコミュニティの方針を、自らの人生や世界を築く資源として使っていく必要があります。

すべてのコウ・カウンセラーはRCコミュニティの資金集めを手助けするようにしてください。これは再生のための活動です。効果的に資金集めをするには、しなやかな知性、つまり決断、ディスチャージ、思考、行動が要求されます。それは力を取り戻すことにつながります。

H.13. 抑圧の対象とされているあらゆるグループに対する資金援助

各エリアは、地域のあらゆる少数派グループや抑圧の対象とされているグループにRCを伝えてください。そのために、ARP（発展中コミュニティでは指定された会計責任者）は、ワークショップの参加費や交通費の金銭的援助に、エリアの援助基金をあてることができます（ガイドラインH7参照）。援助基金はリーダーを育てるため、そしてRCを新しく始める人を手助けするために使われます。また、援助がなければRCに参加することができない被抑圧者や少数派の解放グループに属するコミュニティのメンバーが、RCの活動に持続的に参加するために使用することができます。これらのグループが参加することは多様性に富んだコミュニティ構築を可能にし、広いものの見方を提供します。

ワークショップの参加費や交通費に援助金を適用する場合は、コミュニティの公式の援助基金（エリア援助基金、コミュニティ活動基金、国際援助基金）から拠出し、ワークショップからの収入やエリア維持基金からは拠出しないでください。（ガイドラインH9参照）

援助基金がコミュニティに必要な額に達していない場合は、援助金を必要とし、受給資格のある人たちのあいだで、分かち合うように努力してください。そのさい、層が広く多様なコミュニティをつくりあげることを最優先にしてください。

理由

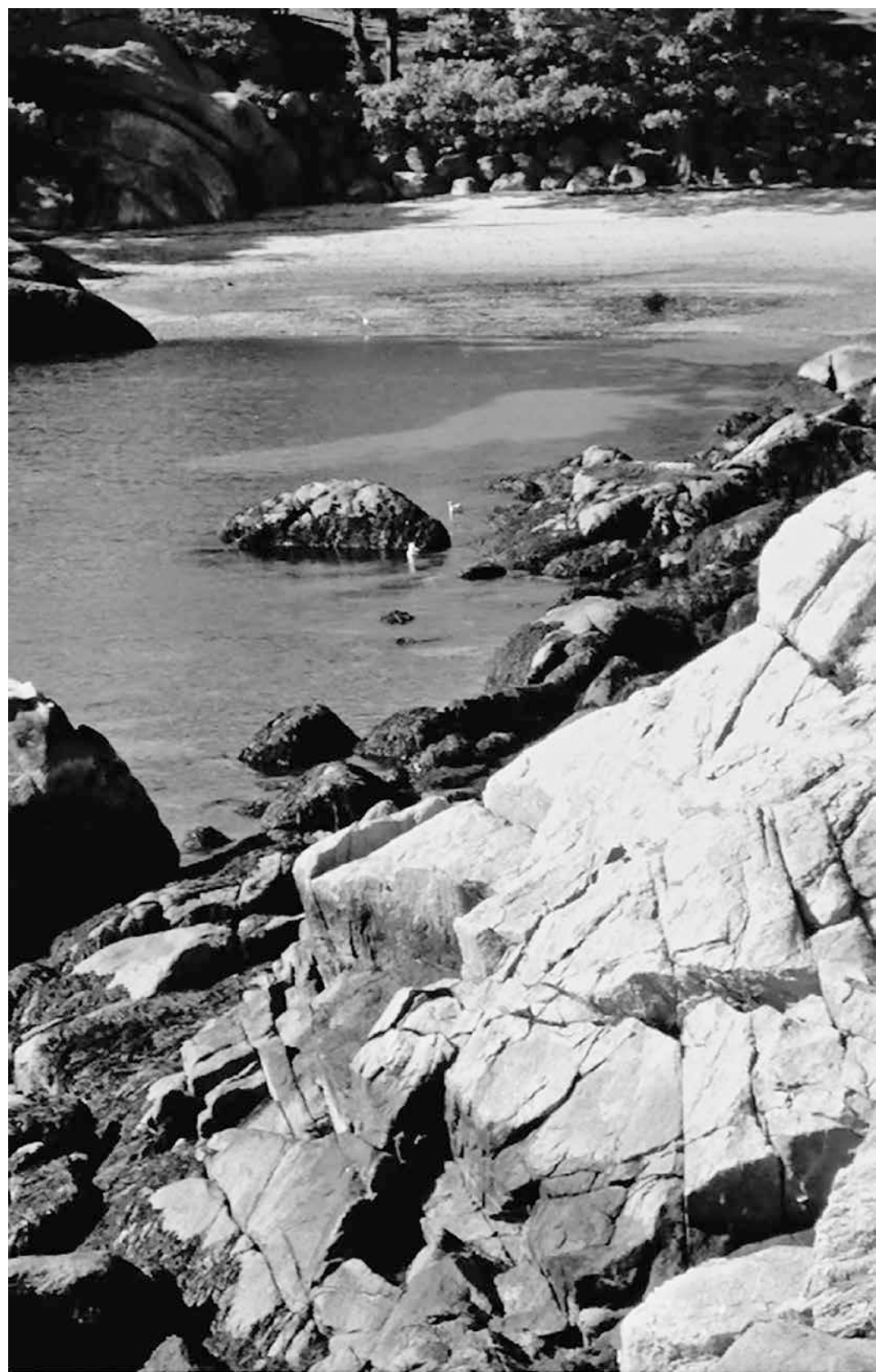
私たちはあらゆる人々にRCを伝えることを決断しています。(ガイドラインA3、C1、H1参照)

援助基金はワークショップへの参加を金銭的に助ける良い方法です。援助基金があることによって、ワークショップの収入やエリア維持基金が、誤って使われたり枯渇したりすることが防がれてきました。

援助基金は、ワークショップで仕事をする 것과交換に与えられるものではありません。ものごとがうまく進むように手助けすることは人間の持つ自然なすばらしい特質である、というのが私たちの基本的理念です。利欲やモチベーションを高めるために基金を交付することは理性的な態度とはいえません。

援助基金は個人を助けると同時に、コミュニティの発展をも意図しています。援助基金は援助に必要なとされる額に足りていないため、この基金はよく考えて計画的に使用しなければなりません。





Ⅰ.再評価カウンセリングを再評価カウンセリング・コミュニティの外に伝える

Ⅰ.1.再評価カウンセリング・コミュニティの外での活動

広域エリア照会者（RRP）は国際照会者（IRP）と協議の上で、RCコミュニティの外で再評価カウンセリング（RC）を紹介する活動や、「再評価カウンセリング」あるいは「RC」という名称を使用することについての許可を与えます。

RCについて書いた文章をRCコミュニティの外で配布する場合は、その企画についてRRPと話し合っておいてください。ここでいう配布とは、ウェブサイト、ブログ、メーリングリスト、オンライン・コミュニティなど、すべての電子メディアが含まれます。（ガイドラインN3参照）

ラショナル・アイランド出版社（RIP）から出版された記事をRCコミュニティ外で再版する場合は、RIPの許可が必要です。

理由

こうすることでRCを常に思慮深く紹介することができます。

Ⅰ.2.広報

人から人へ一対一で伝えるのがRCの広報の基本です。この方法はコミュニティやクラスに招きたいと思う選りすぐった人々にRCを伝えることを意図しています。

地域のメディアでRCを紹介する活動（たとえば、広報や地方誌でのお知らせや記事、地域のラジオ番組でのRCにかんするトークなど）については、エリア照会者（ARP）がRRPと協議した上で、許可してください。

メディアを通して地域を越えて広くRCを紹介するときには、出版されたりインタビューされたりする前に、IRPがその内容を承認しなければなりません。ここでいうメディアとは、ウェブサイト、ブログ、メーリングリスト、オンライン・コミュニティなど、すべての電子メディアが含まれます。（ガイドラインN3参照）

理由

再評価カウンセリングを正しく知るには実際に体験することがもっとも良い方法で、それに次ぐのがRCの文献や講演やRCのウェブサイト（www.rc.org）を通して知る方法です。一般的な広報のやり方では、実際にセッションを経験したことのない人に、RCの正確な像を伝えるのは難しくなります。

すべてのコウ・カウンセラーは、RCの理論を自ら展開し、それを自分のセッションや実生活に創造的に活用していく責任を自覚するよう促されています。また、理論は正しく伝えることが大切です。



J . 出版物の翻訳とワークショップの通訳

J .1. 出版物の翻訳

翻訳コーディネーターの指名：

特定言語を話すコウ・カウンセラーのグループから信頼できるリーダーが生まれたり、国際照会者（IRP）は協議の上で、その言語の翻訳コーディネーターを指名します。翻訳コーディネーターは、再評価カウンセリング（RC）の文献を自分たちの言語へ翻訳する作業を推し進め、その進行状況を監督します。

翻訳コーディネーターの仕事：

翻訳コーディネーターの仕事は次の通りです。

- (1) 翻訳されたものをチェックし、出版の許可を出す（最終的な承認はIRPがおこなう）
- (2) どの文献をどんな順番で翻訳し、出版するかについて指示を出す
- (3) 重要なRCの用語や語句についての訳語集づくりを監修する（定期的に改訂する）
- (4) すでに翻訳された文献と現在翻訳中の文献のリストをつくる
- (5) 多くの人に翻訳に参加するように働きかけ、優れた翻訳文献が出版されるようにする

すべてのコウ・カウンセラーにお願いすること：

2カ国語以上を理解するコウ・カウンセラーは翻訳者として翻訳を手伝ってください。すべてのコウ・カウンセラーは翻訳の手助けをしてください。たとえば、RCの翻訳をしている人に注目をあげたり、自分の母語以外の言語を学んだりしてください。

翻訳する優先順位：

IRPは、すべての言語において、優先的に翻訳すべき文献と、翻訳する順番が書かれたリストを用意します。

だれもが翻訳を読めるようにする：

翻訳された資料はできるだけ早くRCのウェブサイトに掲載します。（より詳しい情報は、RCウェブサイトの「Translations（翻訳）」の項に掲載されています。）

理由

翻訳によってRCにアクセスすることが容易になります。また、翻訳は言語の抑圧⁵⁷をコントラディクトします。私たちの目的は、世界中の人にRCの理論と実践についての情報を広めることです。著者と翻訳者に十分な敬意を払いながら正確な情報を広めることです。これをうまく迅速におこなうには、できるだけ多くのコウ・カウンセラーが翻訳作業に参加する必要があります。翻訳技能がないRCerも翻訳の仕事をサポートする大切な役割を担うことができます。RCの翻訳をRCのウェブサイトに載せれば、翻訳された情報が手に入れやすくなります。

57) ある人々が、自分の住む地域で大多数の人々が話す言語以外の言語を話し、その言語が多数派の人々が話す言語よりも重要ではない、もしくは劣っていると思われるとき、その人々は言語の抑圧を受けています。加えて、英語は世界の支配言語となっており、他の言語を母語とするすべての人々はそれによる言語の抑圧を受けています。

J .2. 翻訳された資料の出版

RCの本、冊子、記事、あらゆる言語のニュースレター、RCのウェブサイト <www.rc.org> に掲載されている文献についての翻訳を出版（配布のために印刷したり、RCのウェブサイトに載せたりすること）するためには、翻訳コーディネーターとIRP（IRPに委任されている場合は翻訳コーディネーターのみ）が承認する必要があります。

すでにラショナル・アイランド社（RIP）から出版されている冊子や本の場合、表紙のデザイン、レイアウト、寸法をなるべくオリジナルと同じになるようにして出版してください。すべての翻訳には著作権など出版にかんする情報を載せる必要があります。詳しくは、RCウェブサイトにも掲載されている「Guidelines for Translation of RC Literature（RC文献の翻訳のガイドライン）」を参照してください。

IRPの許可があれば、翻訳は現地で（RIPの代わりに）印刷し発行することもできます。

理由

RC文献が正しく翻訳され、出版に先立って著作権が保護されていることが重要です。また、出版物のデザインが共通であれば、識別しやすくなります。現地で印刷すれば、印刷や輸送の費用を節約することができます。

J .3. ワークショップの通訳

ワークショップではしばしば通訳⁵⁸が必要になります。通訳として参加したいと思うコウ・カウンセラーは、コミュニティのリーダーおよびワークショップのオーガナイザーと協力し合って通訳の仕事をしてください。RCのワークショップでは通訳への報酬は支払われません。（手話通訳についてはガイドラインC 1、F 1を参照。RCウェブサイトの「Guidelines for Interpreting at RC Workshops [RCワークショップでの通訳のガイドライン]」も参照。）

理由

通訳は言語の解放にたいへん重要です。通訳は言語の抑圧に取り組み、コントラディクトするための重要なツールです。言語の抑圧は、抑圧される側にも抑圧する側にも影響を及ぼします。また、あらゆる人々が参加でき、完全に理解するためにも必要です。（ガイドラインF 1を参照）。

RCは世界中で多くの人に求められています。需要を満たすためのクラスやワークショップ、またそこで必要な通訳も十分ではありません。通訳の仕事に報酬を払えるほど十分な資金もありません。通訳をおこなう人は、それがコミュニティの成長と発展のためだけでなく、自分自身の再生のためでもあると考えてください。

58) RCでは通訳は、話し言葉の翻訳をさします。

K . 出版物

K .1. 出版物

RCのあらゆる定期出版物について、編集者、編集アシスタント、編集委員を育て、できるだけ早くRCの理論や方針を理解して、編集技術を身につけてもらう必要があります。エリア照会者（ARP）は、エリアにおける出版物とその理論的正確さについて、全体責任を担っています。国際照会者（IRP）は、国際および広域エリアレベルのあらゆる出版物に対して全体責任を担っています。不定期に発行される広域エリアの出版物や様々な言語の出版物（ニュースレターなど）にかんする責任については、IRPは広域エリア照会者（RRP）、または一時的に任命された広域エリアの編集者に委託することができます。

理由

編集者の必要性がますます増えています。すべての出版物の内容はRCの理論や方針と合致している必要があります。

K .2. 出版や複製についての必要事項⁵⁹

再評価カウンセリング（RC）の出版物（デジタル出版物を含む）、音声や画像の記録などの資料（部分的に挿入されているアートワークや写真も含む）を著作権所持者であるラショナル・アイランド出版社（RIP）の許可なく複製またはコピーしたり、電子的に配布したりすることは禁じられています。

記事のコピーまたは配信がRIPに許可された場合は、その記事のコピー1枚につき最低10セント（0.1米ドル）の使用料をRIPに支払ってください。記事のコピーや配信許可は、郵便の場合はRIP, 719 Second Avenue North, Seattle, Washington 98111, USA へ、Eメールの場合は、<ircc@rc.org.> へ申請してください。許可がおりた場合は、使用料をRIPの上記宛先に納めてください。

理由

著者とその出版物を尊重するためにも、また責任ある行動をとり、コミュニティを保護するためにも、許可なく複製することは間違っています。RIPの出版物をコピーしたり配信したりすると、出版物の売り上げが減少することになります。複製に条件を課すことによって、RCerはRCの文献を購入するようになり、今後もRCの出版物を促進します。著作権使用料をとることによって、出版物の売り上げ減少による収益減を妨げることができます。

K .3. ワークショップでの筆記、音声、映像による記録

筆記、音声、映像によるワークショップの記録（RIPが制作し発行したもの以外）は、ワークショップの参加者以外に配布しないでください。配布する場合はそのワークショップのリーダーの許可が必要です。

理由

ワークショップでリーダーが話した内容は、文書にされたものほど十分に練られていません。十分なチェックがされていない講演記録は正確さに欠けます。また講演の口述筆記や録音は、ときには二

59) この項目は必ず実行してください。

K . 出版物

ユアンスが誤って伝えられる場合があります、誤解のもとになります。

K .4. 出版による印税⁶⁰

地域で（R I P以外で）印刷されたR C 出版物の売上げの10%を印税としてR I Pに支払ってください。この印税は毎年1月にR I Pに送金してください。

理由

印刷費や輸送費が高騰し、デジタル・データから印刷することが容易になっているため、R Cの文献を現地で印刷するほうが安くあがる場合があります。R C文献すべての売上から印税を払うことによって、今後の文献の制作や出版を支援することができます。

K .5. 特定の人について書く場合は匿名性を保つ⁶¹

他の人の傷のパターンや悩みごとについて、R Cの出版物やメーリングリスト（ガイドラインL 5参照）に書くときは、本人の同意がないかぎり、その人が特定できる書き方（たとえば、私の子ども、パートナー、親といった表現やその人が特定されてしまうような描写）をしないでください。書かれた人が特定されないように、必要であれば匿名（またはペンネーム）を使って書くようにしてください。

理由

たとえ個人名が書かれていなくても、他の情報からその人が特定されてしまう可能性があります。自分の傷や悩みごとを公的な場に書かれることを望むか望まないかは、本人（子どもも含め）が決めるべきことです。R Cの書き手が他の人のアイデンティティを明らかにすることを決めた場合は、そのことについて経験のあるR C erに相談してください。

60) この項目は必ず実行してください。

61) R Cメーリングリストに匿名で投稿したい場合には、まずそのメーリングリストの責任者に投稿のメールを送ってください。その責任者はメーリングリストの管理者（アラン・ハンセン <hansen@rc.org>）に投稿を転送し、管理者に匿名で投稿してもらいます。こうすれば匿名性は保たれます。ペンネームで投稿しても良いでしょう。ペンネームを使えば、1つの投稿スレッドの中に複数の匿名投稿者がいる場合、どの人がどの投稿を以前にしたかということが特定できるからです。



L . インターネットと電子媒体によるコミュニケーション

L .1. インターネットの安全性

コウ・カウンセラーの住所、電話番号、身分が明らかにされてしまう個人情報（ワークショップの名簿、データベース、集計表も含む）が載った文書をインターネット経由で送る場合は、必ず暗号化し、パスワードを別のメールで送るか、違う方法で送るようにしてください。メールを大勢のコウ・カウンセラーに一度に送る場合、受信者のあいだで話し合う必要のない内容であれば、そのメールは受信者のアドレスをブラインド・カーボン・コピー（BCC）の欄に記入して送ってください。

こうした情報をRCのウェブサイト以外のインターネット・サイトで作成やオーガナイズしないでください。

理由

インターネットを使えば、効率的にコミュニケーションをとり、オーガナイズすることができます。しかし、インターネットを使う人の個人情報が侵害される危険性はしだいに増えています。インターネット・サービスは個人情報を集め悪用します。インターネットの安全性はテクノロジーだけでなく、その情報がどこで管理され、だれによってアクセスされるかによって決まります。RCのウェブサイトはできるかぎり安全であるようにつくられています。このサイトはオーガナイズに利用するにはとても便利なツールになります。RCのウェブサイトは完璧に安全なウェブサイトはありませんが、無料のサイトや有料のサイトより遥かに安全です。（ガイドラインN3参照）

L .2. RCのウェブサイト

RCの公式ウェブサイトは国際RCコミュニティをサポートするために、次のことをおこなっています。

- (1) RCの理論と実践についての情報提供
- (2) クラスやワークショップのための申請用紙や資源の配布
- (3) RCの資料など、ラショナル・アイランド出版社の発行物の販売
- (4) RCの理論と実践に触れる機会がなかなか得られない人々への情報や説明の提供
- (5) 翻訳された資料に簡単にアクセス（ガイドラインJ1参照）

RCのウェブサイトにRC以外のウェブサイトへのリンクを載せないでください。また、RC以外のウェブサイトにもRCのウェブサイトへのリンクを載せないでください。ただし、地域のRCウェブサイトは例外です。（ガイドラインL3参照）

理由

インターネットは世界中のたぐいさんの人々がアクセスできる重要なコミュニケーション・メディアとなりました。インターネットは比較的低コストで資料を発表できるため、RCの理論と実践を伝えるのにたいへん役に立ちます。

より多くのRCリーダーがコンピューターやインターネットを使えるようになれば、RCの公式ウェブサイトは、国際RCコミュニティの日々の活動に、たいへん役立つこととなります。

RCをRC以外のグループや活動と関係づけたり混同したりしないことが重要です。それは次の理由からです。

- (1) 論理的一貫性を持ったユニークな思考と実践体系であるRCを、そのままのかたちで理解する機会を人々に与える

L .インターネットと電子媒体によるコミュニケーション

- (2) 外部グループとの関係により、RCのワンポイント・プログラム（ガイドラインA3参照）が損なわれないようにする

L .3. 地域のRCウェブサイトをつくる

国際照会者（IRP）の許可のもと、エリアや広域エリアのウェブサイトをつくることができます。地域のウェブサイトの目的は、その地域のコミュニティのメンバーにRCの活動を伝えることです。

エリアレベルのウェブサイトの全責任はエリア照会者（ARP）が、広域エリアレベルのウェブサイトの全責任は広域エリア照会者（RRP）が担います。

地域のウェブサイトの記事発表の場として使わないでください。

本人の書面による承諾がないかぎり、地域のRCウェブサイトには、コウ・カウンセラーの名前や写真などの個人情報は載せないでください。

地域のウェブサイトは、コミュニティがこれまでおこなってきた、メンバーに対するEメールやチラシによる定期的な情報伝達を肩代わりするものではありません。

理由

連絡先やスケジュールが掲載された地域のウェブサイトはコミュニティのメンバーに役立つでしょう。

ただし、ウェブサイトから情報を得るには、そのサイトに定期的にアクセスする必要があります。速く流したい情報や特定の人たちに向けた情報は、Eメールや電話や郵送による伝達のほうが、期限内により着実に対象者に届きます。

L .4. ウェブサイトへのアクセス

RCの公式ウェブサイトにはすべての人がアクセスできるようにしてください。

地域のRCウェブサイトへは、サイトを利用するコミュニティのメンバーだけにパスワードを発行してアクセス管理してください。

地域のRCウェブサイトには、公式RCウェブサイト〈www.rc.org〉へのリンクを載せることができます。

理由

地域のRCウェブサイトには、RCやRC erのEメールアドレスなどの連絡先を掲載しないでください。地域のRCウェブサイトは公開検索エンジンやポータルサイトに掲載しないでください。RC erが公式RCウェブサイトにある資源を利用できるように、地域のRCウェブサイトには公式RCウェブサイトへのリンク載せることができます。

L .5. 電子メーリングリスト

メンバー：

RCコミュニティでは、活動しているコミュニティのメンバーを対象に、いくつかの電子メーリングリストを運営しています。そうしたメーリングリストのほとんどは、特定の課題別グループに属し活動しているリーダーのみが参加できます。メーリングリストに参加したい人は、それに該当するグループの照会者の許可を必要とします。メーリングリストへの投稿は、そのリストのテーマに沿ったものだけにかぎってください。

目的：

RC電子メーリングリストの目的は、次について明確で独創的な考えを交換し合うことです。

- (1) RCでおこなっている取り組み
- (2) RCの理論や実践を応用して、RCの外でおこなった活動
- (3) 世界の現状

投稿された文章の引用：

メーリングリストへの投稿は、そのリストのメンバーのみ当てに書かれています。ただし次の場合にかぎって、投稿の内容をリストのメンバーでない人と共有できます。

- (1) 著者から承諾を得る
- (2) 内容から人物が特定されてしまう場合、その人から承諾を得る。もしくは、その人物が特定されないように内容を修正する
- (3) 再評価カウンセリングの理論としてではなく、個人の考えとして表示する
- (4) 投稿のコピーをRCのクラスで配布する場合、次の文章を各ページに加えること。「この文章はRCメーリングリストに掲載されたもので、校訂前であり、理論的な正確さについては確認されていません。出版の許可もおりていません。」

RCの出版物と異なり、リストに投稿されたものは校訂されておらず、理論的な正確さについて確認もされていません。それらはRCの文献の代わりに使用されるべきではありません。

理由

これらのメーリングリストは私たちの活動を助けます。(電子メーリングリストの使い方にかんする情報やガイドラインがRCのウェブサイトに掲載されています。〈<http://www.rc.org>〉)

Eメールによるディスカッションリストは、解放のリーダーたちが解放の取り組みにかんする考えや体験を交換する場です。リーダーは特定の人たちに向けて書いています。その内容を他のリストに転載したり出版したりする場合は、慎重に考え、同意を得た上でおこなう必要があります。リストに投稿するということは考えることを促すことです。リストに参加していない人とコミュニケーションをとるためではありません。





M. ガイドラインの使用

M.1. ガイドラインの使用と変更

概観:

ガイドラインは再評価カウンセリング（RC）コミュニティのメンバー全員の同意事項を集めたものです。コミュニティのメンバーはガイドラインに沿って行動することが求められます。ガイドラインはワンポイント・プログラムを実現させ（ガイドラインA 3参照）、RCコミュニティの活動についての指針を示すものです。RCのあらゆる活動はガイドラインに沿っておこなわれます（序文を参照）。ガイドラインのいくつかの条項は強制的に実行するものです⁶²。

ガイドラインの順守:

すべてのコウ・カウンセラーは、基礎クラス受講生やファミリーワークの若い人たちも含め、ガイドラインを順守することが求められます。コミュニティのメンバーはこのガイドラインに従うと同時に、ガイドラインの使用を支援することが求められます。RCのリーダーはガイドラインについてよく知り、その使用を支援してください。

あらゆるコウ・カウンセラーは、たとえその内容に異議があったとしても、ガイドラインに従うことが求められます。たとえ変更が必要にみえても、改訂されるまではこのガイドラインを順守してください。（以下の「見直しと変更」参照）

矛盾点:

ガイドラインを実際に使ってみて矛盾や食い違いが見つかった場合、コミュニティのメンバーは話し合いディスチャージをして、問題点を明確にし、様々な面から意志の疎通をはかってください。

見直しと変更:

ガイドラインはコミュニティのメンバーから出されたすべての提言を十分に検討した上で、毎回の世界会議で見直され、変更されます。（ガイドラインF 8参照）

次の世界会議の前に変更が必要な場合があるかもしれません。その場合は変更案を国際照会者（IRP）に伝えてください。IRPが次の世界会議までに変更案を適用することもあります。承認された変更案はコミュニティに伝えられます。

配布:

ガイドラインはコウ・カウンセリング・コミュニティ内にできるだけ広く配布します。コウ・カウンセラーには基礎クラスが終るまでに、RCの基本的な文献の一つとしてガイドラインを必ず伝えるようにしてください。

理由

ガイドラインは私たちの活動のために参照する、生きた最新の内容であるよう意図されています。私たちはこの数十年間、RCコミュニティの活動にRCの理論を適用し、RCを伝える方法やRCコミュニティをつくる方法を学んできました。その過程でガイドラインも進化してきました。ガイドラ

62) ガイドラインG 1、H 2、H 3、H 4、K 2、K 4、N、P 1は必ず実行してください。

インは私たちがコミュニティとして機能するための指針となるものです。

ガイドラインの目的は私たちの思考に必要な指針と出発点を提供することであり、RCの様々な状況における対処の仕方をこと細かに指図するものではありません。ガイドラインは私たちが現在直面している状況について考えるさいに、新鮮に思考するかわりに、単なる思いつきや旧式な解決法を用いるのではなく、これまでに蓄積してきた経験を活用することを求めています。ガイドラインは私たちが傷と激しく戦っている部分において、もっとも効果を発揮します。そうした傷に対する有益なコントラディクションを提供することがあります。ガイドラインの特定の項目になにかしらの感情を抱いたとしたら、私たちはその感情をセッションで取り組み、ディスチャージすることで、ガイドラインのその項目と私たちが直面している状況をもう一度考え直すことができます。私たちは理性的に考え協力し合うという共通の課題を持ち、そのためには共通のガイドラインが必要です。

いくつかのガイドラインはコミュニティが活動していくために不可欠であり、強制的に実行することが求められています（それらは脚注に示されています）。

現実には刻々と変化し、それに対する私たちの理解も変化しています。ガイドラインをつねに最新の内容にするためには、定期的に再検討し変更する必要があります。ただし、ガイドラインは起こりうるすべての状況に対応できるわけではありません。

M.2. 新しいコミュニティでのガイドラインの適用⁶³

新しいRCコミュニティは、必要があればそれぞれの文化状況に合わせて、ガイドラインを変更することができます。ただし変更されたガイドラインでは、次に関連するすべての項目が、現行ガイドラインに沿っているようにしてください。

- (1) 「再評価カウンセリング」「コウ・カウンセリング」「RC」「UER（人種差別を止める会）」^Vといった用語、およびその用語の訳語の使用
- (2) 基本理論
- (3) ティーチャーの認定（ガイドラインG 1、G 2参照）
- (4) 財政（ガイドラインH参照）

世界会議を待たずにガイドラインを変更する場合はIRPの同意が必要です。IRPは、該当する文化や国民に属するコウ・カウンセラーのグループの合意を得た上で、変更を決める権限があります。そうした変更は次の世界会議で承認されるまでの暫定的なものとなります。

理由

私たちは、あらゆる文化的背景のコミュニティにも対応する詳細なガイドラインをつくることはできません。

63) 特定の文化や地域に初めてできつつあるコミュニティに対して、RCコミュニティがその文化についての経験を十分有しない場合に適用します。

V) 77頁注を参照。

N.人間関係——「社交しない」方針⁶⁴

N.1. コウ・カウンセリングの関係

コウ・カウンセリングの関係は、人間が傷のレコードから完全に再生するための、ユニークな機会を設けるためのものであると私たちは考えます。

コウ・カウンセラー同士は再評価カウンセリング（RC）を始める前から知り合いであった場合を除いて、互いに社交してはならない、というのが基本的な方針です。コウ・カウンセラーの集まりは、ディスチャージ、再評価、カウンセリングの活動を第一の目的として催してください。飲食やレクリエーションなどそれ以外の活動は、この第一の目的を補足するのにとどめてください。

コウ・カウンセリングを学ぼうとする人には「社交しない」方針の意味について伝え、それについてディスチャージして考える手助けをしてください。基礎クラスのなかでこの方針について話し合ってください。コウ・カウンセリングのクラスのメンバーになるためには、「社交しない」方針の意味について自らの考えを発展させる一方、必ずこのルールに従うことが求められます。コウ・カウンセリングを学び、RCコミュニティのメンバーになることを希望する人には、「社交しない」方針を順守することがメンバーになる条件であることを伝えてください。

「社交しない」方針の順守にきちんと同意していないコウ・カウンセラーを、RCのリーダーやティーチャーに推薦することはできません。したがって、コウ・カウンセラーは「社交しない」方針を守れるようになるまで、RCを教えることもリーダーシップをとることもできません。この方針を何度も破るコウ・カウンセラーに対しては、広域エリア照会者（RRP）は地域のリーダーと協議の上で、その人がコウ・カウンセリングの集まりに引き続き参加してよいかどうかを決めてください。

理由

この項目はRCのワンポイント・プログラムを支援し保護するものです（ガイドラインA3参照）。これは私たちが互いのことを考え、愛し、思いやり、かわり合うことを制限するものではありません。コウ・カウンセラー同士が互いに愛し、思いやり、助け合うことはすばらしいことです。互いに愛し合うことはすべての人間が持つ本質であり、ほとんどの人は自然に自分のコウ・カウンセラーを愛するようになります。

私たちはすべての人たち（とくに若い人、女性、その他の抑圧の対象とされているグループ）が安心できる環境をつくり続けていきたいと考えています。また、傷がディスチャージされていないために、安心感や信頼感が損なわれ、コウ・カウンセリングの関係やRCコミュニティがうまくいかなることを避けたいと考えています。この方針を初めから明確に伝えれば、RCを学ぼうとする人において、RCというツールと情報を長期的に利用する可能性を最大にします。

私たちは間違った扱いを受け、それを我慢してきたため、コウ・カウンセリングを始める時点で多くの人は、一緒にいてほしい、愛してほしい、協力してほしい、信頼し合いたいといった大きな「フローズン・ニーズ（凍りついた願望）」を他の人に対して抱いています（「フローズン・ニーズ」とは、過去において実際に必要だったことが満たされなかったためにできた傷にもとづいて感じる「必要性」です。この傷が再刺激されると、その必要性が現実のように感じられます）。この「必要性」が満たされることはありません。ディスチャージする以外にありません。そこで、サポートしてくれるコウ・カウンセラーが、現在や過去に満たされなかった必要性のすべてに対する「答え」のように思ってしまうことがあります。それはコウ・カウンセラーが思慮深く相手を思いやることを学んできたからで

64) この章は必ず実行してください。

す。これが恋愛感情、性的感情、あるいは「一緒に時間を過ごしたい」という願望となって表れることがよくあります。また、ときにはその人が完璧なビジネス・パートナーや「理想の母親や父親」に見えたりもします。

またある状況では、コウ・カウンセラーがカウンセリングを用いて自ら問題を克服しようとするのではなく、焦りや義務感といったディスチャージされていない感情のために、パターン化された方法によって「解決」してあげなければならないとすることがあります。しかし、私たちがおこなうことは、各人が日々の妨げになっている傷を排除するためにカウンセリングし合うことのみです。コウ・カウンセリングの関係で求められることはそれだけです。

カウンセラーの役割に沿ったものであれば、よく考えた上で、付随的な役割を果たすこともできます。(たとえば、整理ができないという重度のパターンがあって、大混乱のなかで生活しているコウ・カウンセラーに対して、それに関連する傷についてカウンセリングするだけでなく、その人と一日一緒に過ごして整理し始められるようになるのを助けるという方法もあります。)このサポートの目的は、そのコウ・カウンセラーが傷から自由になるために取り組みやすい条件を一時的につくることです。代わりその人の問題に取り組んであげるものではありません。

孤独感、無力感、義務感、他人への恐怖などをディスチャージするには、長い時間かかります。そのため私たちは、コウ・カウンセラーと社交(助けてあげることも含めて)という、パターン化された「心地よい」行動に走りたいという感情に引きずられます。これはその感情を拒み、その結果大きなディスチャージが起きるまで続きます。

私たちがコウ・カウンセリングをしている相手と社交の関係を持つとうとすると、両者が互いに責任を自覚するのではなく、いつの間にか相手に「寄りかかって」(あるいは寄りかかれて)しまう傾向があります。カウンセリング以外の関係を持ってしまうと、たとえパターンのせいで両者がその関係に同じほど熱心であったとしても、最後にはコウ・カウンセリングの関係を台なしにしてしまいます。これはたいへんな損失です。なぜなら、コウ・カウンセリングの関係とは、人間同士が互いに与えることのできるもっとも大切なサポートの一つだからです。ここで関係を持つとしたのは、パターン化した動機にもとづいています。そのために、その関係には限度があり、うまくいかないことが多いのです。

二人のあいだにコウ・カウンセリングの関係とコウ・カウンセリング以外の関係がある場合(たとえば親、恋人、仕事仲間など)、各人がそれぞれの関係をはっきりと区別し、それぞれの関係を、責任を持って維持する必要があります。これはRCの基本原則です。

社交したいという衝動に駆られたコウ・カウンセラーは、もっとも経験豊かで、その時に対応できるリーダーに照会してもらする必要があります。本人がそのことを秘密にしておきたいと感じるのであれば、それを実行することがさらに大切です。

コウ・カウンセラー同士がコウ・カウンセリング以外の関係を持つことは、コウ・カウンセリングの関係を損ない、RCコミュニティの資源に負担になります。これはRCコミュニティにおける長いあいだの経験からわかったことです。意識的に自分を支援してくれる社交関係をつくりたいという人間としてのニーズは、自分の友人や知人とのあいだにコウ・カウンセリングの関係を築くことで満たすことができます。私たちは「コウ・カウンセラーでない」人たちと社交するときには、人間関係における責任を自覚するようになります。加えて、私たちはディスチャージをすることによって、その関係をより良くし、楽しむことができるようになります。この方法を使って、RCerでない人とRCを共有することができます。

人はRCerと知り合うと、そのRCerが自分に対してカウンセラーとしてふるまってくれることを、無意識に、あるいは意識的に期待しがちです。以前はRCの関係にあったけれど、いまはそうでない人たちとの関係でも同じような混乱が起こります。

コミュニティは、コミュニティがあらゆる正当な努力をしても別なコウ・カウンセラーとコウ・カウンセリング以外の関係を持ち続けるコウ・カウンセラーに、資源を提供する義務はありません。

とりわけ、リーダーやティーチャーは「社交しない」方針を順守し支援することによって、この方針が課す責任を守り、他のコウ・カウンセラーの手本とならなければ、リーダーやティーチャーになることはできません。

RCの集まりでは、食事中のグループや、歌の発表や「お楽しみ会」のようなことをやる場合があります。これは、ディスチャージや、その集まりの効果を上げるために意識的に行われるものです。

N.2. RCコミュニティ外の組織

RC以外の組織に属しているコウ・カウンセラーが、社交の関係のないコウ・カウンセラーをその組織に勧誘したり雇用したりすることは禁じられています。それよりコウ・カウンセラーは、自ら組織をつくり、RC外で関係のある人を集めるようにしてください。UER（人種差別を止める会）^VのようなRCコミュニティの様々なプロジェクトでコウ・カウンセリングを教えているコウ・カウンセラーは、その取り組みにはRCのリーダーとして参加していることを自覚してください。そして、自分は将来のRCerを育てていると考え、そうした人々との関係にも「社交しない」方針を適用してください。

自分のプロジェクトがガイドラインに反するかもしれないと考えるRCerは、必ずRRPに問い合わせてください。RRPはそれについて国際照会者（IRP）と協議します。

時折、それまでRC以外の関係を持ったことのないコウ・カウンセラー同士が、同じ組織のメンバーになることがあります（あるいは同じ職場で働くようになったり、同じ学校に行くようになったりします）。どちらのコ・カウンセラーも、同組織に属するようになったきっかけが、もう一人のコウ・カウンセラーがいることとは関係がありません。二人はその組織の中での関係やRCにおける関係に影響を及ぼす再刺激について、セッションで取り組む必要があります。

理由

コウ・カウンセラーはRCer同士だけで寄り集まるのではなく、新しい人々と知り合い、RCに招待する必要があります。UER（人種差別を止める会）を始めとするRCコミュニティのプロジェクトは特定の人々にRCを伝える役目を果たしてきました。これらのプロジェクトでできた関係には、コウ・カウンセラー同士の関係と同様の課題が発生します。したがって、こうした関係にも同じように「社交しない」方針を適用する必要があります。

RCコミュニティが成長するにつれ、同じ組織に属したり、同じ職場で働いたりするコウ・カウンセラーが増えていきます。過去の傷から生まれる混乱がなく、それぞれの関係を混同しないためには、それらの関係についてセッションし、ディスチャージすることが重要です。RCの関係が中心を占めるものである必要があります。

N.3. 電子媒体によるコミュニケーション

RCer同士の電子媒体によるコミュニケーションも、RCコミュニティのガイドラインが定めるワンポイント・プログラムに沿っておこなわれます。これには「社交しない」方針や秘密厳守も含まれます。（ガイドラインM1参照）

コウ・カウンセラーは、RCと関係のない個人的な電子メーリングリストに、他のコウ・カウンセラーを加えないでください。コウ・カウンセラーがソーシャル・ネットワーキング・サイトにコウ・カウ

V) 77頁注参照。

セラーを加える場合は、前もってその人と直接連絡をとり、ワンポイント・プログラムと「社交しない」方針に基づいて行動することの合意を得てください。ここでいうインターネット上のソーシャル・ネットワークワーキング・サイトとは、一対一の関係や特定のグループに向けた伝達を主な目的とするのではなく、投稿された内容がより一般的な幅広いグループに開示されるサイトであると定義します。

コウ・カウンセラー以外の方がアクセスできるソーシャル・ネットワークワーキング・サイト上では、他のコウ・カウンセラーがコウ・カウンセラーであることがわかるような書きこみ（写真や名前などの個人情報によって）をしないでください。ウェブサイト上に他のコウ・カウンセラーの画像を載せる場合は、必ず本人から許可をもらってください。

コウ・カウンセラーが他のコウ・カウンセラーと連絡をとるためにソーシャル・ネットワークワーキング・サイトを使用する場合は、必ずコウ・カウンセラー同士の関係を守るようにしてください（傷を回さない、秘密を守るなど）。ソーシャル・ネットワークワーキング・サイトを、コミュニティで使われている他のコミュニケーション手段（RCのウェブサイト、エリアのウェブサイト、RCの電子メーリングリストなど）の代替手段として使用しないでください。

理由

ソーシャル・ネットワークワーキング・サイトは営利を目的とした事業です。そのため、個人的な情報や著作権などが必ず守られるとはかぎりません。

ソーシャル・ネットワークワーキング・サイトはコウ・カウンセラーのために役立つ場合もあります。こうしたサイトを利用すれば、他のコウ・カウンセラーや照会者と連絡をとり、情報を交換することができます。しかし、コウ・カウンセラーがこうしたサイトを利用するときは、RCの方針として私たちが同意している「社交しない」方針を必ず守ってください。RCの関係が社交に発展しないように責任を持って行動してください。

こうしたコミュニケーション・ツールはRCの関係に役立つためにつくられているわけではありません。こうしたツールの目的は様々です。たとえば、RCの電子フォーラム上ではしばしば他のコウ・カウンセラーの名前が出されますが、ソーシャル・ネットワークワーキング・サイトでそれがおこなわれると、秘密保持の原則が破られてしまいます。とはいえ、注意深く利用すれば、こうしたツールもRCの関係をサポートする役目を果たすでしょう。私たちの経験によると、ソーシャル・ネットワークワーキング・サイトは、ふだん定期的会っているコウ・カウンセラー同士が親密で信頼し合ったRCの関係性を築くために使うとき、もっとも効果を発揮しています。



〇 . 向精神薬と再評価カウンセリング

〇 .1. 向精神薬と再評価カウンセリング

すべてのコウ・カウンセラーは向精神薬の使用について、ことばや行動を通して反対することを強く求められます。向精神薬の使用は再評価カウンセリング（RC）の理論や実践と相容れないものです。向精神薬はディスチャージと再評価を妨げ、カウンセリングする力を奪うものです。向精神薬の使用や「精神病」という概念に対し、断固反対しようとする気持ちを妨げているのは「傷」です。向精神薬を現在使用している、または過去に使用していたと思われる人について十分に考えられないことも「傷」です。すべてのコウ・カウンセラーはこうした傷をすべてディスチャージすることが求められています。

向精神薬を使う人は責められるべきではありません。困難を経験する真の原因は抑圧的な社会です。

向精神薬の使用をやめる決断は、それを使用している本人がおこなってください。若い人や弱い立場の人など、なかにはこうした決断をくだすことを法的に認められていない人もいます。その場合は、そうした人々の親や介護者や仲間たちが向精神薬の投薬に対して断固として反対する必要があります。向精神薬の使用をやめる決断をするためには、積極的な支援と資源が必要な場合があります。人々は支援を継続して受けることによって、（1）薬をやめる決断をし続け、（2）それまで薬で感じなくされていた傷を感じながら、現在の自分の人生を良くしていくことに注目することができるようになります。こうした支援は友人や家族がおこなう必要があります。そうした支援に参加することを同意したコウ・カウンセラーが、それに加わることもあるかもしれませんが、しかし、RCコミュニティ自体にそうした資源の提供を求めるべきではありません。社会は人種差別、貧困、階級差別、若い人への抑圧、大量虐殺、そして戦争などに起因する抑圧によって植えつけられた深い傷をコントロールする唯一の選択肢として向精神薬の使用を押し進めるようになりました。こうした方法で抑圧された人々について、コウ・カウンセラーはディスチャージをし、よく考えられるようになる必要があります。

理由

私たちは完全な心を持っており、ディスチャージし、再評価し、新しい状況においてすばらしい解決方法を考えつく能力を持っています。向精神薬に頼ることは、そうした私たちの知性が持つ能力を、根本から否定することになります。向精神薬は危険です。中枢神経系に致命的なダメージを与え、死に至らせる場合もあります。多くの向精神薬は学習する能力を阻害します。人を社会に「適合」させ、「反社会的」な行動を抑える働きはありますが、それは本当の解決とはいえません。新たな傷の層を増やすだけです。向精神薬は、若い人への抑圧など様々な抑圧と闘う人々を抑えこむために、ますます使われるようになっていきます。

「精神医療」制度の中で働いているワーカーは、「精神病」の「症状」を抑えこむために、向精神薬を与えるように求められる傾向が高まっています。彼らのほとんどは人員不足の状況で酷使され、希望を失わされています。向精神薬を使わなければ、仕事を失ったり訴えられたりする恐れがあります。効果的なカウンセリングの方法に触れる機会は減多にありません。教師や学校経営者も同じような状況にあります。国によって異なるでしょうが、「精神病患者」に強制的に向精神薬を与えている状況は、世界中の多くで当たり前のこととなっています。

「精神病」は存在しません。「精神病」という言葉は延々と続く深いディスチャージを含む、人間の様々な反応を形容するために使われています。こうした反応は社会が抑圧などによってその人に膨大

な傷を与えたことから起きた結果です⁶⁵。人はこうした反応に再刺激を受けるよう条件づけられています。そのため、人は他人に薬を使わせ、また自分自身も薬を使うことで、そうした反応やその原因となった傷を隠そうとします。

若い人、貧しい人、人種差別の標的になっている人、高齢者、障がい者が、本人の同意なしに向精神薬を与えられるケースが増えています。社会が負わせた傷を覆い隠すためです。

多くの場合、向精神薬は感情的問題、学習上の問題、行動の問題であると判断された行為を「解決」するために使われてきました。とりわけ、小さいときから向精神薬を飲まされてきた若い人は、生涯薬に依存し、死に至る危険性もあります。多くの親は、子どもに薬を与えなければ、学校などの制度から子どもが追放されてしまうのではないかと恐れています。

真の解決に必要なのは、私たちが根本的な社会変革のために団結し、傷ついた人たちに対して思慮深い人間的な注目を与えることです。

製薬産業は世界中で急速に拡大しており、抑圧の犠牲者を搾取することによって莫大な利益を得ています。こうした製薬産業は、向精神薬こそが「生物学的・遺伝学的な精神病」に対する唯一の優れた解決法であるという、誤った情報を広めています。

0.2. 向精神薬とRCのクラスやワークショップ

向精神薬を服用している人がRCのクラス（ガイドラインC 2参照）に参加する場合は、その人に向精神薬についてのRCの方針を伝えてください。向精神薬の服用によって、RCから受けとる効果が制限されることを伝えてください。参加者は、傷を感じディスチャージすることを薬によって阻まれてきましたが、その傷をディスチャージするために、最初の基礎クラスを終えると、薬の服用をやめる取り組みを勧められることを知っておく必要があります。

コウ・カウンセリングのクラスの参加者で向精神薬を服用している人は、そのことをクラスのティーチャーに伝えてください。

向精神薬を服用しているコウ・カウンセラーがワークショップに参加したい場合は、ワークショップのリーダーの許可を得る必要があります。リーダーはそのコウ・カウンセラーの広域エリア照会者（RRP）と協議した上で決定します。

理由

向精神薬を服用している人々をRCから除外したくありません。しかしその人々も、RCに参加するための（RCに参加するすべての人に適用される）最低基準は満たしてはなりません（ガイドラインC 2参照）。そうした人々には、向精神薬についてのRCの方針とその方針の根拠を伝える必要があります。

向精神薬を服用している人は、ワークショップで得られる資源を正しく理解し、その資源を責任持って利用することが困難な場合があります。ワークショップのリーダーは、だれが向精神薬を使っているかについて事前に知っておく必要があります。そして、その人がワークショップに参加するのが適切かどうかについて、その人のRRPと協議する必要があります。

65) 脳は伝染病、毒物、外傷、そして中枢神経系に作用する退行性疾患によって損傷を受けることがあります。これらは身体的損傷であり、それにより行動や感情など様々な人間の機能が影響を受ける場合があります。この種の脳への損傷に対しては、身体の他の部分の損傷と同様に、医学的介入による効果が期待できるでしょう。このガイドラインはそうした身体的損傷について述べるものではありません。しかし私たちの経験によると、向精神薬は癒しの過程を阻害することがわかっています。向精神薬はディスチャージを抑制し、回復を促進するのではなく、症状を覆い隠すからです。

P. 攻撃、批判、対立

P.1. 攻撃への対処⁶⁶

コウ・カウンセラーやRCコミュニティに対する攻撃⁶⁷は許されません。すべてのコウ・カウンセラーは攻撃やゴシップ⁶⁸を即座にやめさせてください。そのためには、攻撃やゴシップへの介入を何が躊躇させるのかについて、常日頃セッションしておく必要があります。

攻撃にかかわった人は、まず攻撃をやめ、攻撃に加担したことを謝らなければなりません。それがなされたあとに初めて、攻撃した人はそれについてのクライエンティングに必要な資源を供与してもらうことができます。

理由

攻撃は誤りを正すための行為ではありません。攻撃は傷の再演⁶⁹であり、RCコミュニティの中では許されない行為です。攻撃には対立や困難を解決する効用はありません。特定の人に不満があれば、その不満をまわりにまき散らさないようにして、その状況にまつわる感情についてセッションし、ディスチャージするのが良い方法です。ディスチャージすると自分の最良の考えに到達するので、それを直接相手に伝えて状況解決に務めます。RCコミュニティに不満があれば、その不満をまわりにまき散らさないように、その状況にまつわる感情についてセッションし、ディスチャージするのが良い方法です。そうすると、自分の最良の考えを得られるので、それを自分の照会者に直接伝えることができます。

攻撃は傷のパターンの再演です。その根底にある動機が、人の注意を引きつけて、その傷についてクライエンティングする場合があります。攻撃は困難を解決する手段ではなく、決して許される行為ではありません。

攻撃はRCコミュニティにも、その対象になった人にも悪い影響を及ぼします。攻撃は人を再刺激し、混乱させます。攻撃はRCコミュニティやその対象となった人の活動を妨げます。RCコミュニティを混乱させないためにも、攻撃は即座に止めなければなりません。攻撃の状態では、いかなる問題にも取り組むことはできません。まず攻撃をやめさせることで、初めて次（ガイドラインP2）に示す手順によって、問題に取り組むことができます。

コウ・カウンセラーは自分の行動に責任を持つことが求められます。また、自分の行動が引き起こした混乱に対して責任を持つことが求められます。そうすることで、それにかかわるすべての人が問題を解決できるようになります。間違った行動をとったことを認め、攻撃にかかわったことを謝罪し、その攻撃の要因となった傷に取り組んでディスチャージすることも、そうした責任を果たすことの一つです。

66) この項目は必ず実行してください。

67) 攻撃とは、コミュニティの活動を組織立てて混乱させる行動、あるいは一人の人間を誹謗する行為をさします。コウ・カウンセラーやコミュニティに対する自分の不満に、まわりの人を同調させようとするのは攻撃です。だれかが間違っていると思い、その人に不満を抱いたり、問いただしたりすることは攻撃とはいいません。コウ・カウンセラーのだれかを批判し、その人を相手に、問題や腹立たしさについてクライエンティングすることは間違っていますが、ここでいう攻撃とは違うものです。

68) ゴシップとは、他人について気軽に好き勝手なうわさ話をすることです。そうしたうわさ話は通常、嘘か本当かわからないような内容です。

69) 傷の再演とは、多くの場合、カウンセラーになることに同意した相手がいらない状態で、ディスチャージをせずに、傷に基づいた行動をとることです。

P .2. 対立、批判、不満への対処

批判的感情や不満といった対立感情の多くは、現在起こっている問題に対する考えの相違というより、過去の傷からの再刺激であると考えられます。私たちは特定の個人に対する批判は役に立たないことを知っています。それはその人の考えや方針に不賛成であるということとは異なります。私たちは再刺激によって、無意識のうちに誤って他のコウ・カウンセラーやRCのリーダーに対して傷の再演をしてしまうことがあります。

誤りを正し、パターンを中断し、ゴシップや攻撃をやめさせるためには、次の方法が有効です。

コウ・カウンセラーがある問題について、他のコウ・カウンセラーやRCのリーダーに言いたいことがあれば、次のようにすると良いでしょう。

- (1) 現在の状況についてセッションし、ディスチャージする
- (2) 現状をできるだけ正しく把握する
- (3) 現状を打開する方法について考える
- (4) それでも解決できなければ、問題の当事者と直接話し合う

対立感情や批判や不満を、RC内であろうと外であろうと、他人に話すことは有益ではありません。セッションのときにクライアントとして、ディスチャージのふりをして不満をぶちまけることも有益ではありません。直接話し合ってもうまく解決できなかったり、直接その人と話し合うことが困難だったりする場合は、経験を積んだコウ・カウンセラーやRCティーチャーや適切な照会者に助けを求めてください。それでも問題が解決しなければ、さらに上の照会者に相談することもできます。

問題が解決せず、その人がコミュニティを分裂・混乱させるようになった場合、コミュニティの資源の利用はできなくなります。

理由

ほとんどの場合、対立をこのように扱う必要はありません。すべてのことに意見の一致をみる必要もありませんし、私たちの意見対立のほとんどは、すぐに解決しなければならないものでもありません。それはディスチャージし続け、新しい情報を手に入れながら解決していくものです。即座に決定しなければならない問題はほとんどありません。(注IV:決断をくださいを参照)

直接対話をするとうまくいく場合があります。対話をすることによって、対立感情や批判や不満の対象になっている人に次のような機会が与えられます。

- (1) 状況を直接把握することができる
- (2) 何が問題であり、それに関して何が不満なのかについて考えられる
- (3) 話し合い、ディスチャージすることによって問題を解決できる
- (4) 必要に応じて、外部の資源を利用できる

コウ・カウンセラーたちのすばらしい取り組みが、批判や攻撃によって中断させられるべきではありません。

RCについての不満をRC er以外の人に伝えてしまうと、その相手はRCについて混乱してしまうでしょう。その結果、将来その人にRCについて伝えることがより困難になるかもしれません。

注

注1：リーダーズ・グループ

再評価カウンセリング（RC）の中でリーダーズ・グループをつくる方法はたくさんあります。ワイジェリアン・リーダーズ・グループは効果的なグループ形式の一つです。ワイジェリアン・リーダーズ・グループはRCコミュニティの中で発展してきたもので、リーダーズ・グループの基本的ニーズを満たしています。これはRCコミュニティの内外で広く使われてきた方法で、この方法によってリーダー同士の関係で起こりうる多くの困難が解決できます。また、一人ひとりがイニシアティブを発揮できるようになります。

ワイジェリアン・リーダーズ・グループのメンバーは、共通の基盤を持つグループの中でリーダーシップをとっている人やこれからリーダーシップをとりたいと思っている人で構成されます。共通の基盤を持つグループとは、特定のエリア、広域エリア、各地域のコウ・カウンセラーたちの場合もあれば、職業、関心事、課題、抑圧などを共通に持っている人々の場合もあります。ワイジェリアン・リーダーズ・グループでは(1)連絡役と(2)相談役をする人が必要です。連絡役はグループの中の1人が担当し、メンバーの最新の住所と電話番号のリストを管理し、ミーティングの必要があるときはメンバーに連絡をします（ワイジェリアン・リーダーズ・グループは定期的なミーティングをおこなわず、「話し合う用件があるとき」だけミーティングを開きます）。

相談役はグループの一員であってもなくてもかまいません。相談役はもっとも熟練し、知識のあるコウ・カウンセリングのリーダーが務めます。多くの場合、広域エリア照会者（RRP）がその役割を果たします。相談役は次に示すミーティングのテーマのうち最初の4項目の進行役を務め、5番目ではカウンセラー役を務めます。

典型的なワイジェリアン・リーダーズ・グループのミーティングの内容は次のようです。

- (1) 全員が集まったら「ニュース・アンド・グッズ」をする
- (2) それぞれのメンバーが、自分の属するグループのリーダーとしておこなってきたことを報告する。
他のメンバーはそのあいだ口をはさまずに聴く
- (3) それぞれが自分の属するグループの現状について、自分の考えを述べる（何がうまくいって、何が困難で、どんな機会が期待され、どんな取り組みが必要か、など）
- (4) それぞれがリーダーとして次に何をしたいかについて報告する
- (5) それぞれが相談役をカウンセラーにして、「自分が良いリーダーシップをとるのを邪魔しているものは何か」についてセッションする。こうしたセッションを続けることを他のメンバーが約束する
- (6) 最後に、それぞれがそのミーティングでもっとも良かったことについて話す

ワイジェリアン・リーダーズ・グループは全般的な計画をたてるためのものではありません。メンバーの活動状況を確認するためのものでもありません。このグループはメンバーが相談役が、集まる必要があると感じたときにだけ集まります。それぞれがイニシアティブを発揮し、短時間で新しいリーダーシップを育てる効果があります。

参加者が8人から10人以上になったら、2つ以上のグループに分けるとうまくいきます。

注II：自己評価

自己評価はワーキング・グループ⁷⁰のリーダーがおこなう手法です。クラスやワークショップやワークショップ中のグループのリーダーがおこなうものではありません。ただし、クラスやワークショップやワークショップ中のグループが、別な目的を持ったワーキング・グループとなる場合は別です。

自己評価の手順の例：

- (a) リーダーが、
 - (1) 自分のおこなっている仕事について、長所やうまくいっている部分について話す
 - (2) 改善したい部分について話す
- (b) グループの他のメンバーが順番に、
 - (1) リーダーが自分の役割においてうまくいっている点について話す
 - (2) リーダーがさらに前進するために必要な方向性について提案する

自己評価がうまくいくかどうかは、私たちが互いをどれだけ注意深く考えるかにかかっています。経験を積んだリーダーシップによる自己評価が効果的です。自己評価はセッションではありませんが、自己評価のあとにグループがリーダーのカウンセリングをすると効果的でしょう。

注III：国家という枠組みにとらわれないこと

再評価カウンセリング（RC）の広域エリアの境界線が、国家の境界線と一致する場合があります。しかしほとんどの場合、私たちはRCコミュニティの中で国家という枠組みにとらわれないようにしています。「国家」は人々を分断する源だからです。国家は人々を抑圧し、互いを分け隔てる名目を利用してきました。

「国家主義的な愛国心」とそれに結びついた傷のパターンが、現存するあらゆる国家に容赦なく植えつけられてきました。各国の支配階級は人々を戦争に駆りたて、それによって暴利をむさぼることを正当化する手段として、愛国心を利用してきました。⁷¹

私たちのコミュニティは当初から世界的な視点で取り組んできました。理性的であればどんな人々のあいだにも利害の衝突は決して起きないことを、私たちは主張してきました。「すべての人々はみな兄弟であり姉妹である」と主張してきました⁷²。私たちは世界中のあらゆるRCerと仲良くなり、協力し合う努力をし続けてきました。それは全人類の手本です。そのため、広域エリアの境界線にかんしては、数カ国を一つの広域エリアとする場合があります。いくつかの州や省を一つの広域エリアとする場合があります。ある都市とその周辺の地域を一つの広域エリアとする場合があります。ある国のいくつかの地域や、ある州や省のいくつかの地域や、ある都市の中のいくつかの地域でできた広域エリアもあります。広域エリアの境界線が国や州や省と一致していても、それは便宜上のものにすぎません。コミュニティを「国家」の引いた線で分断しようという意図はまったくありません。またRCの定めた境界線が、帝国主義によって不明瞭にされてきた本来の国の姿を確認する助けとなる場合もあります。

70) 作業会またはワーキング・グループとは、コウ・カウンセリングをしたりコウ・カウンセリングを学んだりすることに加えて、他の活動を一緒にしているグループです。たとえば、一緒にRCコミュニティづくりに取り組んでいるグループや女性のリーダーシップグループなどです。

71) これはあらゆるアイデンティティに対していえることですが、最終的な目的は国家主義的なアイデンティティに結びついた傷をなくすことです。しかし、人間として完全に解放されるための一歩として、まず各人が自らの国について誇りを取り戻す必要があります。また、帝国主義や国家主義に結びついた抑圧に反対する人々を応援し、階級差別をなくす努力の一環として国全体の団結や独立を支援することが大切です。

72) この文には、「団結」の実現に対するハーヴィー・ジャキンスの決意が集約されています。The List 177頁15項を参照。「世界中の人々が再生し、すべての人々が抑圧から解放され、理性と協力に基づいた平和で搾取のない社会を実現することを求める人々により、再評価カウンセリングの考え方に責任を持ち、それを活用し、仲間をつくり、家族となり、コミュニティを築いていくことは可能です。」

注Ⅳ：決断をください

方針やリーダーシップについて同意することが困難な場合は、次のような手順で決断をくださうまくいきます。⁷³

- (1) まず現状がどうなっており、何を目標にすべきかについて明確化する
- (2) 依然として意見の相違があれば、それぞれの人がセッションをする
- (3) それでも解決しなければ、グループの中でセッションをし、意見を交換し合う。互いに聴き合いながら、他の人の意見に対してそれぞれが自分の意見を述べる
- (4) それでも解決しなければ、意見の対立点について討議する。あくまで論点だけを扱うようにし、相手の人格に触れないように留意する
- (5) それでも対立が続くようなら、立証不能な推測がもっとも少ない見解はどれかを話し合っ決めて。同意が得られれば、とりあえずその意見が正しいと仮定し、実施してみる
- (6) それでも解決しない場合は、どの意見を採用すればもっともおもしろい展開が期待できるかについて考える。つまり、いつまでも迷い続けるよりも、決断し、その決断に基づいて行動する。行動した結果を注意深く観察し、新しい発見があれば修正や変更を加える
- (7) それでも方針についての対立が続く場合は、その問題に関係する照会者が最終的な決断をください

注Ⅴ：人種差別を止める会（UNITED TO END RACISM / U E R）

人種差別を止める会（U E R）は再評価カウンセリング（R C）コミュニティのプロジェクトです。U E Rは2001年8月末に南アフリカのダーバンでおこなわれた「人種差別や外国人差別などに反対する国連世界会議」の中のN G O（非政府組織）フォーラムに参加しました。そして、人種差別をなくすことを目指した様々なグループがR Cの技法を学び、使っていけるよう、助け合い継続させています。2001年以降もU E Rはたくさんの地域においてイベントを開催し、多くの国でR Cを紹介するワークショップを開き、人種差別をテーマにした会議や世界社会フォーラムなど、いくつもの大きなプロジェクトに参加しています。

注Ⅵ：申請用紙

ガイドラインで触れられているすべての申請用紙は照会者、再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社、またはR Cのウェブサイト（www.rc.org/page/forms/index）から入手できます。

73) この方法は、複数の人が照会者に立候補した場合にも役立つでしょう。

RCコミュニティの目標

RCコミュニティは世界会議が開かれるたびに、コミュニティの目標を定めています。こうした目標は私たちが前進するための道案内となります。また目標があることによって、行動することが重要であるにもかかわらず傷に惑わされてうまく集中できなかった取り組みに、より注目することができます。これまで取り組んできたことについて知ってもらうために、過去の目標も合わせて掲載します。

2013年の世界会議で採択された目標

RCコミュニティのメンバーは、生命ある地球環境が急速に破壊され続けている現状を、完全に認識できるようになるために取り組みます。私たちは、こうした現状を認識することを難しくし、環境を修復し保全するために必要な行動をとることを妨げているすべての傷をディスチャージします。

傷のパターンは人々が互いに抑圧し合い、世界に対して破壊的な政策を施行するように仕向けてきました。この問題を完全に解決するには、人々のあいだの分断をなくし、あらゆる抑圧をなくす必要があります。

ある集団が物質的に他の集団より潤うことよりも、環境の修復と保全の方が優先されるようにならない必要があります。もっと多くの資源が必要だ、という飽くなき感情から目を背けようとさせ、私たちが環境破壊に走らせている傷から、私たちが回復することは可能であり、またそうしなければならないのです。

2005年の世界会議で採択された目標

(その後の世界会議で再承認された)

RCコミュニティとそのメンバーは、多種多様な人々がRCの理論と方法に接し、RCコミュニティのメンバーになることを手助けすることに、よりいっそうの注目と努力を注ぎます。

この目標を知性的に達成するために、これについて考えたり行動したりすることを妨げている傷についてセッションし続けます。クラス、エリア、広域エリアは、ギャザーイン、サポート・グループ、ワークショップなどの集まりを開き、コウ・カウンセラーがこの目標を達成することを手助けします。

この目標が対象とする人々には、自分と社交のできる身近な人々も含まれます。自分の愛する人々に思慮深く、忍耐強くRCを伝えることを妨げている傷についても取り組んでいきます。

2001年の世界会議で採択された目標

(その後の世界会議で再承認された)

目標1：

人種差別、とりわけアフリカ系の人々に対する人種差別をなくします。この目標を再評価カウンセリング・コミュニティの中心的課題として、引きつづき積極的に取り組んでいきます。

目標2：

再評価カウンセリング・コミュニティは、再評価カウンセリングと再評価カウンセリング・コミュニ

ニティが若い人たちにとって身近なものになるように、よりいっそうの努力をします。

目標3：

再評価カウンセリング・コミュニティのメンバーは、地球の環境破壊を放置し、環境を回復させることを諦めさせている傷をディスチャージすることに、これまで以上に取り組みます。



用語集

アクセス（Access）とは、障がいのある人が催しに参加することが可能になるように、あらゆる状況を考慮し、共生の概念を最大限に取り入れ、合理的に準備された、物理的・現実的な設備のことをいいます。

依存性のある行為（Addictive behavior）とは、再刺激された傷の感情に流され続け、傷のレコードを再演し続ける行動のことをいいます。

RCer は、コウ・カウンセラーの別な呼び方です。

RCコミュニティのメンバー（Member of the RC Community）とは、RCの活動に参加したり、貢献したり、リーダーシップを支えたり、コミュニティの仕事を助けたりすることによって、コミュニティの活動を手助けする責任を担っているコウ・カウンセラーです。

RCのティーチャー（RC teacher）とは、RCを教える資格を現在与えられているRCのリーダーです。

RCのリーダー（Leader of RC）は、RCのクラスを教えたり、サポート・グループやワークショップのリーダーをしたり、照会者の仕事をしたりすることによって、RCコミュニティ内のすべてがうまくいくように責任を担っていくコウ・カウンセラーです。

RCの理論（RC theory）とは、コウ・カウンセラーが自ら体験して得た知識を要約したものです。良い理論は、自分の体験を、過去の体験や過去の体験から引きだされた結論と関連づけることができます。RCの理論は再評価カウンセリングを実践するさいの手引きとなります。理論を發展させ、応用することによって、これまでの方法の矛盾する点を明らかにし、より知識を高めることができます。

イニシアティブの発動（Release initiative）とは、より多くのコウ・カウンセラーが率先して行動を起こし、リーダーシップを発揮して前に進める状況をつくりだすことをいいます。

エリア維持基金（Area Maintenance Fund）は、各エリアが任意に積み立て、管理します。この基金は各エリアの印刷代、ニュースレターの送料、マットや音響機器、RCのCDやビデオなどコミュニティに必要な物品の購入に使われます。通常、維持基金には寄付や地域のクラス代の一定割合が納められます。エリア照会者とエリアのリーダーがこの基金を管理します。

エリア援助基金（Area Outreach Fund）は、再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社によって管理されています。この基金はエリアや発展中のコミュニティごとのたくさんの口座から成り立っています。この基金はクラス、ワークショップなど様々な催しで集められた基金と、寄付から構成されます（税金控除にはなりません）。エリア援助基金からの支出はエリア照会者（発展中のコミュニティでは任命された会計責任者）の承認を必要とします。この基金はワークショップの参加費や交通費の支払いを助けるために使われます。国境を越えて送金することが難しい場

合は、(国際照会者の了承を得て) 地域でエリア援助基金を保管することもあります。

エリア照会者 (Area Reference Person / ARP) は、エリア全体について考え、確認をし、エリアの中のリーダーを育て、サポートをします。また、エリアの中の活動が RC の理論や方針と合っているかどうかを判断します。

エリア照会者代理 (Alternate Area Reference Person / AARP / オルタ) は、エリア照会者が何らかの理由で役目を果たせなくなったときに、即座にエリア照会者の代わりに役目を果たす責任を担っています。オルタは任意の選択で、ARP やエリアに関わる他の役割を担うこともできます。

援助基金 (Outreach Fund) は、RC に触れる機会が得られにくい状況にある人を金銭的に援助する制度です。援助基金には、エリア援助基金、コミュニティ活動基金、国際援助基金 (再評価財団が管理) があります。

オンラインによるクラス (Online class) は、インターネットを使うことで、だれもが RC のクラスに定期的に参加できるクラスです。

ガイドライン (Guidelines) は、RC コミュニティの全メンバーによる一連の合意事項です。

解放 (Liberation) とは、自分自身と自分の属するグループを抑圧から自由にさせるプログラムや過程のことです。

解放の方針についての草案 (Draft liberation policy) は、抑圧からの解放にかんして、特定のグループがその時点で有する最良の考えを表現したもので、その解放を実現させるための提案も含まれています。解放の方針についての草案は、人を拘束するためのものではなく、何を考え、何をすべきかについて示すためのものでもありません。むしろ議論とディスチャージを促すための道具として利用されるべきものです。RC のあらゆる解放の方針は草案とみなされており、グループの解放についてより明確に考えられるようになるにともない、更新されるべきものです。

必ず実行することを求める (Force of a requirement) ガイドラインに違反する行動をとる場合には、国際照会者の合意を得る必要があります。

傷の再演 (Dramatization) とは、多くの場合カウンセラーになることに相手が同意していない状況で、ディスチャージをせずに、傷に基づいた行動をとることです。

基本参加費 (Break-even fee) は、ワークショップで 1 人当たりにかかる予想金額です。この額は、予想されるワークショップの全支出 (コミュニティ活動基金に払う総収入の 10% を含む) を予想される参加者の人数で割ることで算出できます。

ギャザーイン (Gather-in) は、特定のテーマについておこなわれる半日以下の集まりで、理論の紹介、RC のワークショップや会議の報告、セッションなどがおこなわれます。ニュー & グッズやクロージングをしたり、話し合いをしたり、小さなグループに分かれたりすることもあります。

協力し合っておこなうワークショップ (Cooperative workshop) とは、1人のティーチャーがワークショップ全体の責任を担い、他のコウ・カウンセラーがワークショップの様々な部分のリーダーシップをとったり、全体のリーダーをチームでアシストしたりすることによって、みんなが協力し合って開催するワークショップです。

広域エリア照会者 (Regional Reference Person / RRP) は、国際照会者 (IRP) によって任命され、IRP に対しての責任を担っています。RRP は IRP の代理人として、リーダーシップを発展させ、サポートする活動を行います。RRP は自分の広域エリアのリーダーたちと協議しながら、IRP の考えに従って行動します。RRP の最大の任務は、自分の広域エリアにおける現在のリーダーたちと新しく生まれるリーダーたちの継続的な再生です。

攻撃 (Attack) とは、コミュニティの活動を組織立てて混乱させる行動、あるいは一人の人間を誹謗する行為をさします。コウ・カウンセラーやコミュニティに対する自分の不満に、まわりの人を同調させようとするのは攻撃です。何かの間違っていると思ったり、だれかに不満を抱いたり、考えを問いただしたり、意見の相違をめぐって論争したりすることは攻撃とはいきません。コウ・カウンセラーのだれかを批判し、その人を相手に問題や腹立たしさについてクライエンティングしようとするのは間違っていますが、ここでいう攻撃とは違うものです。

向精神薬 (Psychiatric drug) は、精神科医や医療サービス機関が、不眠、緊張、ストレス、絶望感、無力感、不安、悲しみ、「破壊的な行為」などといった、彼らが呼ぶところの「精神疾患」や障害を「治療」するために処方される薬物です。こうした薬物のなかには、リタリンのように若い人や様々な人をおとなしく従順にさせるために広く処方されているものもあります。

コーディネーター (Coordinator) : 「地域や広域エリアのコーディネーター」参照。

国際解放照会者 (International Liberation Reference Person / ILRP) は、国際RCコミュニティにおいて自分の課題別グループの利益を代表し、国際照会者の代理人としてそのグループのリーダーシップをとります。また、RCコミュニティの内外で自分の課題別グループの利益のために、解放のための方針、出版物、ワークショップ、会議などの開催についての提案や企画をおこないます。

国際共通照会者 (International Commonality Reference Person / ICRP) は、人類に共通する課題をとともに追求することを選んだ人々の代表です。ICRP は、国際RCコミュニティにおける自分の属するグループの利益を代弁し、国際照会者の代理人としてそのグループのリーダーシップをとります。また、RCコミュニティの内外で自分の属するグループのために、方針、出版物、ワークショップや会議の開催について提案や企画をおこないます。

国際照会者 (International Reference Person / IRP) は、国際的な活動や方針に対して判断をくだしたり調整したりします。

国際照会者代理 (Alternate International Reference Person / AIRP / オルタ) は、国際照会者が何らかの理由で役目を果たせなくなったときに、即座にエリア照会者の代わりに役目を果たす

人です。

コミュニティ (Community) : 「再評価カウンセリング (RC) コミュニティ」 参照。

コミュニティ活動基金 (Community Service Funds) は、コミュニティ活動基金は、RCコミュニティの活動を継続していくための支援に当てられます。この基金はワークショップ、クラス、RCを伝える様々な催しなどで集められます。寄付によっても集められます(税金控除にはなりません)。この基金はワークショップの参加費や交通費、RC資料の購入などの助成にあてることができます。また、この基金はRCコミュニティの運営資金の援助に使うこともできます。コミュニティ活動基金は再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社が保管し、その用途は国際照会者の承認を必要とします。

コミュニティのメンバー (Community member) : 「RCコミュニティのメンバー」 参照。

コンセンサス (Consensus) とは、グループ全体の合意を意味します。暫定的なコンセンサスとは、グループを前に進ませるために仮の合意を得ることです。

再評価カウンセリング (RC) コミュニティ (Re-evaluation Counseling Community) は、RCを使って人間の本质を回復しようとする人々のネットワークです。二義的には、各地域のRCコミュニティ、グループ、クラスのことです。知性と人間の本质と潜在能力のすべてを取り戻す努力を、世界中の人々と一緒にやっいていこうとする人々の集まりでもあります。

再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社 (Re-evaluation Counseling Community Resources Inc. / R C C R) は、再評価カウンセリングの国際事務局で、アメリカ合衆国、ワシントン州のシアトルに設置されています。

再評価カウンセリング (RC) のティーチャー (Re-evaluation Counseling teacher) は、現在RCを教えることの承認を受けているRCのリーダーです。

再評価財団 (Re-evaluation Foundation) は、RCコミュニティから完全に独立した団体です。再評価財団は役員会が管理し、アメリカ合衆国において501条(c)項(3)号公益法人法にもとづいて登録されています。この財団は、なかなかRCを利用できない境遇の人々に、RCの理論と実践とリーダーシップトレーニングを広める資金を提供するために1972年に設立されました。

作業会 (Working committee) またはワーキング・グループ (Working group) は、単に一緒にコウ・カウンセリングをしたりコウ・カウンセリングを学んだりすること以上の活動をしているグループです。たとえば、一緒にRCコミュニティづくりに取り組んでいるグループやリーダーシップをとっている女性のグループなどです。

サポート・グループ (Support Group) では、3人から8人の人が集まり、時間を均等に分けて互いに話を聴き合い、ディスチャージを促します。グループの構成は特定の基盤(黒人、女性、若い人など)に基づく場合もあれば、特定のテーマ(教育改革、環境保護など)に基づく場合もあります。多様な人々の集まりである場合もあります。

熟練したファミリー・ワーカー (Skilled family worker) は、ファミリーワークのリーダーシップをとる訓練を積んだ再評価カウンセリングのリーダーで、ファミリーワークの国際共通照会者によってファミリーワークのリーダーシップをとることを認められています。

照会者 (Reference Person) とは、自分が属するグループについて、RCの理論とガイドラインに沿ったかたちで判断をくだす役のために選ばれたコウ・カウンセラーです。照会者が属するグループのメンバーは、理論や実践について照会者に協議することができます。

スライディング・スケール (Sliding scale) は、参加費に幅をもたせることによって、一般的には収入に応じて、参加者が支払い金額を選ぶことのできる制度です。クラスのスライディング・スケールはクラスのティーチャーが設定します。ワークショップのスライディング・スケールは、ワークショップのオーガナイザーが、ワークショップが開かれる地域の広域エリア照会者と協議の上で設定します。

精神に作用を及ぼす薬 (Mind-altering drug) とは、中枢神経系に影響を与え、考える能力やディスチャージし再評価する力を阻害する薬物です。

ソーシャル・メディア・サイト (Social media site) は、広く不特定多数の人々が投稿された内容に接することのできるインターネット・サイトです。この点で、おもな利用のされ方が一對一の接触であるか、特定のグループのみを対象にしているサイトとは異なります。

地域や広域エリアのコーディネーター (Local and Regional Coordinator) は、コミュニティ内の特定のグループを成長させる活動をコーディネート (調整) します。

知性 (Intelligence) とは、次々と現れる新しい現実に対して、つねに新しく柔軟に創造的に対処することのできる能力をいいます。傷の経験がディスチャージされないでいると、この能力は妨げられます。

ティーチャーの資格 (Teaching credential) は、申請者にRCを教える許可を与えるもので、エリア照会者 (ARP)、国際照会者 (IRP)、広域エリア照会者 (RRP) (それぞれが指名されている場合) が承認します。

人間の本质 (Humanness) は、私たちの理論と実践によって発見された、傷の記録がない状態にある人間の真の姿です。私たちは人間の本质によって知性をすばらしく柔軟に使い、人とつながり、心を配り、人生を思いきり楽しむことができます。

発展中コミュニティ (Developing Community) (以前は「エリアになっていない地域」[Unorganized Area] と呼ばれていた) とは、RCコミュニティをつくるために協力し合っている地域のコウ・カウンセラーのグループです。

ブリング・ワン (Each-one-teach-one) は、コウ・カウンセラーの各参加者が、コウ・カウンセラーではない人を連れてきて、RCを体験してもらう集まりです。

プレイデイ (Playday) またはファミリー・クラス (family class) は、熟練したおとなと親が協力し合って若い人と遊ぶ集まりです。遊び方は若い人が自分のやりたいように決めることができ、全体のリーダーシップは熟練したファミリー・ワーカーがとります。プレイデイでは、おとなのためにミニ・セッションやサポート・グループをおこないます。自己紹介、理論の説明、スペシャルタイム、クロージングをおこなう場合もあります。遊ぶことによって多くの場合若い人はディスチャージする機会を得ます。そのときはおとながそのセッションをサポートします。財政にかんしては、プレイデイやファミリー・クラスが4時間以内の集まりであれば会計上はクラスとして扱い、4時間を超える場合はワークショップとして扱います。

文化にもとづく傷のパターン (Culturally enforced distress pattern) とは、あるグループの文化に結びついた傷のパターンのことです。

方針 (Policy) は、グループのメンバーが互いに協力し、助け合って活動できるようにつくられた指標であり、合意事項です。方針によってディスチャージが促され、考えが明確になります。方針は私たちがその時点で有する最良の考えを表現したものです。したがって、方針はつねに草案であるとみなされます。方針は、(1)理論の応用についての提案、(2)応用によって引きだされた推奨される意見、(3)応用を実施する体系、で成り立っています。RCコミュニティにおける方針には次の2種類があります。(1)世界会議やエリア・ミーティングなどで承認されたコミュニティの方針、(2)特定のグループのもっとも優れた考えを表した方針 (解放の方針についての草案)

ポルノの利用 (Use of pornography) とは、性的感情を再刺激させることを目的とした書籍や視聴覚製品を追い求める行動をいいます。ポルノは、おもに女性や若い人に対する性的搾取というかたちをとり、その背景には性差別と男性支配があります。あらゆる人がポルノに搾取され、抑圧されているという意味で、人種差別と階級差別が重要な役割を果たしています。ポルノはおもに男性を対象としますが、利益を最優先するポルノ産業によって、しだいに女性もポルノの消費者として標的にされつつあり、性と男性支配に結びついた傷に集中して操作されるようになっていきます。

薬剤 (Medication) とは、病気の症状や原因の治療、予防、緩和を目的とする物質です。

抑圧 (Oppression) とは、社会または社会の仲介役を務めるグループが、社会や文化に強要されたり促されたりして別なグループを系統的に虐待することをさします

抑圧の対象とされている (Targeted by oppression) グループは、以前は「抑圧された (oppressed) グループ」と呼ばれていました。

ラショナル・アイランド出版基金 (Publications Fund of Rational Island) は、ラショナル・アイランド出版社が再評価カウンセリング・コミュニティのあらゆる出版物を制作するための資金となります。

リーダー (Leader) : 「RCのリーダー」参照。

リーダーのカウンセリング（Counsel the leader）とは、グループの考えと注目をそのグループのリーダーをカウンセリングするために使うカウンセリング方法です。

ワイジェリアン（Wygelian）とは、女性、同性愛者、若い人々、高齢者、障害者、人種差別を受けている人々といった、様々な属性について示すRC用語です。

若い人（Young people）とは、21歳以下の人をいいます。



付録

ワークショップ収支報告書の完成例

RCのウェブサイトでも手に入ります。
www.rc.org/forms

- ・ ワークショップのオーガナイザーが記入してください。
- ・ 収支計算についての詳細はガイドラインH3、H6、H7を参照してください。
- ・ アメリカ合衆国以外で、エリアまたはまだエリアになっていない地域用のフォームです（援助基金は地域で管理している場合です）。

エリア名

ワークショップ名

開催場所

日付

リーダー名

オーガナイザー名

オーガナイザーの電話番号またはメールアドレス

1. 収入

集まった参加費の合計 8,800.00
総収入① 8,800.00

2. 支出

コミュニティ活動基金への 10%の献金
総収入①×0.1 880.00
リーダー代 500.00
リーダーの交通費 0
オーガナイザー代 125.00
会場費（宿泊・食事） 5,950.00
著作権料 10.00
（記事のコピー1枚につき0.1米ドル。ガイドラインK1参照）
音響機器代 0
保険料 197.00
印刷代 37.50
お茶、おやつ代 150.00
文房具代 77.00
その他 0
総支出② 7,926.50

3. 純利益

総収入① 8,800.00
総支出② 7,926.56
①-②=純利益③ 873.50

4. 純利益の分配

純利益はリーダー、エリア援助基金、コミュニティ活動基金に分配されます。以下の計算は純利益を配分し、それぞれに対する支払い金額を割り出すためです。

純利益③の 25%をリーダーへ
③×0.25= 218.37
+リーダー代 500.00
合計 718.37

この額をワークショップのリーダーに渡してください。

純利益③の 52.5%を援助基金へ
③×0.525= 458.59

この額をエリア照会者または指定された会計係に、エリア援助基金用として渡してください。

総収入①の 10%をコミュニティ活動基金へ
①×0.1= 880.00

純利益③の 22.5%をコミュニティ活動基金へ
③×0.225= 196.54

ラショナル・アイランド出版社の記事のコピー1枚につき0.1米ドルを著作権料としてラショナル・アイランド出版社へ
著作権料 10.00

以上3つの合計を再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社に送ってください。
合計 1,086.54

支払いはこのフォームのコピーと共に以下の住所に送ってください。つねにワークショップの収支バランス考えてオーガナイズしてください。支払いはワークショップから30日以内に行ってください。

Re-evaluation Counseling Community Resources, Inc. 719 Second Avenue N., Seattle, WA 98109 USA
Tel. +1-206-284-0311 . Fax +1-206-284-8429 . E-mail: rcoffice@rc.org

FORM400 の完成例

FORM400

ワークショップ収支報告書

広域エリアまたは国際レベルのワークショップ

- ・ ワークショップのオーガナイザーが記入してください。
- ・ 収支計算についての詳細はガイドラインH4を参照してください。
- ・ 広域エリアのギャザーイン、広域エリアのワークショップ、国際レベルのワークショップ用のフォームです。

ワークショップ名

開催場所

日付

参加者数（リーダー、オーガナイザーも入れて） 70

リーダー名

オーガナイザー名

オーガナイザーの電話番号

スライディング・スケールの参加費 133\$～950\$

基本参加費 190\$

1. 収入

集まった参加費の合計 12,300.00

総収入① 12,300.00

2. 支出

コミュニティ活動基金への10%の献金

総収入①×0.1 1,230.00

リーダー代 700.00

リーダーの交通費 275.00

オーガナイザー代 175.00

会場費（宿泊・食事） 6,871.50

著作権料 28.80

（記事のコピー1枚につき0.1米ドル。ガイドラインK1参照）

音響機器代 60.00

保険料 197.24

印刷代 145.21

お茶、おやつ代 210.00

文房具代 109.25

その他 0.00

総支出② 10,002.00

3. 純利益

総収入① 12,300.00

総支出② 10,002.00

①-②=純利益③ 2,298.00

4. 純利益の分配

純利益はリーダー、オーガナイザー、コミュニティ活動基金、ラショナル・アイランド出版社に分配されます。以下の計算は純利益を配分し、それぞれに対する支払い金額を割り出すためです。

純利益③の25%をリーダーへ

③×0.25= 574.50

+リーダー代 700.00

合計 1,274.50

この額をワークショップのリーダーに渡してください。

純利益③の8.34%をオーガナイザーへ

③×0.0834= 191.65

+オーガナイザー代 175.00

合計 366.65

この額をワークショップのオーガナイザーに渡してください。

純利益③の33.33%をコミュニティ活動基金へ

③×0.3333= 765.92

+総収入①の10% 1,230.00

合計 1,995.92

この額を再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社に送ってください。

純利益③の33.33%をラショナル・アイランド出版社へ

（著作権料とは別に必要です）

③×0.3333= 765.92

+著作権料（記事のコピー1枚につき0.1米ドル）

28.80

合計 794.72

この額をラショナル・アイランド出版社に送ってください。

再評価カウンセリング・コミュニティ・リソース社に対する支払いとラショナル・アイランド出版社に対する支払いを、このフォームのコピーと共に以下の住所に送ってください。つねにワークショップの収支バランス考えてオーガナイズしてください。支払いはワークショップから30日以内に行ってください。

Re-evaluation Counseling Community Resources, Inc. 719 Second Avenue N., Seattle, WA 98109 USA

Tel. +1-206-284-0311 . Fax +1-206-284-8429 . E-mail: rcoffice@rc.org

日本語訳のある再評価カウンセリングの出版物

- | | |
|-------------------------------|------|
| • コウ・カウンセリング初級マニュアル | 600円 |
| • 人間性回復へのアプローチ | 400円 |
| • 人間がおかれている状況 1 巻 | 300円 |
| • 人間がおかれている状況 2 巻 | 400円 |
| • 再評価カウンセリングのはじまり | 200円 |
| • コウ・カウンセリングの始め方 (再評価カウンセリング) | 100円 |
| • メンタルヘルスシステムの抑圧 | 300円 |
| • 「メンタルヘルスシステム」システムの誤りとは何か | 500円 |
| • アジア人の解放 | 300円 |
| • 若い人をサポートし、共に生きる | 200円 |
| • 貧困の中を生きてきた私たち | 200円 |
| • 女性解放の草案 | 400円 |
| • 男性の解放 | 300円 |
| • 人間である男性 | 400円 |
| • 性に関する初めの記憶をカウンセリングする | 300円 |
| • 性についての理性的な考え方 | 200円 |



Guidelines for the Re-evaluation Counseling Communities, 2013 Edition
Japanese translation by Akio Takasaka, Rie Shiraishi, et al.

Copyright (c) 2013 by Rational Island Publishers. All rights reserved.

No part of this book may be used or reproduced in any manner whatsoever without written permission except in the case of brief quotations embodied in critical articles or reviews.

Rational Island Publishers

P.O. Box 2081, Main Office Station

Seattle, Washington 98111, USA

Email: <ircc@rc.org>

再評価カウンセリング・コミュニティのためのガイドライン 2013年版

翻訳：高坂 明雄・白石理恵・その他

批評や書評への短い引用以外、文書での許可を得ずに、この本を使用・複製することは禁じられています。

連絡先 日本広域エリア照会者 小野わこ

e-mail wkono569@gmail.com

fax 011-615-3699

ISBN : 978-1-58429-173-2

定価 400 円

